



FOMA[®] N2502 HIGH-SPEED

ISSUE DATE:

'08.3

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

目次/注意事項

ご使用前の確認

セットアップ

ユーティリティ

その他の専用アプリケーション

PDAでの利用

付録

取扱説明書

ドコモ W-CDMA方式

このたびは、「FOMA N2502 HIGH-SPEED」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FOMA N2502 HIGH-SPEEDはおお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA 端末のご使用にあたって

- FOMA 端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強くアンテナランプが緑色または橙色に点灯されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通信を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式ではすべての通信について秘匿処理をしていますので、第三者が受信機で傍受したとしても、意味不明のデータとなります。
- FOMA 端末は無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の送信内容と異なる内容となって受信される場合があります。
- FOMA 端末の誤動作、不具合、あるいは停電時などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- このFOMA 端末は、FOMA プラスエリアおよびFOMA ハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA 端末は、ドコモの提供するFOMA ネットワーク以外ではご使用になれません。The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.
- 本FOMA 端末は、i モード機能（i モードメール、公式サイトへの接続、i アプリなど）には対応していません。

はじめてFOMA 端末をお使いになる方へ

本FOMA 端末が「はじめてのFOMA 端末」という方は、まず、本書を次の順序でお読みください。FOMA 端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひとつおご理解いただくことができます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう → P.6
2. FOMA 端末の各部の名称と機能を確認しましょう → P.14
3. FOMA 端末をパソコンにセットしましょう → P.19
4. お使いのパソコンにFOMA 端末を認識させましょう → P.25
5. FOMA 端末で通信するための設定をしましょう → P.46

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

・「取扱説明書（PDF ファイル）」ダウンロード

<http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>

※ URL および掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

記載内容について

FOMA N2502 HIGH-SPEEDの取扱説明書は、『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書～接続ガイド～』と付属のCD-ROMに収録されている『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』（本書）で構成されています。

■『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書～接続ガイド～』

パソコンへの接続方法、困ったときの対処方法、FOMA N2502 HIGH-SPEEDの仕様など、次の内容を記載しています。

- 目次、注意事項
- ご使用前の確認
- セットアップ
- 付録

■『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』（本書）

上記『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書～接続ガイド～』の内容に加えて、FOMA PC設定ソフトによる通信設定方法など、次の内容を記載しています。

- ユーティリティ
- その他の専用アプリケーション（FOMA PC設定ソフトによる通信設定方法など）
- PDAでの利用

本書の引きかたについて

本書では次のような検索方法で、機能やサービスの説明ページを探することができます。

索引から ➡ P.142

あらかじめ機能名・サービス名がわかっている場合はここから探します。

表紙インデックスから ➡ 表紙

本書を印刷して利用する場合は、表紙のインデックスを使用して、章の最初のページの目次から探します。

目次から ➡ P.4

機能ごとに分類された目次から探します。

特徴から ➡ P.5

特徴的な機能を利用したい場合はここから探します。

次ページで詳しく説明しています。

- この『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』の本文中においては、『FOMA N2502 HIGH-SPEED』を「FOMA 端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- お使いの環境によっては、操作手順や画面が一部異なる場合があります。
- 本書では、パソコンのOSにより動作や画面がほぼ同じ場合は、Windows XPの画面例のみを掲載している箇所があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた（つづき）

索引から

➔ P.142

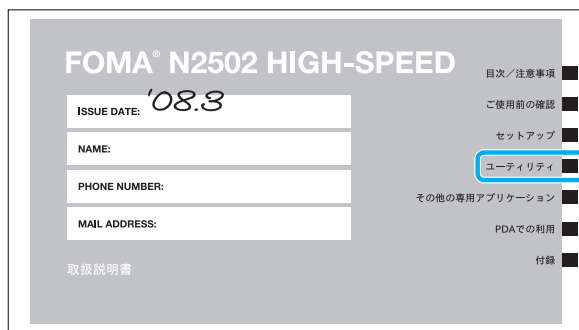
機能名称やサービス名称などを次の例のように探します。

カード設定.....41	ま	インストール.....91
各部の名称と機能.....14	モードランプ.....15	動作環境.....90
故障かな?と思ったら.....134	モードランプ.....15	mopera U.....5
さ	モードランプ.....15	mopera U かんたんスタート.....90
自局電話番号表示.....38, 113	や	動作環境.....90
仕様.....140	ユーティリティ (パソコン用).....32	動作環境.....90
省電力モード.....43, 112	インストール.....32	PDAでの利用.....93
セキュリティ設定.....41	起動.....37	アンインストール.....116
接続先 (APN) の設定.....75	終了.....37	インストール.....95
た	動作環境.....32	ダイヤルアップ接続.....115
ダイヤルアップ接続.....86	ヘルプ.....38	ダイヤルアップ設定.....101
ダイヤルアップネットワークの設定.....78	メイン画面.....37	着信動作設定.....108
	ユーティリティ (PDA用).....100	動作環境.....95
	各種設定画面.....100	発信動作設定.....105
		PDAと接続.....91

表紙インデックスから

➔ 表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に、設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。



P.32
「FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティについて」の説明ページへ

ユーティリティ

- ユーティリティでできること
- FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティについて..... 32
- インストールする
- FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティをインストールする..... 32
- 起動 / 終了する
- メイン画面の見かた..... 37
- FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティを起動 / 終了する..... 37
- ご利用の前に
- 操作を忘れてしまったとき..... ヘルプ 38
- 自分の電話番号を確認する..... 自局電話番号表示 38
- ユーティリティのバージョンを確認する..... 38
- ファームウェアのバージョンを確認する..... 38
- 各種設定をする

※本文中のページとは内容が異なります。

本書ではFOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

タイトルを記載しています。

各手順を操作する際のポイントとなる画面を表しています。お使いのパソコン・PDAの画面と照らし合わせてご覧ください。数値や設定、任意に入力する文字などはすべて一例です。

各機能を利用するときに必要な内容、注意事項や参考になる内容を記載しています。

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティについて

FOMA N2502 High-Speedユーティリティでは次の機能が利用できます。

- FOMA端末の初期設定
- 電波状態の確認や、FOMAカードの状態確認
- 各種設定
- 発信者番号通知、パケット通話拒否設定、PIN1コード設定など

動作環境を確認する

FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項目	必要環境
パソコン本体	OS (TYPE B) または PCカード (TYPE B) に対応したカードスロットを持つもの
OS	Windows Vista 日本語版 Windows XP 日本語版 Service Pack 3 Mac OS X 10.5.8
メモリ	Windows Vista：最低 1GB Windows XP：最低 512MB以上 Windows 2000：推奨 256MB以上
ハードディスク	2GB以上の空き容量

おしらせ

- 必ずメモリおよびハードディスクの空き容量を確認し、十分な容量を確保することをおすすめします。
- 動作環境によっては、ご使用にならない場合があります。また、上記動作環境以外での使用によるお困りやお問い合わせが御座います。当社では責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 対応OSであっても、アップグレードしたOSでの動作が保証されません。

インストールする

- あらかじめFOMA端末をパソコンから取り外しておいてください。
- Administrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントで行うとエラーになります。パソコンのAdministrator権限または管理者権限の設定など詳細については、各パソコンメーカー、マイクログラフ社にお問い合わせください。
- インストールを始める前に、現在使用中または実行しているプログラムを終了してください。
- インストール手順や接続手順は、OSにより異なります。ご利用になるパソコンのOSに合った説明をご覧ください。

Windows Vista の場合

- 設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「許可 (A)」をクリックしてください。

インストールする

1. Windows を起動して、付属の CD-ROM をパソコンにセットする

インデックスから章ごとに検索できます。

各手順での操作を表しています。

ページ番号

次のページに説明がつづくことを示します。

※ 上記のページはサンプルです。本文中のページとは内容、ページ数が異なります。
※ 本書に記載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

目次

本書の見かた／引きかた	1
目次	4
FOMA N2502 HIGH-SPEEDの特徴	5
安全上のご注意（必ずお守りください）	6
取り扱い上の注意について	9
知的財産権について	10
本体付属品について	11

ご使用前の確認

P.13

- 各部の名称と機能
- FOMAカードについて
- FOMA端末から利用できる通信について
- FOMA端末をパソコンに接続する
- FOMA端末をPDAに接続する

セットアップ

P.23

- セットアップについて
- 通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

ユーティリティ

P.31

- FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティについて
- FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティをインストールする
- メイン画面の見かた
- FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを起動／終了する
- 操作を忘れてしまったとき
- 自分の電話番号を確認する
- ユーティリティのバージョンを確認する
- ファームウェアのバージョンを確認する
- APN設定
- 発信動作設定
- 着信動作設定
- その他設定
- ネットワークサービス設定

その他の専用アプリケーション

P.45

- FOMA PC設定ソフトについて
- FOMA PC設定ソフトをインストールする
- FOMA PC設定ソフトをアンインストールする
- FOMA PC設定ソフトによる通信の設定
- 設定した通信を実行する
- 通信設定最適化
- 接続先（APN）の設定
- FOMA PC設定ソフトを利用しない通信の設定
- ダイヤルアップ接続する
- FirstPass PCソフトを利用する
- mopera U かんたんスタートを利用する
- FOMAバイトカウンタを利用する

PDAでの利用

P.93

- セットアップについて
- 各種ソフトをインストールする
- FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを利用する
- 画面の見かた
- 起動する／終了する
- ダイヤルアップ設定
- 発信動作設定
- 着信動作設定
- その他設定
- 操作を忘れてしまったとき
- 自分の電話番号を確認する
- ユーティリティのバージョンを確認する
- ファームウェアのバージョンを確認する
- ネットワークサービス設定
- ダイヤルアップ接続する
- 各種ソフトをアンインストールする

付録

P.119

- ATコマンドについて
- ATコマンド一覧
- 故障かな？と思ったら、まずチェック！
- こんな表示が出たら
- 用語解説
- 保証とアフターサービス
- 輸出管理規制について
- 主な仕様
- 索引

FOMA N2502 HIGH-SPEEDの特徴

FOMAとは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

■ FOMAハイスピードエリア対応

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信最大7.2Mbps／送信最大384kbps（ベストエフォート方式）の速度でデータ通信を行うことができます。

- ※ 最大7.2Mbps・最大384kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。
- ※ 実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- FOMAハイスピードエリア外やmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続した場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」（有料）をご用意しております。詳しくはmopera Uホームページをご覧ください。
<http://www.mopera.net/>
- ※ FOMAハイスピードエリア内でのパケット通信においては、送受信データ量も多くなることが予想されます。高額利用とならないようご注意ください。

■ FOMAカードを差し替えて利用可能

FOMAカードを差し替えることにより、お客様の用途に合わせて、複数のFOMA端末を使い分けることができます。

- 月額基本使用料および通信料などはFOMA端末に取り付けられたFOMAカード契約番号に課金されます。

■ コンパクトサイズ




PDA（一部機種を除く）でも利用することができます。

■ テレビ電話通信対応





テレビ電話対応ソフト「ドコモテレビ電話ソフト」を利用して、パソコンからテレビ電話で通話ができます。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしてはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

- 「安全上のご注意」は下記の4項目に分けて説明しています。

1. FOMA 端末、FOMA カードの取り扱いについて（共通）…………… 6
2. FOMA 端末の取り扱いについて…………… 7
3. FOMA カードの取り扱いについて…………… 8
4. 医用電気機器近くでの取り扱いについて …… 8

1. FOMA 端末、FOMA カードの取り扱いについて（共通）

危険



火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形、故障、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。



分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。



濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

警告



電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、FOMA 端末や FOMA カードを入れないでください。
FOMA 端末の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。



強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
機器の故障、火災の原因となります。



外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。



ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

⚠️ 注意



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して、けがや故障の原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。故障の原因となります。



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

2.FOMA 端末の取り扱いについて

⚠️ 警告



エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA 端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。



FOMA 端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。



航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA 端末を接続しているパソコンの電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。



屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、アンテナを収納し、すぐにパソコンの電源を切って安全な場所に移動してください。落雷、感電の原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA 端末をPCカードスロットから抜いてください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意ください。電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

⚠️ 注意



アンテナを持ってFOMA 端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



人の多い場所では、使用しないでください。アンテナが他の人に当たり、けがの原因となります。



アンテナが破損したまま使用しないでください。

肌に触れるとやけどや、けがなどの原因となります。



磁気カードなどをFOMA 端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



FOMA 端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。



自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
正面と背面の金属（銀色）部分	ステンレス	—
背面のネジ	鉄	三価クロムメッキ
アンテナのピン	黄銅	黒ニッケルメッキ



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

3.FOMA カードの取り扱いについて

⚠ 注意



指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。手や指を傷つける可能性があります。

4. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告



指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、パソコンの電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。



指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、パソコンの電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

共通のお願い

- 水をかけないでください。
FOMA端末、FOMAカードは防水仕様にはなっていません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。
- FOMA端末に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA 端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障・破損の原因となります。
- 移動するときは、FOMA 端末をパソコンから取り外してください。
- 使用中、FOMA 端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA 端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

注意

- 改造されたFOMA 端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA 端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技術マーク」がFOMA 端末の銘版シールに表示されています。FOMA 端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用してインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標、または登録商標です。

- 「FOMA」「mopera U」「mopera」 「FirstPass」 「DoPa」 「sigmarion」 および「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Mobile®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PCMCIA、PC Cardは、Personal Computer Memory Card International Association（米国）の商標または登録商標です。
- CompactFlashは米国SanDisk Corporationの登録商標です。
- その他本文中に記載されている商品名は、各社の商標または商標登録です。
- 下記の一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:

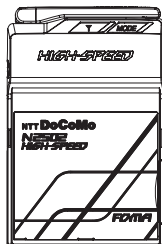
4,901,307 5,490,165 5,056,109
5,504,773 5,101,501 5,506,865
5,109,390 5,511,073 5,228,054
5,535,239 5,267,261 5,544,196
5,267,262 5,568,483 5,337,338
5,600,754 5,414,796 5,657,420
5,416,797 5,659,569 5,710,784
5,778,338

Windowsの表記について

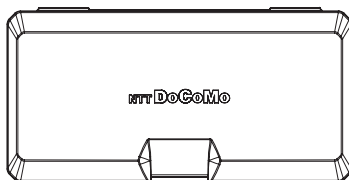
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windowsは、Microsoft® Windows® operating systemの略です。
 - Windows Vistaは、Windows Vista® Home Basic operating system、Windows Vista® Home Premium operating system、Windows Vista® Business operating system、Windows Vista® Enterprise operating system、Windows Vista® Ultimate operating systemの略です。
 - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
 - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
 - Windows CEは、Microsoft® Windows® CE operating systemの略です。
 - Windows XP、2000のように併記する場合があります。

本体付属品について

■ FOMA N2502 HIGH-SPEED本体 (保証書含む)

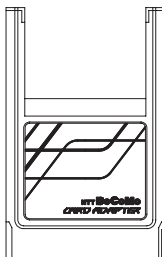


■ FOMA N2502 HIGH-SPEED専用 ケース (試供品)



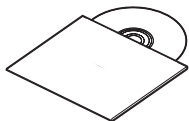
ご使用にならないときや持ち運びのときは、保護のため付属のFOMA N2502 HIGH-SPEED専用ケースに入れてください。

■ PCカードアダプタ (試供品)



■ FOMA N2502 HIGH-SPEED用 CD-ROM

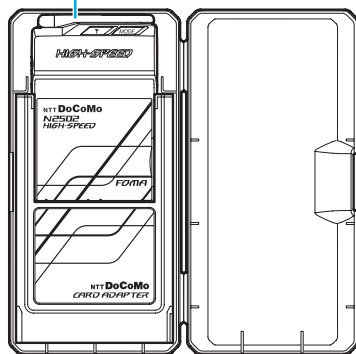
- FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティ (パソコン用、PDA用)
- FOMA N2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル (パソコン用、PDA用)
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ
- mopera U かんたんスタート
- FirstPass PCソフト
- ドコモテレビ電話ソフトのご案内
- FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書 (PDF形式)



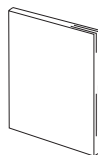
※ ソフトウェアの仕様は、予告なく変更する場合があります。

※ 取扱説明書は、CD-ROM内の「Manual」フォルダ内の「N2502_J_All.pdf」(日本語版) / 「N2502_E_All.pdf」(英語版) をご覧ください。

FOMA N2502 HIGH-SPEED本体と専用ケースの上側を合わせて収納します。



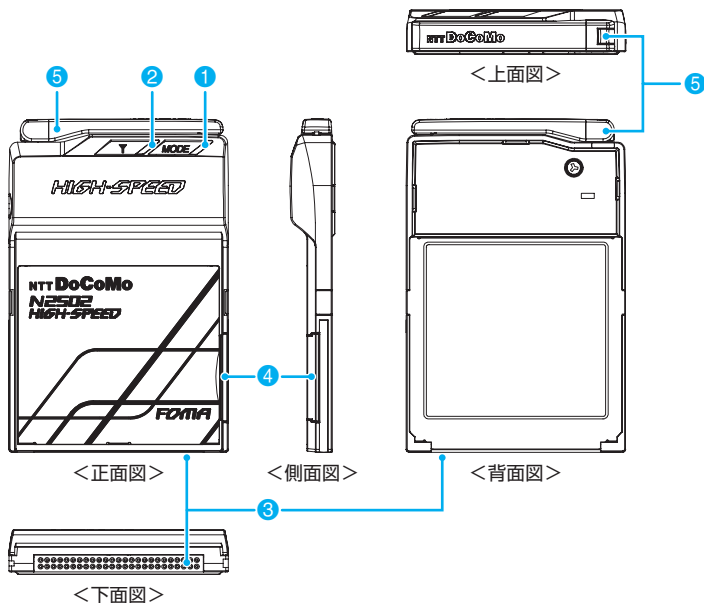
■ FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書～接続ガイド～



ご使用前の確認

各部の名称と機能.....	14
FOMAカードについて.....	16
FOMA端末から利用できる通信について.....	17
FOMA端末をパソコンに接続する.....	19
FOMA端末をPDAに接続する.....	21

各部の名称と機能

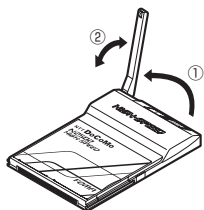


ご使用前の確認

- ① モードランプ
 - FOMA端末の状態などを表示します。→P.15
- ② アンテナランプ
 - 電波の状態などを表示します。→P.15
- ③ コンパクトフラッシュコネクタ
 - パソコンあるいはPCカードアダプタとの接続端子です。→P.19
- ④ FOMAカードトレイ
 - FOMAカードの取り付け、取り外しに使用します。→P.16
- ⑤ 可動アンテナ
 - よりよい条件で通信するために、立てた状態で使用することをおすすめします。

<通信するときは>

<持ち運ぶときは>



ランプ表示について

① モードランプ

FOMA端末の状態		モードランプ
電源OFF／待ち受け中		消灯
パケット通信	発着信中	緑（点滅A）
	通信中*	緑（点灯）
64K データ通信	発着信中	オレンジ（点滅A）
	通信中*	オレンジ（点灯）
テレビ電話通信	発着信中	オレンジ（点滅A）
	通信中*	オレンジ（点灯）
発信規制中		赤（発信動作時に2秒間点灯）

※：省電力モードに設定している場合、発着信中の点滅動作のみとなり通信中は点灯しません。→P.43

② アンテナランプ

FOMA端末の状態		アンテナランプ	
電源OFF		消灯	
電波状態*	FOMAハイスピードエリア	アンテナ3本	緑（点灯）
		アンテナ2本	緑（点滅B）
		アンテナ1本／0本	緑（点滅C）
	FOMAエリア	アンテナ3本	オレンジ（点灯）
		アンテナ2本	オレンジ（点滅B）
		アンテナ1本／0本	オレンジ（点滅C）
圏外		赤（点灯）	
PIN1コード／PINロック解除コード入力待ち PIN完全ロック、FOMAカード未挿入、FOMAカードエラー、FOMAカード以外のUIMカードを挿入		赤（点滅C）	

※：省電力モードに設定している場合、電波状態は点灯しません。→P.43

■ 点滅のパターン

パターン	光りかた
点滅A	約0.75秒高速点滅／約0.25秒消灯を繰り返す
点滅B	約2秒点灯／約1秒消灯を繰り返す
点滅C	約1秒間隔で点灯／消灯を繰り返す

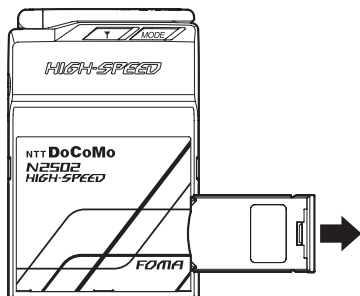
FOMAカードについて

FOMAカードは、電話番号などお客様の情報が記録されているICカードで、FOMA端末に取り付けないと、データ通信やテレビ電話などを利用できません。FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

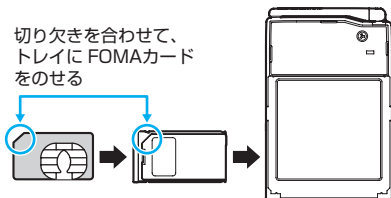
● 取り付けかた

① FOMA 端末を正面にして、矢印の方向に FOMA カードトレイを引き出す



② FOMA 端末を裏側にして FOMA カードトレイを取り外し、FOMA カードをのせたトレイを図のような向きで差し込む

切り欠きを合わせて、トレイに FOMA カードをのせる



FOMA カードをのせたトレイを図のような向きで差し込む

③ FOMA カードトレイを奥まで押し込む 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

● 取り外しかた

① 「取り付けかた」の操作 1 に従って FOMA カードトレイを引き出し、取り外す

② 取り外した FOMA カードトレイの穴から FOMA カードを押して取り外す



FOMA カードトレイの穴

おしらせ

- 手に持った状態で、操作手順に従って正しく取り付け／取り外しを行ってください。無理に取り付けようとしていたり、取り外そうとすると、FOMA カードが破損する場合があります。
- FOMA カードの IC 部分に触れたり、傷を付けたりしないようにご注意ください。
- 取り外した FOMA カードや FOMA カードトレイは、なくさないようにご注意ください。

FOMA カードの暗証番号について

FOMA カードには、PIN1 コード、PIN2 コードという 2 つの暗証番号があり、ご契約時は「0000」に設定されています。

PIN1 コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA 端末の電源を入れるたび、使用者を確認するために入力する 4～8 桁の暗証番号です。

PIN2 コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請 (FirstPass 利用時) を行うときなどに使用する 4～8 桁の暗証番号です。

お客様の FOMA カードが PIN1 コードを照合する設定になっている場合は、そのままデータ通信をすることができません。FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティを起動して、PIN1 コードを照合してから利用するか、あらかじめ FOMA カードの設定を、PIN1 コードを照合しない設定 (P.41) にしてから利用してください。

■ PIN1 コードの変更について

お客様のお好みで、番号を自由に変更できます。第三者による無断使用を防ぐため、お客様独自の番号に変更してください。

なお、3 回連続して PIN1 コードの入力を失敗すると自動的にロック (PIN ロック) されますので、設定した番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

- PIN コード入力設定／PIN1 コード変更→P.42

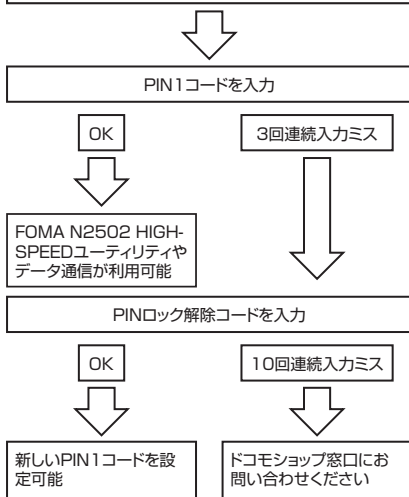
■PINロック解除コードについて

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。お客様ご自身では変更することができません。

なお、PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗するとFOMAカードがロックされますので、PINロック解除コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

- PINロックを解除する→P.42

FOMA端末をパソコンに挿入しFOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを起動するとPIN1コード入力画面を表示



おしらせ

- 本FOMA端末では、PIN2コードを変更することができません。お客様のFOMAカードを、他のPIN2コードが変更可能なFOMA端末に差し込んで、PIN2コードの変更を行ってください。PIN2コードの変更方法については、変更し利用するFOMA端末の取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカード（青色）は、FOMAカード（緑色/白色）とは次のように異なります。

機能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色/白色）
FirstPass	利用不可	利用可能*

※：本FOMA端末では、FirstPass利用時に必要なユーザ証明書を直接取得することができません。お客様のFOMAカードを他のFirstPass対応FOMA端末に差し込んで、ユーザ証明書の発行申請・ダウンロードなどを行っていただいた後、そのFOMAカードを本FOMA端末に差し込んでから利用することになります。ユーザ証明書の取得方法については、ユーザ証明書の取得に利用するFOMA端末の取扱説明書をご覧ください。

FOMA 端末から利用できる通信について

パケット通信と64Kデータ通信

パケット通信

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信最大7.2Mbps/送信最大384kbps（ベストエフォート方式）の速度でデータ通信を行うことができます。

- 最大7.2Mbps・最大384kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。
- 実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- アクセスポイントや電波状況によって通信速度は異なります。
- 付属のCD-ROMに収録されているFOMAバイトカウンタを利用して、パケット通信による送受信バイト数や利用金額の目安を確認することができます。（FOMAバイトカウンタはパソコン専用ソフトです。PDAには対応していません。）
- PDAでデータ通信（パケット）をご利用の場合、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応していませんので、ご注意ください。
- FOMAハイスピードエリア外または、FOMAハイスピードエリア内であってもmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続した場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて通信料金が課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMA64Kデータ通信に対応した接続先を利用して、最大64kbpsの通信速度でデータを送受信できます。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera」も利用できます。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、利用するインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただけます。利用料の詳細い内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」を利用できます。「mopera U」を利用する場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」を利用する場合は申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはFOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDNの同期64K対応の接続先を利用してください。

- DoPaの接続先には接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらからお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

FirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証では、FirstPass（ユーザ証明書※）が必要です。付属のCD-ROMから「FirstPass PCソフト」をインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual（PDF形式）」をご覧ください。

※：本FOMA端末では、FirstPass利用時に必要なユーザ証明書を直接取得することができません。お客様のFOMAカードを他のFirstPass対応FOMA端末に差し込んで、ユーザ証明書の発行申請・ダウンロードなどを行っていただいた後、そのFOMAカードを本FOMA端末に差し込んでから利用することになります。ユーザ証明書の取得方法については、ユーザ証明書の取得に利用するFOMA端末の取扱説明書をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要になります。ただし、条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪い場合は通信できないことがあります。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、アクセスポイントがFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

テレビ電話

接続している時間に応じて通信料金が課金されます。ドコモのテレビ電話に対応（「国際標準の3GPP※1で標準化された3G-324M※2」に準拠）した端末どうしで通話ができます。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）とは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体のことです。

※2：3G-324Mとは、第3世代携帯テレビ電話の国際規格のことです。

- 相手がドコモのテレビ電話に対応していない場合や、対応していても、圏外もしくは電源を切っている場合には接続できません。
- テレビ電話の通信速度には64K（64kbps）と32K（32kbps）がありますが、本FOMA端末では32Kのテレビ電話は利用できません。
- テレビ電話を利用するには、対応アプリケーションの他にUSB対応WEBカメラ、イヤホン、マイクなどの対応機器（市販品）が必要になります。
- イヤホン、マイクなどの対応機器は、パソコンのイヤホン端子、マイク端子に接続して利用します。

おしらせ

- テレビ電話の通信料金はデジタル通信料金となります。
- 対応アプリケーション、対応機器の使いかたなど詳しくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフト サポートホームページからダウンロードしてご利用ください。なお、パソコンでのご利用環境など詳細については、ドコモテレビ電話ソフト サポートホームページでご確認ください。

<http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/>

FOMA 端末をパソコンに接続する

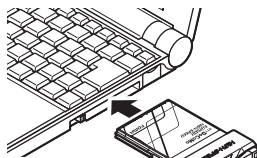
接続のしかた

はじめてFOMA 端末をパソコンに接続するときは、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする必要があります。通信設定ファイル（ドライバ）のインストールについては、「通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする」（P.25）をご参照ください。

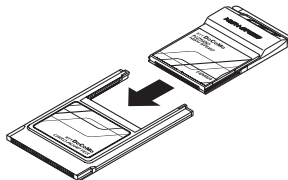
1 パソコンの電源を入れる

2 FOMA 端末のラベル面を上にして、パソコンのCFカードスロット、もしくは付属のPCカードアダプタを取り付けてPCカードスロットへまっすぐ差し込む

■ CFカードスロットに差し込む場合



■ PCカードスロットに差し込む場合



- CFカードスロットやPCカードスロットの位置、挿入方向はパソコンによって異なります。
- CFカードスロットやPCカードスロットの奥までしっかりと差し込んでください。
- パソコンによってはCFカードスロットやPCカードスロットに差し込みづらい場合があります。

3 デスクトップ上のタスクトレイのアイコンをクリックする

■ Windows Vistaの場合



■ Windows XPの場合



■ Windows 2000の場合



- 「FOMA N2502 HIGH-SPEED を安全に取り外します」などと表示されていれば、FOMA端末は正しく認識されています。
- しばらくしても表示されない場合は、パソコンの電源を切り、接続を確認してからもう一度やり直してください。

おしらせ

- FOMA端末をパソコンに差したまま、休止/スタンバイ状態などにしたときは、FOMA端末をパソコンから取り外さないでください。
- 移動するとき、またご利用にならないときはFOMA端末をパソコンから取り外し、FOMA N2502 HIGH-SPEED専用ケースに入れて持ち運んでください。
- FOMA端末をパソコンに差し込んだまま、露出部分を強く握ったりしないでください。けがや故障、破損などの原因になります。
- バッテリー駆動でパソコンをお使いになる場合は、バッテリーの残量にご注意ください。バッテリーが不足した状態で利用すると、FOMA端末の動作が不安定になります。

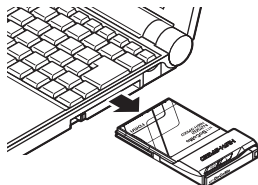
取り外しかた

通信回線が切断されていることを確認してください。

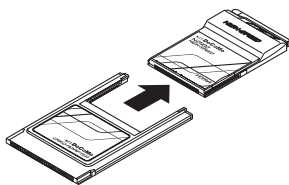
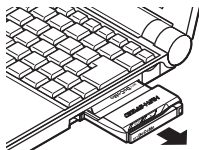
1 タスクトレイアイコンをクリック→「FOMA N2502 HIGH-SPEEDを安全に取り外します」などの表示をクリックする

2 PCカードを取り外せる内容のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンから取り外す

■ CFカードスロットから取り外す場合



■ PCカードスロットから取り外す場合



- イジェクトレバーを押すなど、ご利用のパソコンの取扱説明書の指示に従って取り外してください。
- FOMA端末の金属部分が熱くなっている場合がありますので、アンテナ部の側面付近を持って取り外してください。パソコンによってはCFカードスロットやPCカードスロットから取り外しづらい場合があります。

おしらせ

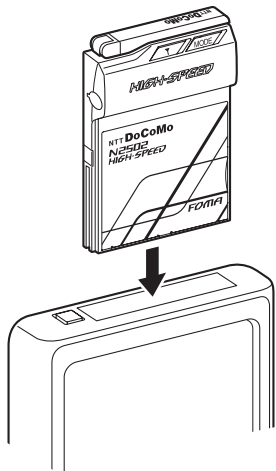
- 取り外したFOMA端末は、FOMA N2502 HIGH-SPEED専用ケースに入れて保管してください。
- 取り外したFOMA端末は、すぐに再び取り付けた場合、認識されないことがあります。3秒ほど待ってから取り付けてください。認識されなかった場合は、一度取り外してから、再び取り付けてください。

FOMA 端末を PDA に接続する

接続のしかた

はじめて FOMA 端末を PDA に接続するときは、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする必要があります。通信設定ファイル（ドライバ）のインストールについては、「各種ソフトをインストールする」（P.95）をご参照ください。

- ① PDA の電源を入れる
- ② FOMA 端末の表・裏を確認して、PDA の CF カードスロットへまっすぐ差し込む



- CF カードスロットの位置、挿入方向は PDA によって異なります。
- CF カードスロットの奥までしっかりと差し込んでください。
- PDA によっては CF カードスロットに差し込みづらい場合があります。
- PDA の使用方法など詳細は、PDA の取扱説明書をご覧ください。

取り外しかた

通信回線が切断されていることを確認した上で、PDA の取扱説明書に従って取り外してください。

セットアップ

■セットアップをする前に

セットアップについて 24

■通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする 25

セットアップについて

セットアップ完了までの流れ

次のソフトのインストールは、付属のCD-ROMから行います。

- ご利用のパソコンにCD-ROMドライブがない場合や、PCカードスロットが1つしかなく、そこに外付けのCD-ROMドライブを接続している場合は、あらかじめCD-ROMの内容をパソコンのハードディスクにコピーしてから、セットアップを行ってください。
- PDAにセットアップを行う場合は「PDAでの利用」(P.93)をご参照ください。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末をパソコンに認識させるためのソフトをインストールします。

- Windows Vistaの場合→P.25
- Windows XPの場合→P.26
- Windows 2000の場合→P.27
- 「インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」→P.28

FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティをインストールする

FOMA端末の状態確認や各種設定を行うためのソフトをインストールします。

- 「FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティをインストールする」→P.32

■
<FOMA PC設定ソフトを使って
接続先の設定をする場合>

■
<FOMA PC設定ソフトを
使わない場合>

FOMA PC設定ソフトをインストールする

パケット通信／64Kデータ通信の通信設定を簡単な操作で行うためのソフトをインストールします。

- 「FOMA PC設定ソフトをインストールする」→P.48

■
<パケット通信
をする場合>

■
<64Kデータ通信
をする場合>

設定する

- mopera U, mopera→P.54
- その他のプロバイダ→P.58

設定する

- mopera U, mopera→P.64
- その他のプロバイダ→P.66

設定する

- FOMA PC設定ソフトを使わず
に通信の設定をします。→P.76

接続と切断

- 接続します。→P.70
- 切断します。→P.71

接続と切断

- 接続します。→P.86
- 切断します。→P.88

動作環境を確認する

FOMA 端末を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項目	必要環境
パソコン本体	CF (TYPE II) またはPCカード (TYPE II) に対応したカードスロットを持つもの
OS	Windows Vista 日本語版 Windows XP 日本語版 Service Pack2以降 Windows 2000 日本語版 Service Pack4以降
メモリ	Windows Vista : 推奨 1GB以上 Windows XP : 推奨 512MB以上 Windows 2000 : 推奨 256MB以上
ハードディスク	20MB以上の空き容量

お知らせ

- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。
- 動作環境によっては、ご使用になれない場合があります。また、上記動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 対応OSであっても、アップグレードしたOSでの動作は保証いたしかねます。

通信設定ファイル (ドライバ) をインストールする

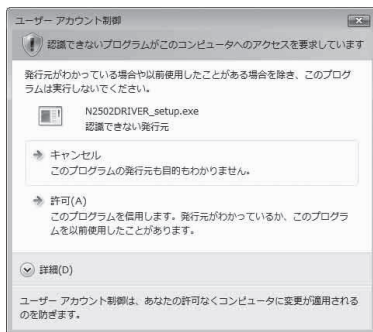
通信設定ファイル (ドライバ) のインストールは、利用するパソコンに初めてFOMA 端末を接続するときのみ行います。

インストールする

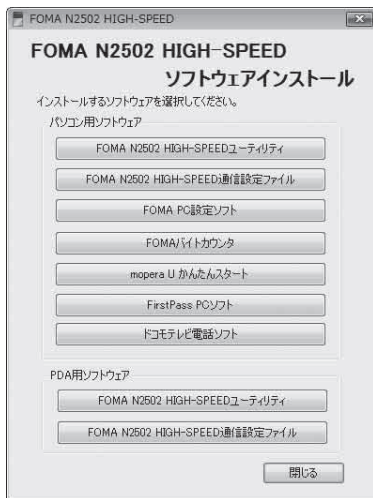
- あらかじめFOMA 端末をパソコンから取り外しておいてください。
- Administrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントで行うとエラーになります。パソコンのAdministrator権限または管理者権限の設定など詳細については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- インストールを始める前に、現在使用中または常駐しているプログラムを終了してください。
- インストール手順や確認手順は、OSにより異なります。ご利用になるパソコンのOSに合った説明をご参照ください。

Windows Vistaの場合

- 設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「許可(A)」をクリックしてください。



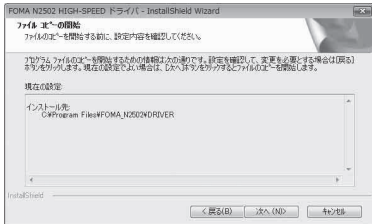
- 1 Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする
- 2 パソコン用ソフトウェア [FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル] をクリックする



3 [次へ] をクリックする



4 [次へ] をクリックする



Windows Vista 64bit版の場合は、インストール先は次のフォルダになります。
C:\Program Files(x86)\FOMA_N2502\DRIVER

5 [完了] をクリックする



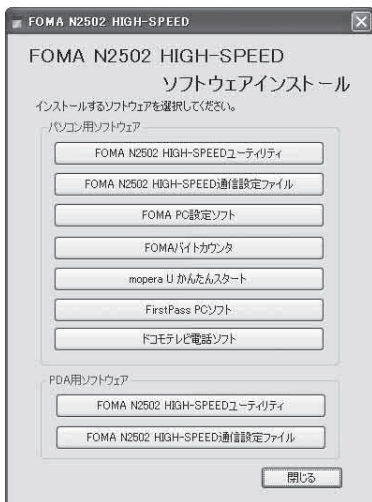
6 FOMA 端末をパソコンに接続する

自動的にインストールが始まります。しばらくするとタスクトレイ上に「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」、「デバイスを使用する準備ができました」が表示されて、インストールが完了します。

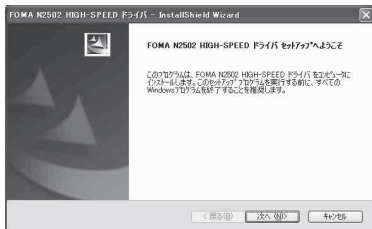
● Windows XPの場合

1 Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする

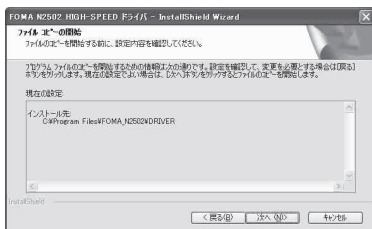
2 パソコン用ソフトウェア【FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル】をクリックする



3 [次へ] をクリックする



4 [次へ] をクリックする



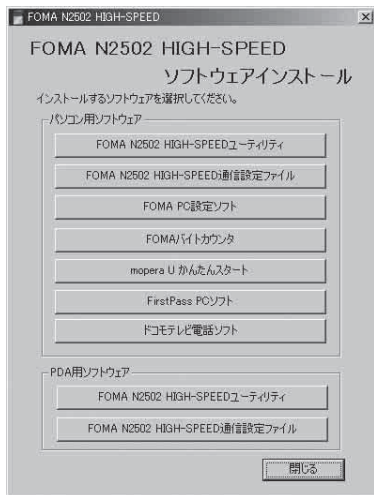
5 [完了] をクリックする



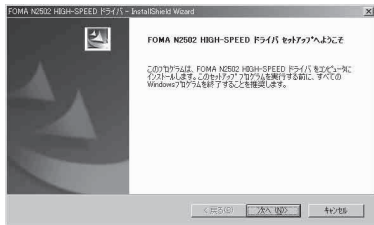
- 6 FOMA 端末をパソコンに接続する
自動的にインストールが始まり、しばらくすると完了します。

● Windows 2000 の場合

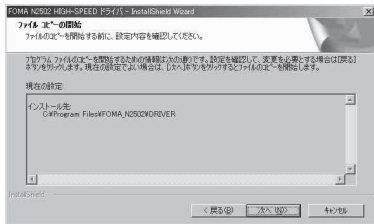
- 1 Windows を起動して、付属の CD-ROM をパソコンにセットする
- 2 パソコン用ソフトウェア [FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル] をクリックする



3 [次へ] をクリックする



4 [次へ] をクリックする



5 [完了] をクリックする



- 6 FOMA 端末をパソコンに接続する
自動的にインストールが始まり、しばらくすると完了します。

インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

FOMA N2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

● Windows Vistaの場合

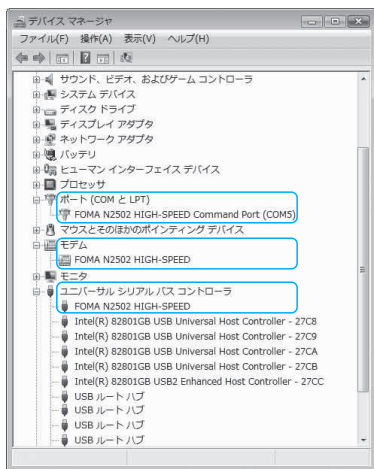
● 設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「許可(A)」または「続行(C)」をクリックしてください。

① **【スタート】 → 【コントロールパネル】 → 【システムとメンテナンス】 をクリックする**

② **【デバイスマネージャ】 をクリックする**

③ **各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する**

● インストールされたドライバ名一覧に記載された内容を確認します。



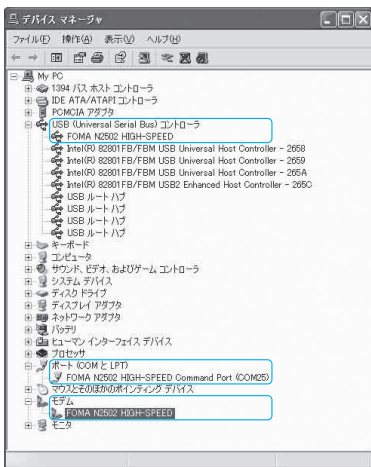
● Windows XPの場合

① **【スタート】 → 【コントロールパネル】 → 【パフォーマンスとメンテナンス】 → 【システム】 をクリックする**

② **【ハードウェア】 タブ → 【デバイスマネージャ】 をクリックする**

③ **各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する**

● インストールされたドライバ名一覧に記載された内容を確認します。



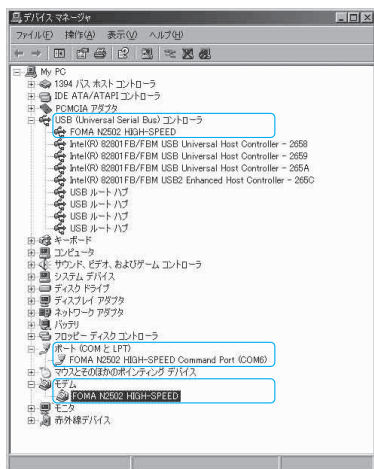
● Windows 2000の場合

① **【スタート】 → 【設定】 → 【コントロールパネル】 → 【システム】をダブルクリックする**

② **【ハードウェア】タブ → 【デバイスマネージャ】をクリックする**

③ **各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する**

- インストールされたドライバ名一覧に記載された内容を確認します。



● インストールされたドライバ名一覧

デバイス名	ドライバ名
ユニバーサルシリアルバスコントローラまたはUSB (Universal Serial Bus) コントローラ	FOMA N2502 HIGH-SPEED
ポート (COMとLPT)	FOMA N2502 HIGH-SPEED Command Port
モデム	FOMA N2502 HIGH-SPEED

おしらせ

- COMポート番号はお使いのパソコンによって異なります。

おしらせ

- 引き続き、接続先の設定をする場合は次の参照先に進んでください。
FOMA PC設定ソフトを利用して接続先の設定をする → P.46
FOMA PC設定ソフトを利用せずに接続先の設定をする → P.76
- 通信設定ファイル (ドライバ) の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合は、「アンインストールする」の手順に従ってN2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル (ドライバ) を一旦削除してから、再度インストールしてください。

アンインストールする

通信設定ファイル (ドライバ) のアンインストールが必要な場合は、次の手順で行ってください。

- あらかじめFOMA端末をパソコンから取り外しておいてください。
- Administrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントで行くとエラーになります。パソコンのAdministrator権限または管理者権限の設定など詳細については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

● Windows Vistaの場合

- 設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「許可(A)」または「続行(C)」をクリックしてください。

① **【スタート】 → 【コントロールパネル】 → 【プログラムのアンインストール】をクリックする**

② **「FOMA N2502 HIGH-SPEED ドライバ」を選択 → 【アンインストール】をクリックする**



③ **【OK】をクリックしてアンインストールする**

【キャンセル】をクリックするとアンインストールを中止します。

4 [完了] をクリックする



● Windows XPの場合

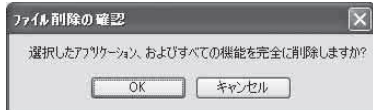
1 [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] をクリックする

2 「FOMA N2502 HIGH-SPEED ドライバ」を選択 → [削除] をクリックする



3 [OK] をクリックしてアンインストールする

[キャンセル] をクリックするとアンインストールを中止します。



4 [完了] をクリックする



● Windows 2000の場合

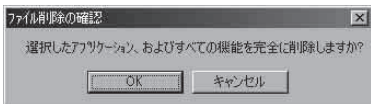
1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [アプリケーションの追加と削除] をクリックする

2 「FOMA N2502 HIGH-SPEED ドライバ」を選択 → [変更と削除] をクリックする



3 [OK] をクリックしてアンインストールする

[キャンセル] をクリックするとアンインストールを中止します。



4 [完了] をクリックする



ユーティリティ

■ユーティリティでできること

FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティについて 32

■インストールする

FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティをインストールする 32

■起動／終了する

メイン画面の見かた 37

FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを起動／終了する 37

■ご利用の前に

操作を忘れてしまったとき ヘルプ 38

自分の電話番号を確認する 自局電話番号表示 38

ユーティリティのバージョンを確認する 38

ファームウェアのバージョンを確認する 38

■各種設定をする

APN設定 38

発信動作設定 発信者番号通知 39

着信動作設定 40

その他設定 カード設定・セキュリティ設定 41

■ドコモのネットワークサービスを設定する

ネットワークサービス設定 ネットワークサービス設定 43

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティについて

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティでは次の機能が利用できます。

- FOMA端末の状態確認
電波状況の確認や、FOMAカードの状態確認
- 各種設定
発信者番号通知、パケット着信拒否設定、PIN1コード設定など

動作環境を確認する

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティを利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項目	必要環境
パソコン本体	CF (TYPE II) またはPCカード (TYPE II) に対応したカードスロットを持つもの
OS	Windows Vista 日本語版 Windows XP 日本語版 Service Pack2以降 Windows 2000 日本語版 Service Pack4以降
メモリ	Windows Vista : 推奨 1GB以上 Windows XP : 推奨 512MB以上 Windows 2000 : 推奨 256MB以上
ハードディスク	20MB以上の空き容量

おしらせ

- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なる場合があります。
- 動作環境によっては、ご使用になれない場合があります。また、上記動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 対応OSであっても、アップグレードしたOSでの動作は保証いたしかねます。

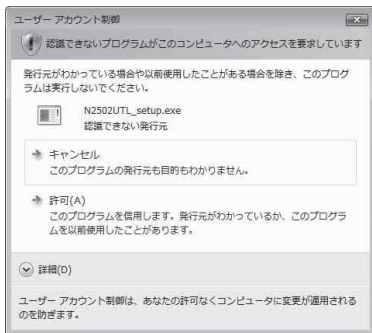
FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティをインストールする

インストールする

- あらかじめFOMA端末をパソコンから取り外しておいてください。
- Administrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントで行うとエラーになります。パソコンのAdministrator権限または管理者権限の設定など詳細については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- インストールを始める前に、現在使用中または常駐しているプログラムを終了してください。
- インストール手順や確認手順は、OSにより異なります。ご利用になるパソコンのOSに合った説明をご参照ください。

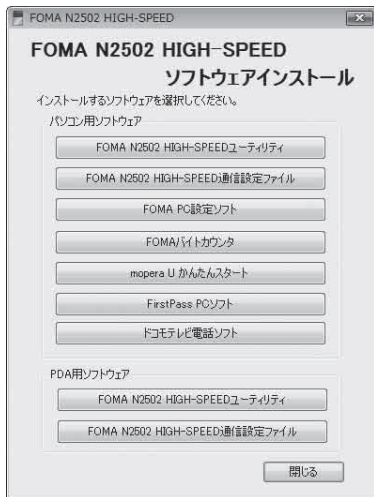
● Windows Vistaの場合

- 設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「許可(A)」をクリックしてください。



1 Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする

2 パソコン用ソフトウェア [FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティ] をクリックする



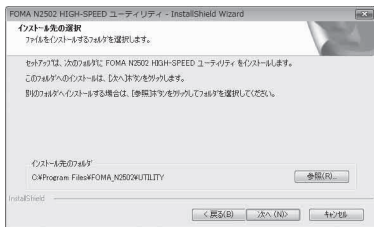
3 [次へ] をクリックする



4 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は [はい] をクリックする

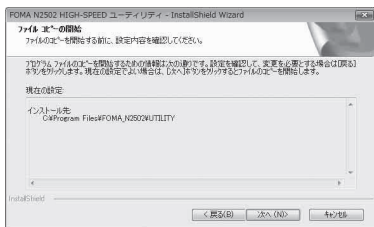


5 インストール先を確認→ [次へ] をクリックする



Windows Vista 64bit版の場合は、インストール先は次のフォルダになります。
C:\Program Files(x86)\FOMA_N2502UTILITY

6 [次へ] をクリックする



7 [完了] をクリックする



● Windows XPの場合

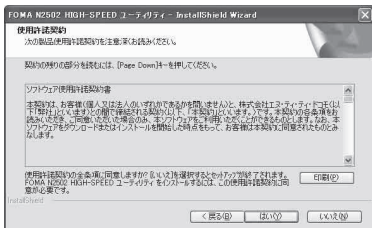
- 1 Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする
- 2 パソコン用ソフトウェア [FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティ] をクリックする



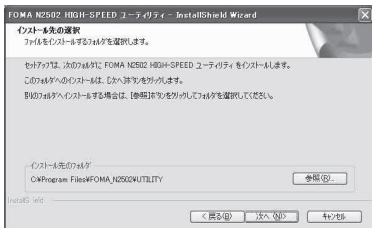
- 3 [次へ] をクリックする



- 4 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は [はい] をクリックする



- 5 インストール先を確認→ [次へ] をクリックする



- 6 [次へ] をクリックする

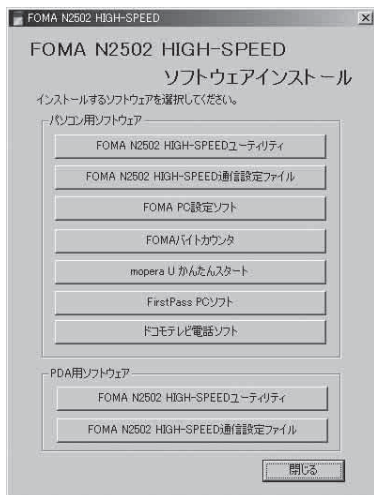


- 7 [完了] をクリックする



● Windows 2000 の場合

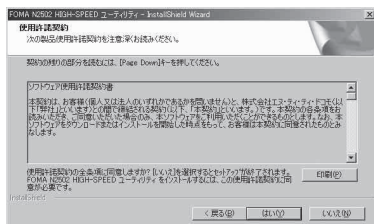
- 1 Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする
- 2 パソコン用ソフトウェア [FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティ] をクリックする



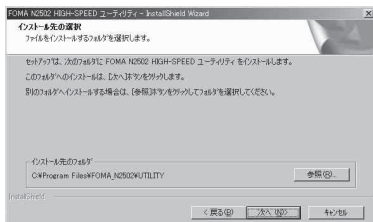
- 3 [次へ] をクリックする



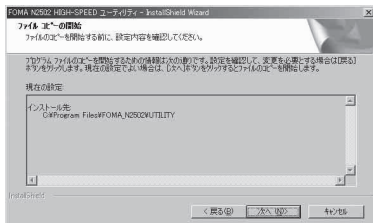
- 4 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は [はい] をクリックする



- 5 インストール先を確認→ [次へ] をクリックする



- 6 [次へ] をクリックする



- 7 [完了] をクリックする



アンインストールする

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティのアンインストールが必要な場合は、次の手順で行ってください。

- あらかじめFOMA端末をパソコンから取り外しておいてください。
- Administrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントで行うとエラーになります。パソコンのAdministrator権限または管理者権限の設定など詳細については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

Windows Vistaの場合

- 設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「許可(A)」または「続行(C)」をクリックしてください。

① [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール] をクリックする

② 「FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティ」を選択 → [アンインストール] をクリックする



③ [OK] をクリックする

④ [完了] をクリックする



Windows XPの場合

① [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] をクリックする

② 「FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティ」を選択 → [削除] をクリックする



③ [OK] をクリックする



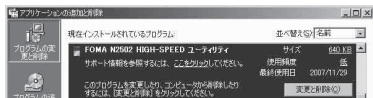
④ [完了] をクリックする



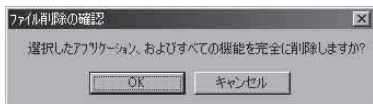
Windows 2000の場合

① [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [アプリケーションの追加と削除] をクリックする

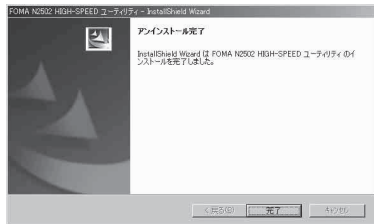
② 「FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティ」を選択 → [変更と削除] をクリックする



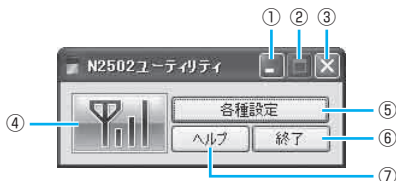
③ [OK] をクリックする



4 [完了] をクリックする



メイン画面の見かた



- ① 最小化ボタン
 - メイン画面を閉じて、タスクバーに収納
- ② 最大化ボタン
- ③ 終了ボタン
 - FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを終了
- ④ ステータスアイコン表示エリア

アイコン	表示内容
	電波状態アンテナ3本 (強い)
	電波状態アンテナ2本 (やや弱い)
	電波状態アンテナ1本 (弱い)
	サービスエリア外 / 電波の届かない場所にいる
	FOMA端末がパソコンに接続されていない
	FOMAカード未挿入
	PIN1 コード入力待ち

アイコン	表示内容
	PINロック解除コード入力待ち
	PIN完全ロック
	FOMAカードエラー / FOMAカード以外のUIMカードを挿入

- ⑤ 各種設定ボタン
 - APN 編集や発信時設定などの各種設定メニューを表示
- ⑥ 終了ボタン
 - FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを終了
- ⑦ ヘルプボタン
 - ヘルプ画面を別ウィンドウで表示

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティを起動 / 終了する

起動する

- あらかじめFOMA端末をパソコンに接続し、FOMA端末がパソコンに認識 (P.28) されていることを確認してください。
- Administrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで利用してください。
- 他のユーザが使用中の場合は、起動できません。

Windows Vista、Windows XPの場合

- ① **[スタート]** または **[スタート]** → **[すべてのプログラム]** → **[FOMA N2502 HIGH-SPEED]** → **[FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティ]** をクリックする
メイン画面 (P.37) が表示されます。

Windows 2000の場合

- ① **[スタート]** → **[プログラム]** → **[FOMA N2502 HIGH-SPEED]** → **[FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティ]** をクリックする
メイン画面 (P.37) が表示されます。

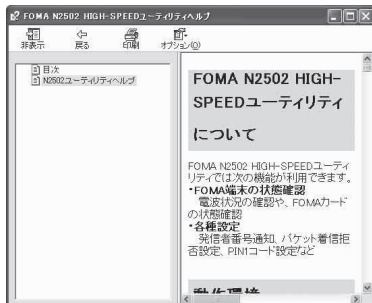
終了する

- ① メイン画面 (P.37) 右上の **[X]**、または **[終了]** をクリックする

操作を忘れてしまったとき (ヘルプ)

ヘルプを表示して、使い方などを表示します。

① メイン画面で【ヘルプ】をクリックする



② 見たいヘルプ項目をクリックする

画面右側にヘルプ内容が表示されます。

おしらせ

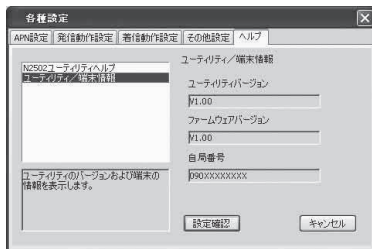
- パソコンの [F1] キーを押してもヘルプを起動できません。

自分の電話番号を確認する (自局電話番号表示)

FOMAカードに登録されているお客様の電話番号(自局電話番号)を表示します。

① メイン画面で【各種設定】→【ヘルプ】タブ→【ユーティリティ／端末情報】をクリックする

自局番号が表示されます。



ユーティリティのバージョンを確認する

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティの機能を向上させるためにソフトウェアのバージョンをアップすることがあります。バージョンアップが必要か確認するときに、ユーティリティのソフトウェアバージョンを表示します。操作方法は「自分の電話番号を確認する」(P.38)を参照してください。ユーティリティバージョンが表示されます。

ファームウェアのバージョンを確認する

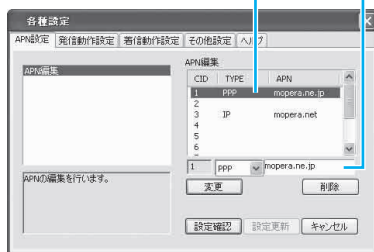
FOMA 端末の機能を改善するためにファームウェアのバージョンをアップすることがあります。バージョンアップが必要か確認するときに、本FOMA 端末のファームウェアバージョンを表示します。操作方法は「自分の電話番号を確認する」(P.38)を参照してください。ファームウェアバージョンが表示されます。

APN設定

パケット通信を行うときに必要な接続先 (APN) の確認や設定をします。

① メイン画面で【各種設定】→【APN設定】タブ→【APN編集】をクリックする

APNリスト 編集欄



● APNを確認する

① 【設定確認】をクリックする

FOMAカードに登録されたAPNが読み出しされたAPNリストに表示されます。

● APNを編集する

1 APNリストから設定したい【CID】をクリックして、編集欄のTYPE、APNを編集する

TYPEにはプルダウンメニューからIPまたはPPPを選択し、APNには値を直接入力します。[削除]をクリックすると、選択した【CID】の内容が削除されます。

2 [変更] → [設定更新] をクリックする

[変更] をクリックして編集欄の内容を確認し、[設定更新] をクリックしてFOMA端末にAPNリストを書き込みます。

3 [OK] をクリックする



おしらせ

- [変更] → [設定更新] がクリックされるまでは、APNの編集は反映されていません。間違った場合は、[キャンセル] をクリックして設定を中断してください。

発信動作設定

(発信者番号通知)

64Kデータ通信やテレビ電話通信を使用するときや、パケット通信の発信時にお客様の電話番号(発信者番号)を接続先や相手に通知するかしないかを設定します。電話番号(発信者番号)はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

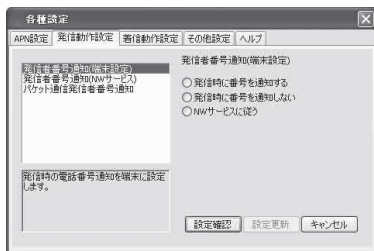
発信者番号通知(端末設定)

64Kデータ通信やテレビ電話通信を使用するとき、発信時にお客様の電話番号を接続先や相手に通知するかしないかを設定します。

1 メイン画面で [各種設定] → [発信動作設定] タブ → [発信者番号通知(端末設定)] をクリックする

2 設定する内容の○をクリック→ [設定更新] をクリックする

[NWサービスに従う] に設定した場合は、[発信者番号通知(NWサービス)] (P.39) の設定内容が有効になります。



3 [OK] をクリックする

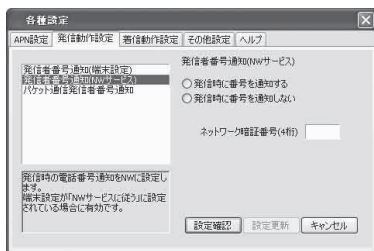


発信者番号通知(NWサービス)

64Kデータ通信やテレビ電話通信を使用するとき、発信時にお客様の電話番号を接続先や相手に通知するかしないかをネットワーク上に設定します。

1 メイン画面で [各種設定] → [発信動作設定] タブ → [発信者番号通知(NWサービス)] をクリックする

2 設定する内容の○をクリック→ [ネットワーク暗証番号(4桁)] を入力し、[設定更新] をクリックする



3 [OK] をクリックする



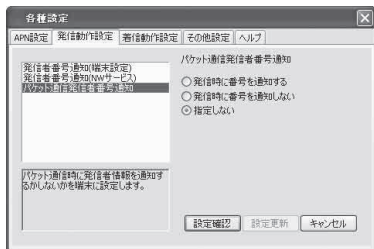
お知らせ

- ネットワーク暗証番号（4桁）は半角数字で入力してください。

パケット通信発信者番号通知

パケット通信を行うときに、接続先にお客様の発信者番号を通知するかしないかの設定を行うことができます。

- ① メイン画面で【各種設定】→【発信動作設定】タブ→【パケット通信発信者番号通知】をクリックする
- ② 設定する内容の○をクリック→【設定更新】をクリックする



- ③ [OK] をクリックする



着信動作設定

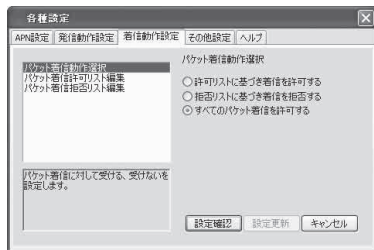
パケット着信動作選択

パケット通信の着信を拒否するかしないかを設定します。

- ① メイン画面で【各種設定】→【着信動作設定】タブ→【パケット着信動作選択】をクリックする

- ② 設定する内容の○をクリック→【設定更新】をクリックする

[許可リストに基づき着信を許可する]に設定した場合は、[パケット着信許可リスト編集] (P.40) に登録された接続先からの着信が許可されます。[拒否リストに基づき着信を拒否する]に設定した場合は、[パケット着信拒否リスト編集] (P.41) に登録された接続先からの着信が拒否されます。



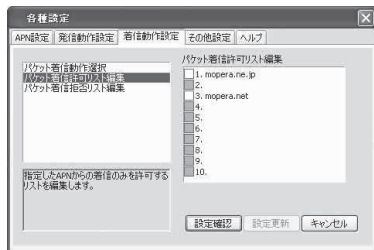
- ③ [OK] をクリックする



パケット着信許可リスト編集

パケット着信動作選択 (P.40) で [許可リストに基づき着信を許可する]に設定した場合に有効になります。

- ① メイン画面で【各種設定】→【着信動作設定】タブ→【パケット着信許可リスト編集】をクリックする
- ② リストから着信を許可するAPNをチェック→【設定更新】をクリックする



3 [OK] をクリックする

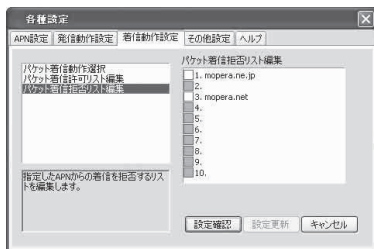


パケット着信拒否リスト編集

パケット着信動作選択 (P.40) で [拒否リストに基づき着信を拒否する] に設定した場合に有効になります。

1 メイン画面で [各種設定] → [着信動作設定] タブ → [パケット着信拒否リスト編集] をクリックする

2 リストから着信を拒否するAPNをチェック → [設定更新] をクリックする



3 [OK] をクリックする



その他設定

(カード設定・セキュリティ設定)

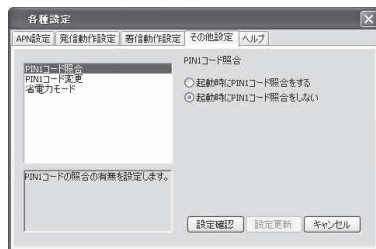
FOMAカードに記録されているPIN1コードの設定や省電力モードの設定をします。

PIN1コード照合

FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを起動することにPIN1コードを照合するかしないかを設定します。照合する設定に変更すると、次にFOMA端末を利用するときからは、FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティでPIN1コードを照合しないとデータ通信することはできません。

1 メイン画面で [各種設定] → [その他設定] タブ → [PIN1コード照合] をクリックする

2 設定する内容の をクリック → [設定更新] をクリックする



3 PIN1コードを入力 → [OK] をクリックする



4 [OK] をクリックする



おしらせ

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。
- ご契約時にPIN1コードは「0000」に設定されています。

お知らせ

- 3回連続してPIN1コードの入力を失敗すると自動的にロック (PINロック) されますのでご注意ください。

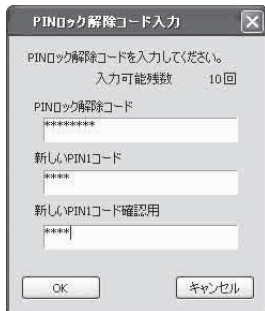


- PINロックされたときは、PINロック解除コードでPINロックを解除してください (P.42)。

● PINロックを解除する

3回連続してPIN1コードの入力を失敗したときは、PINロックされてほとんどの機能が制限されます。解除するためには「PINロック解除コード入力」画面で、PINロックを解除して、新しいPIN1コードを設定する必要があります。

- 1 「PINロック解除コード入力」画面→PINロック解除コード (8桁) を入力→新しく設定するPIN1コードを4~8桁で入力→新しく設定するPIN1コードを確認のために再入力→【OK】をクリックする



お知らせ

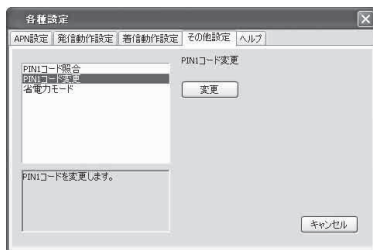
- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗するとFOMAカードがロックされますので、PINロック解除コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。
- PINロック解除コードを忘れた場合や、FOMAカードがロックされた場合は、FOMA端末とご利用のFOMAカード、お客様がご契約されたご本人であることを証明できるもの (運転免許証など) をドコモショップ窓口にお持ちいただくことになりますのでご注意ください。

PIN1コード変更

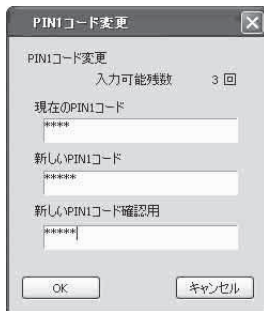
PIN1コードを変更します。

- PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード照合」を「起動時にPIN1コード照合をする」に設定しておく必要があります。

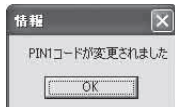
- 1 メイン画面で【各種設定】→【その他設定】タブ→【PIN1コード変更】をクリックする



- 2 【変更】→「PIN1コード変更」画面→現在設定しているPIN1コードを入力→新しく設定するPIN1コードを4~8桁で入力→新しく設定するPIN1コードを確認のために再入力→【OK】をクリックする



- 3 【OK】をクリックする



お知らせ

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。
- ご契約時にPIN1コードは「0000」に設定されています。

お知らせ

- 3回連続してPIN1コードの入力を失敗すると自動的にロック (PINロック) されますのでご注意ください。

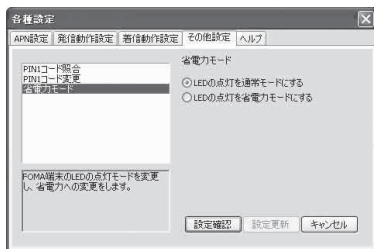


- PINロックされたときは、PINロック解除コードでPINロックを解除してください (P.42)。

省電力モード

FOMA端末のLEDの点灯モードを変更し、省電力への変更をします。

- 1 メイン画面で [各種設定] → [その他設定] タブ → [省電力モード] をクリックする
- 2 設定する内容の をクリック → [設定更新] をクリックする



- 3 [OK] をクリックする



ネットワークサービス設定 (ネットワークサービス設定)

ドコモのネットワークサービスを利用する場合に必要な設定を行います。FOMA端末で利用できるドコモのネットワークサービスは次のとおりです。

サービス名	お申し込み	月額使用料
発信者番号通知サービス	不要	無料

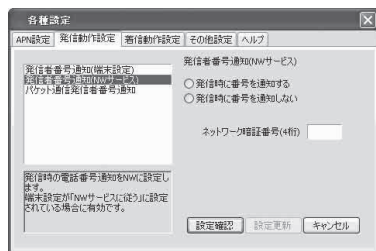
お知らせ

- ドコモのネットワークサービスをご利用されるときにお客様確認のため数字4桁のネットワーク暗証番号を使用します。パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」で契約時にお客様が任意に設定される番号であり、お客様ご自身で番号を変更することができます。

発信者番号通知サービスを設定する (発信者番号通知)

64Kデータ通信やテレビ電話通信を使用するときに、発信時にお客様の電話番号を接続先や相手に通知するかしないかをネットワーク上に設定します。電話番号 (発信者番号) はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

- 1 メイン画面で [各種設定] → [発信動作設定] タブ → [発信者番号通知 (NWサービス)] をクリックする
- 2 設定する内容の をクリック → [ネットワーク暗証番号 (4桁)] を入力し、[設定更新] をクリックする



- 3 [OK] をクリックする



お知らせ

- 発信者番号通知の設定はFOMA端末に設定した内容が優先されます。ネットワークサービスを利用する場合は [各種設定] → [発信動作設定] → [発信者番号通知 (端末設定)] → [NWサービス設定に従う] に設定してください。 (P.39)
- ネットワーク暗証番号 (4桁) は半角数字で入力してください。

その他の専用アプリケーション

■ FOMA PC 設定ソフトを利用する

FOMA PC 設定ソフトについて	46
FOMA PC 設定ソフトをインストールする	48
FOMA PC 設定ソフトをアンインストールする	52
FOMA PC 設定ソフトによる通信の設定	53
設定した通信を実行する	70
通信設定最適化	72
接続先 (APN) の設定	75

■ FOMA PC 設定ソフトを利用しない設定方法について

FOMA PC 設定ソフトを利用しない通信の設定	76
ダイヤルアップ接続する	86

■ FirstPass PC ソフトを利用する

FirstPass PC ソフトを利用する	88
-----------------------------	----

■ mopera U かんたんスタートを利用する

mopera U かんたんスタートを利用する	90
------------------------------	----

■ FOMA バイトカウンタを利用する

FOMA バイトカウンタを利用する	90
-------------------------	----

FOMA PC 設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC 設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

■かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信ダイヤルアップの作成」や、「通信設定最適化」などを簡単に行います。

■通信設定最適化

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、通信設定最適化が必要になります。

■接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時には、cid1には「mopera」の接続先（APN）「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera U」の接続先（APN）「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10に接続先（APN）を設定してください。

cid（Context Identifier）…FOMA端末に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

お知らせ

- FOMA PC 設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。
- mopera Uにご契約されていないお客様は「mopera U かんたんスタート」（P.90）をご利用できます。
- FOMA PC 設定ソフト Ver4.0.0以前の古いバージョン（以後、旧FOMA PC設定ソフトと呼びます）がインストールされている場合は、あらかじめ旧FOMA PC設定ソフトをアンインストールしてください。

FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

STEP 1 ソフトの インストール



「FOMA PC設定ソフト」をインストールします

インストール方法は、P.48を参照してください。
「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト Ver.4.0.0」のインストールを行う前にアンインストールしてください。
「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト Ver.4.0.0」のインストールは行えません。
「旧W-TCP設定ソフト」および「旧APN設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合は、P.51をご参照ください。

STEP 2 設定前の 準備



「FOMA PC設定ソフト」をインストールします

各種設定の前にFOMA端末とパソコンが接続され、かつ正しく認識されていることを確認してください。
「FOMA端末とパソコンの接続方法」については、「FOMA端末をパソコンに接続する」(P.19)を参照してください。
「FOMA端末をパソコンに正しく認識させる方法」については、「インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する」(P.28)を参照してください。
FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行うことができません。その場合は「通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする」(P.25)を参照し、通信設定ファイルのインストールを行ってください。

STEP 3 各種 設定作業



ご利用の通信に対応した設定をします

かんたん設定
「mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信設定方法」はP.54を参照してください。
「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」はP.58を参照してください。
「mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法」は、P.64を参照してください。
「その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法」は、P.66を参照してください。
その他の設定は、P.72以降を参照してください。

STEP 4 接続

インターネットに接続します

接続方法は、P.70を参照してください。

動作環境を確認する

FOMA PC設定ソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項目	必要環境
OS	Windows Vista 日本語版 Windows XP 日本語版 Windows 2000 日本語版
メモリ	Windows Vista : 512MB以上 Windows XP : 128MB以上 Windows 2000 : 64MB以上
ハードディスク	5MB以上の空き容量

おしらせ

- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。
- 動作環境によっては、ご利用にならない場合があります。また、上記動作環境以外でのご利用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 対応OSであっても、アップグレードしたOSでの動作は保証いたしかねます。

FOMA PC 設定ソフトをインストールする

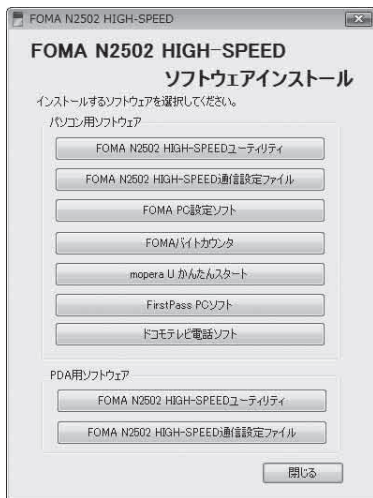
- Administrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントで行うとエラーになります。パソコンのAdministrator権限または管理者権限の設定など詳細については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- インストールを始める前に、現在使用中または常駐しているプログラムを終了してください。
- インストール手順や確認手順は、OSにより異なります。ご利用になるパソコンのOSに合った説明をご参照ください。

● Windows Vistaの場合

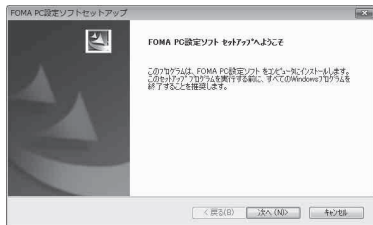
- 設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「続行(C)」をクリックしてください。

① Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする

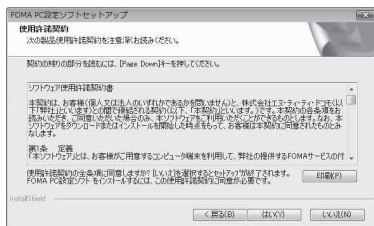
② パソコン用ソフトウェア【FOMA PC設定ソフト】をクリックする



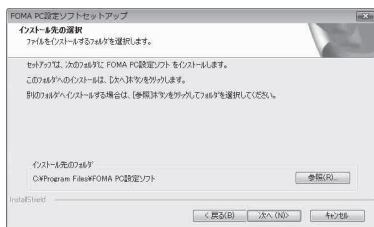
③ 【次へ】をクリックする



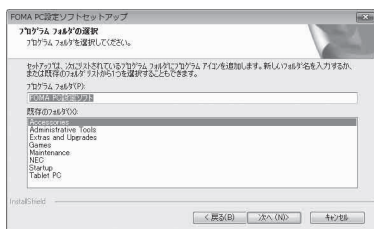
- 4 FOMA PC 設定ソフトの使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は【はい】をクリックする**
同意しない場合は【いいえ】をクリックしてください。インストールを中止します。



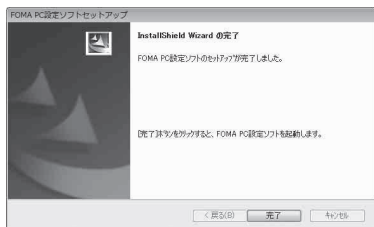
- 5 インストール先を確認→【次へ】をクリックする**
変更する場合は【参照】→任意のインストール先を指定→【次へ】をクリックしてください。



- 6 プログラムフォルダのフォルダ名を確認→【次へ】をクリックする**
変更する場合は新規フォルダ名を入力→【次へ】をクリックしてください。



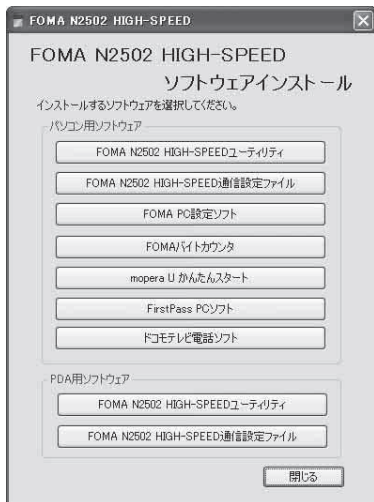
- 7 【完了】をクリックする**
セットアップが完了すると、FOMA PC設定ソフトが起動します。



Windows XP、Windows 2000の場合

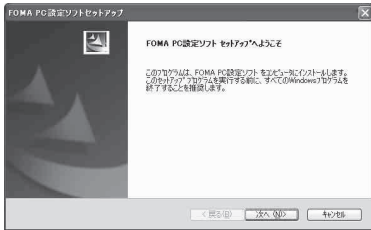
<画面例はWindows XP>

- 1 Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする**
- 2 パソコン用ソフトウェア【FOMA PC設定ソフト】をクリックする**



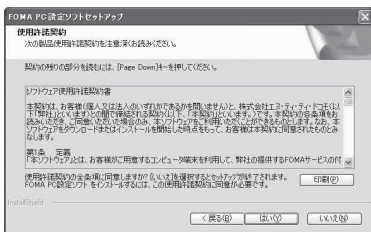
その他の専用アプリケーション

3 [次へ] をクリックする



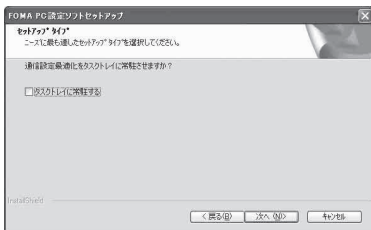
4 FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は【はい】をクリックする

同意しない場合は【いいえ】をクリックしてください。インストールを中止します。



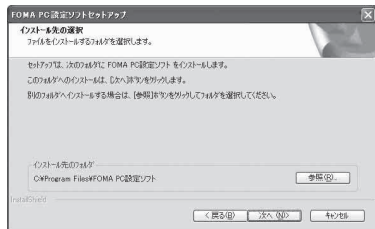
5 [次へ] をクリックする

通信設定最適化をタスクトレイに常駐させる場合は、【タスクトレイに常駐する】をチェックして【次へ】をクリックしてください。インストール後もFOMA PC設定ソフトの【メニュー】→【通信設定最適化を常駐させる】を選択することにより設定を変更できます。



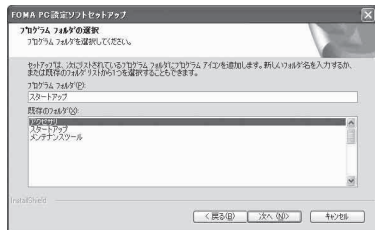
6 インストール先を確認→【次へ】をクリックする

変更する場合は【参照】→任意のインストール先を指定→【次へ】をクリックしてください。



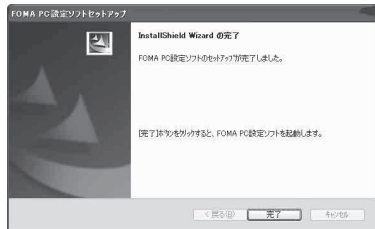
7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認→【次へ】をクリックする

変更する場合は新規フォルダ名を入力→【次へ】をクリックしてください。



8 【完了】 をクリックする

セットアップが完了すると、FOMA PC設定ソフトが起動します。



FOMA PC設定ソフト インストール時の注意

■旧W-TCP設定ソフトがインストールされている場合

[OK] → 「アプリケーションの追加と削除」(プログラムの追加と削除) から [旧W-TCP設定ソフト] を削除してください。



■旧APN設定ソフトがインストールされている場合

[OK] → 「アプリケーションの追加と削除」(プログラムの追加と削除) から [旧FOMAデータ通信設定ソフト] を削除してください。



■旧FOMA PC設定ソフトがインストールされている場合

[OK] → 「アプリケーションの追加と削除」(プログラムの追加と削除) から [旧FOMA PC設定ソフト] を削除してください。

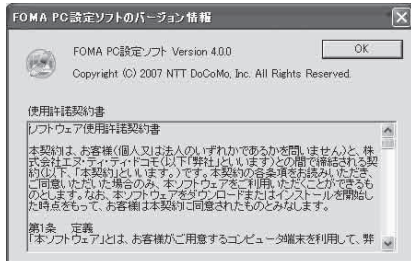


■インストール途中で【キャンセル】を押した場合
セットアップ途中で【キャンセル】や【いいえ】をクリックした場合、この画面が表示されます。インストールを継続する場合は【いいえ】を、中止する場合は、【はい】をクリックしてください。



FOMA PC設定ソフトのバージョン情報を確認する

ツールバーの [メニュー] → [バージョン情報] を選びます。FOMA PC設定ソフトのバージョン情報が表示されます。



FOMA PC 設定ソフトをアンインストールする

FOMA PC設定ソフトをバージョンアップするなど、FOMA PC設定ソフトをアンインストールする必要がある場合は、以下の手順でアンインストールを行ってください。

- Administrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントで行くとエラーになります。パソコンのAdministrator権限または管理者権限の設定など詳細については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

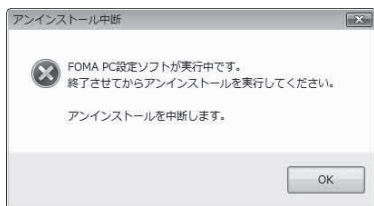
アンインストールする

● Windows Vistaの場合

- 設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「許可(A)」または「続行(C)」をクリックしてください。

1 起動中のプログラムを終了させる

「FOMA PC設定ソフト」が起動中にアンインストールすると、次のような画面が表示されます。[OK] をクリックして、アンインストールを中断し、プログラムを終了させてください。

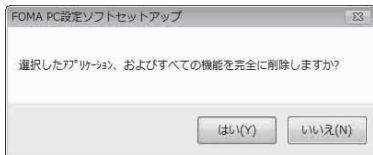


2 【スタート】 → 【コントロールパネル】 → 【プログラムのアンインストール】をクリックする

3 【NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト】を選択 → 【アンインストール】をクリックする



4 【はい】をクリックする



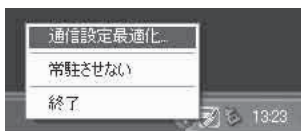
5 【完了】をクリックする



● Windows XP、Windows 2000の場合

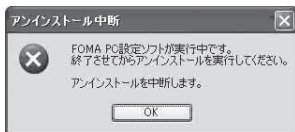
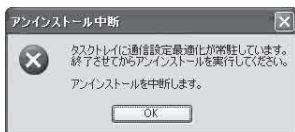
Windows XP、Windows 2000の場合はFOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

1 タスクトレイに常駐している「通信設定最適化」を右クリック → 「終了」をクリックする



2 起動中のプログラムを終了させる

「FOMA PC設定ソフト」や「通信設定最適化」が起動中にアンインストールすると、次のような画面が表示されます。[OK] をクリックして、アンインストールを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。



3 [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] をクリックする

Windows 2000の場合は、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [アプリケーションの追加と削除] をクリックしてください。

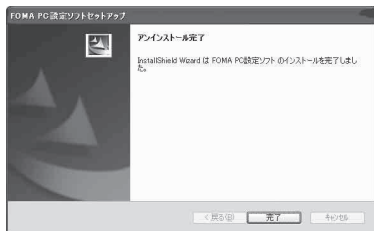
4 [NTT DoCoMo FOMA PC 設定ソフト] を選択 → [削除] をクリックする



5 [はい] をクリックする



6 [完了] をクリックする



FOMA PC 設定ソフトによる通信の設定

パケット通信や64Kデータ通信の設定を行います。簡単に設定できる「オート設定」とパソコンの知識が必要な「マニュアル設定」があります。設定の前にFOMA端末をパソコンに接続し、FOMA端末が認識されていることを確認してください (P.28)。また、ユーティリティが起動している場合も設定ができないので、ユーティリティを終了させてください。

FOMA PC 設定ソフト上の表記は「最大3.6Mbps」となっていますが、本設定で「最大7.2Mbps」の設定も行えます。

設定前の準備

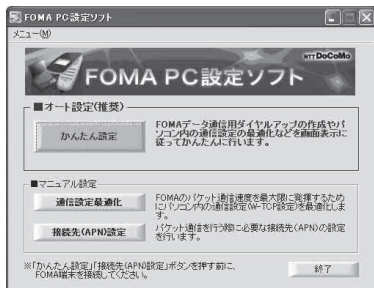
1 FOMA PC設定ソフトを開く

■ Windows Vista、Windows XPの場合

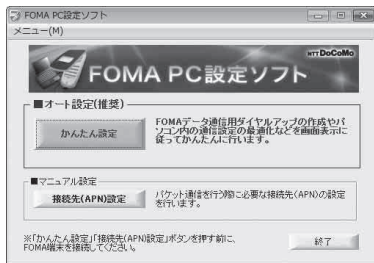
[スタート] または [スタート] → [すべてのプログラム] → [FOMA PC 設定ソフト] → [FOMA PC 設定ソフト] をクリック

■ Windows 2000の場合

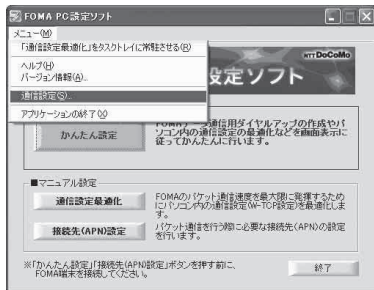
[スタート] → [プログラム] → [FOMA PC 設定ソフト] → [FOMA PC 設定ソフト] をクリック



なお、Windows Vistaの場合は「通信設定最適化」(P.72)が不要のため、ボタンがありません。

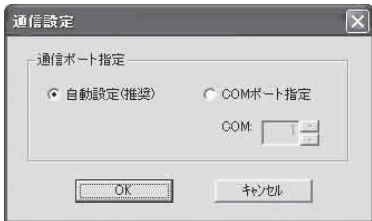


2 [メニュー] → [通信設定] をクリック



3 設定する内容の をクリック→ [OK] をクリックする

通常は [自動設定 (推奨)] を選択してください。




おしらせ

- 自動設定 (推奨) : 自動的に接続されている FOMA 端末を指定します。
- COMポート指定 : COMポートを指定したい場合に、ご利用の FOMA 端末が接続されている COMポート番号を指定します。(COM1～99)

COMポートの確認方法

● Windows Vistaの場合

[] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [電話とモデムのオプション] → [モデム] をクリックして、「FOMA N2502」が表示されている COMポート番号を確認する

● Windows XPの場合

[スタート] → [コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [電話とモデムのオプション] → [モデム] をクリックして、「FOMA N2502」が表示されている COMポート番号を確認する

● Windows 2000の場合

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [電話とモデムのオプション] → [モデム] をクリックして、「FOMA N2502」が表示されている COMポート番号を確認する

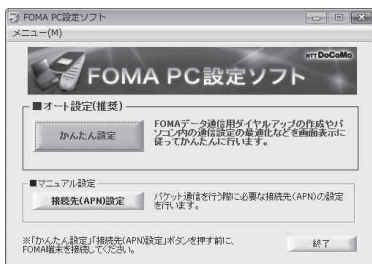
かんたん設定「mopera Uまたはmopera を利用したバケット通信」

かんたん設定によるバケット通信の設定を行います。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」を利用します。

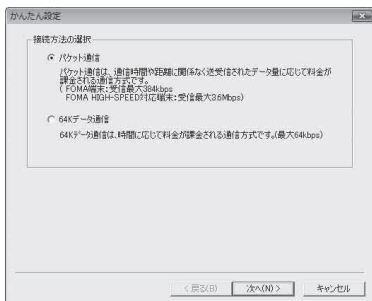
- FOMAハイスピードエリア外やmoperaなど HIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、送受信ともに最大384kbpsによる通信となります。
- 「バケット通信」を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますので、ご注意ください。

● Windows Vistaの場合

1 「かんたん設定」をクリックする

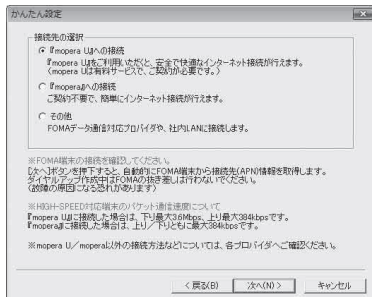


2 「バケット通信」を選択→ [次へ] をクリックする



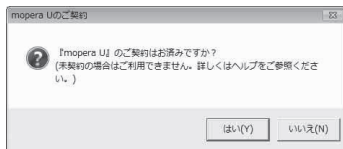
3 「mopera U」への接続] または 「mopera」への接続] を選択→ [次へ] をクリックする

「mopera」への接続では送受信ともに最大384kbpsの packets通信になります。



■ 「mopera U」への接続の場合

mopera Uのご契約がお済みの場合は [はい] をクリックしてください。

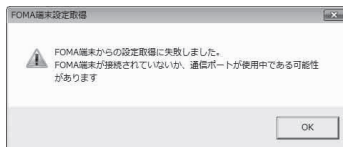


4 [OK] をクリックする



■ 「FOMA端末からの設定取得に失敗しました。」と表示される場合

- ユーティリティが起動していると設定取得に失敗します。ユーティリティを終了させてください。
- FOMAカードのPIN認証が済んでいないと設定取得に失敗します。ユーティリティを起動させてPIN1コード入力を済ませ、ユーティリティを終了してから、再度試してみてください。



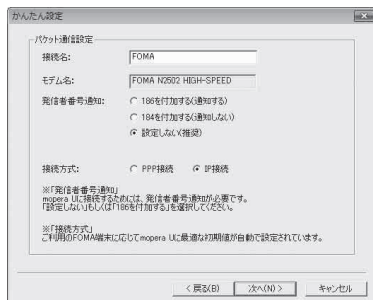
5 [接続名] を入力→発信者番号通知・接続方式を選択→ [次へ] をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」にご入力ください。

入力禁止文字 ¥/*?!<>| (半角のみ) は使用できません。

「mopera U」はPPP接続・IP接続ともに対応しています。「mopera」はPPP接続のみ対応しています。

発信者番号通知は [設定しない (推奨)] または [186を付加する (通知する)] を選択してください。

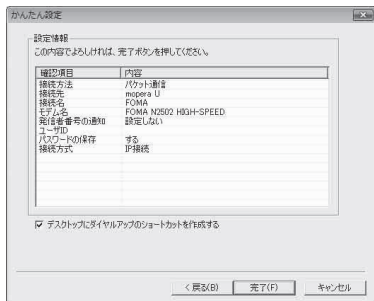


6 [ユーザID]・[パスワード] を入力→ [次へ] をクリックする

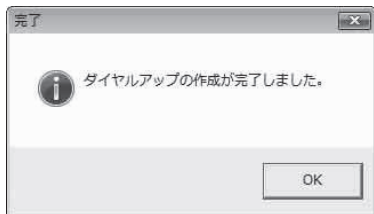
「mopera U」、「mopera」の場合は、ユーザID、パスワードは空欄のままでも接続できます。



- 7 設定情報を確認→ [完了] をクリックする**
 設定内容に誤りがないことを確認してください。
 [デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する] にチェックすると、自動的にショートカットが作成されます。
 設定内容を変更する場合は [戻る] をクリックしてください。

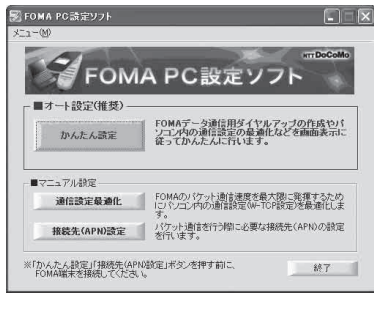


- 8 [OK] をクリックする**
 設定した通信を実行します。→P.70

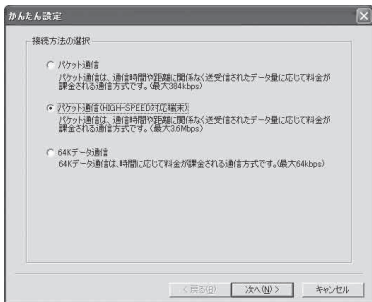


Windows XP、Windows 2000の場合

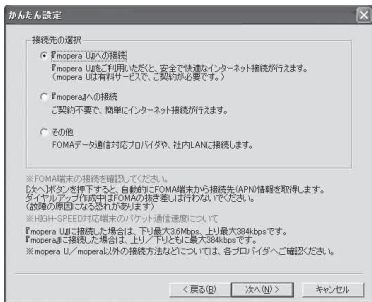
- 1 [かんたん設定] をクリックする**



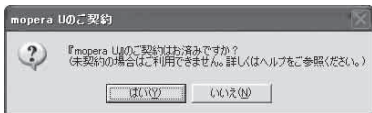
- 2 [パケット通信 (HIGH-SPEED対応端末)] を選択→ [次へ] をクリックする**



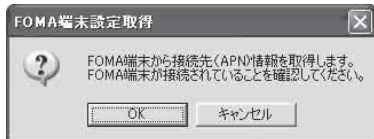
- 3 [[mopera U] への接続] または [[mopera] への接続] を選択→ [次へ] をクリックする**
 [mopera] への接続では送受信ともに最大384kbpsのパケット通信になります。



- [mopera U] への接続の場合**
 mopera Uのご契約がお済みの場合は [[はい] をクリックしてください。



4 [OK] をクリックする



■ 「FOMA端末からの設定取得に失敗しました。」と表示される場合

- ユーティリティが起動していると設定取得に失敗します。ユーティリティを終了させてください。
- FOMAカードのPIN認証が済んでいないと設定取得に失敗します。ユーティリティを起動させてPIN1コード入力を済ませ、ユーティリティを終了してから、再度試してみてください。

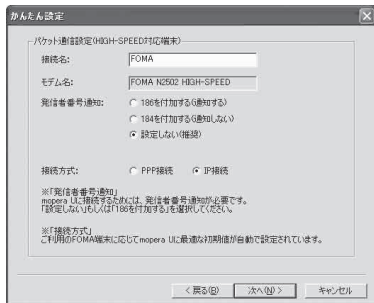
5 [接続名] を入力→発信者番号通知・接続方式を選択→ [次へ] をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」にご入力ください。

入力禁止文字 ¥/.*?!<>|* (半角のみ) は使用できません。

「mopera U」はPPP接続・IP接続ともに対応しています。「mopera」はPPP接続のみ対応しています。

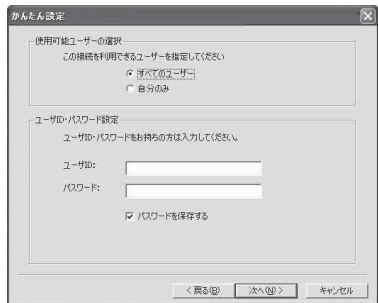
発信者番号通知は [設定しない (推奨)] または [186を付加する (通知する)] を選択してください。



6 [使用可能ユーザーの選択] で使用するユーザーを選択→ [ユーザID]・[パスワード] を入力→ [次へ] をクリックする

使用可能ユーザーの選択で [すべてのユーザー] を選択すると、Windowsに登録されているすべてのユーザに対して接続が設定されます。

「mopera U」、「mopera」の場合は、ユーザID、パスワードは空欄のままでも接続できます。



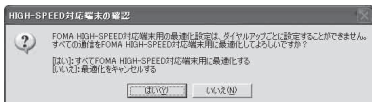
7 [最適化を行う] をチェック→ [次へ] をクリックする

既にFOMAパケット用に最適化されている場合は、この画面は表示されません。

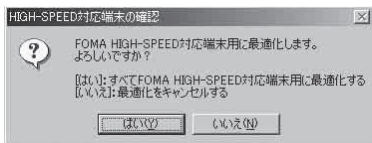


8 [はい] をクリックする

■ Windows XPの場合



■ Windows 2000の場合

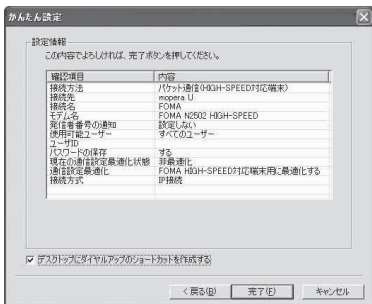


9 設定情報を確認→ [完了] をクリックする

設定内容に誤りがないことを確認してください。

[デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する] にチェックすると、自動的にショートカットが作成されます。

設定内容を変更する場合は [戻る] をクリックしてください。

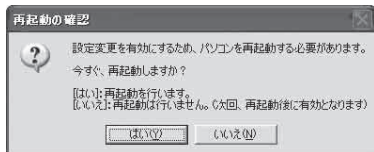


10 [OK] をクリックする



1 [はい] をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。この画面が表示された場合は [はい] をクリックしてください。設定した通信を実行します。→P.70

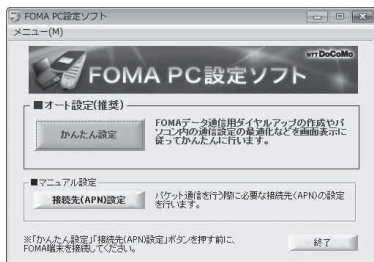


かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信」

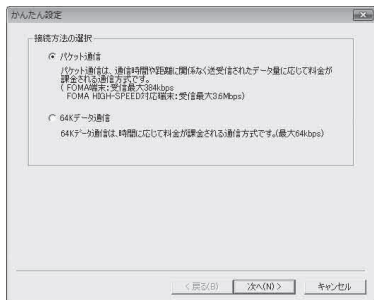
「mopera U」、「mopera」以外のFOMAパケット通信に対応プロバイダに接続してパケット通信を行います。あらかじめご利用になるプロバイダの設定情報などをご用意ください。

● Windows Vistaの場合

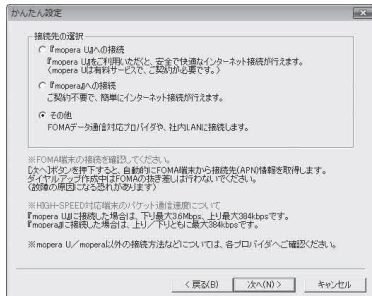
1 [かんたん設定] をクリックする



2 [パケット通信] を選択→ [次へ] をクリックする



3 [その他] を選択→ [次へ] をクリックする

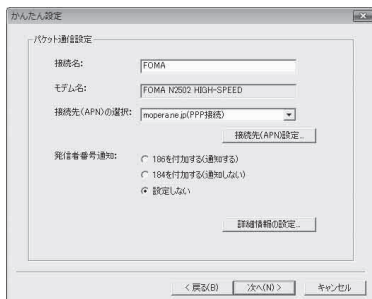


4 [OK] をクリックする



5 [接続名] を入力→ [接続先 (APN) 設定...] をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」にご入力ください。
入力禁止文字 ¥/*?!<>|" (半角のみ) は使用できません。

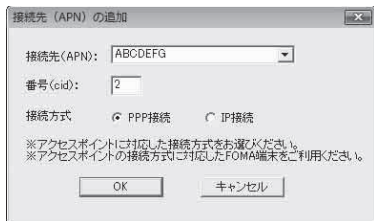


6 [追加] をクリックする



7 [接続先 (APN)] を入力→ [番号 (cid)] に2もしくは4~10までの任意の番号を入力→ [接続方式] を選択→ [OK] をクリックする

接続先には、半角文字で英数字、ハイフン (-)、ピリオド (.) のみ入力できます。



8 追加した接続先 (APN) を選択→ [OK] をクリックする



9 [詳細情報の設定...] をクリックする



10 お客様がご利用されるプロバイダの設定を行う→ [OK] をクリックする

ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

詳細情報の設定

IPアドレス

サーバーが割り当てたIPアドレス

IPアドレスを指定する

IPアドレス: []

ネームサーバー

サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス

ネームサーバーアドレスを指定する

プライマリDNS: [] []

セカンダリDNS: [] []

プライマリDNS: [] []

セカンダリDNS: [] []

OK

キャンセル

詳細情報の設定...

11 [次へ] をクリックする

かんたん設定

パケット接続設定

接続名: FOMA

モデム名: FOMA N2502 HIGH-SPEED

接続先 (APN) の選択: ABCDEF0(PPP接続)

接続先 (APN) の設定...

発信番号通知:

180を付加する(通知する)

184を付加する(通知しない)

設定しない

詳細情報の設定...

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

12 [ユーザID]・[パスワード] を入力→ [次へ] をクリックする

かんたん設定

ユーザID/パスワード設定

ユーザID/パスワードもお持ちの方は入力してください。

ユーザID: []

パスワード: []

パスワードも保存する

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

13 設定情報を確認→ [完了] をクリックする

設定内容に誤りがないことを確認してください。

[デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する] にチェックすると、自動的にショートカットが作成されます。設定内容を変更する場合は [戻る] をクリックしてください。

かんたん設定

設定情報

この内容ではお持ちの方は、完了ボタンを押してください。

設定項目	内容
接続方法	パケット接続
接続先	その他
接続名	FOMA
モデム名	FOMA N2502 HIGH-SPEED
接続先 (APN) 名	ABCDEF0
発信番号通知	設定しない
ユーザID	
パスワードの保存	する
接続方式	PPP接続

デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する

< 戻る(B)

完了(F)

キャンセル

14 [OK] をクリックする

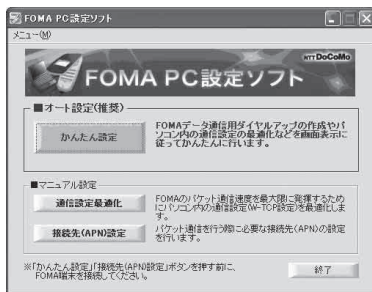
設定した通信を実行します。→ P.70

完了

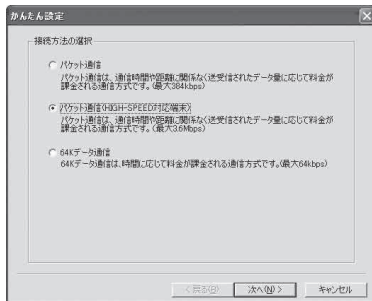
ダイヤルアップの作成が完了しました。

OK

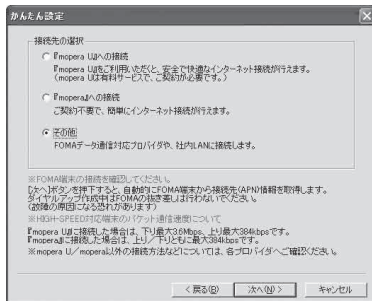
1 [かんたん設定] をクリックする



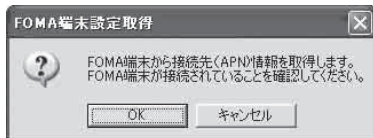
2 [パケット通信 (HIGH-SPEED 対応端末)] を選択 → [次へ] をクリックする



3 [その他] を選択 → [次へ] をクリックする



4 [OK] をクリックする



5 [接続名] を入力 → [接続先 (APN) 設定...] をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」にご入力ください。
入力禁止文字 ¥/*?!<>| (半角のみ) は使用できません。



6 [追加] をクリックする



その他の専用アプリケーション

7 [接続先 (APN)] を入力→ [番号 (cid)] に2もしくは4～10までの任意の番号を入力→ [接続方式] を選択→ [OK] をクリックする

接続先には、半角文字で英数字、ハイフン (-)、ピリオド (.) のみ入力できます。

接続先 (APN) の追加

接続先 (APN): ABCDEF

番号 (cid): 2

接続方式 PPP接続 IP接続

※アクセスポイントに対応した接続方式をお選びください。
※アクセスポイントの接続方式に対応したFOMA端末をご利用ください。

OK キャンセル

8 追加した接続先 (APN) を選択→ [OK] をクリックする

接続先 (APN) の設定

番号 (cid)	接続先 (APN)	接続方式
1	docomo.ne.jp	PPP接続
2	ABCDEF	PPP接続
3	docomonet	IP接続

追加 編集 削除

OK キャンセル

9 [詳細情報の設定...] をクリックする

かんたん設定

パケット通信設定 (HIGH-SPEED対応端末)

接続名: FOMA

モデム名: FOMA N2502 HIGH-SPEED

接続先 (APN) の選択: ABCDEF(PPP接続)

発信者番号通知: 186を行加する (通知する) 184を行加する (通知しない) 設定しない

詳細情報の設定...

< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

10 お客様がご利用されるプロバイダの設定を行う→ [OK] をクリックする

ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

詳細情報の設定

IPアドレス

サーバが割り当てたIPアドレス
 IPアドレスを指定する

IPアドレス: _____

ネームサーバー

サーバが割り当てたネームサーバーアドレス
 ネームサーバーアドレスを指定する

プライマリDNS: _____

セカンダリDNS: _____

プライマリDNS: _____

セカンダリDNS: _____

OK キャンセル

11 [次へ] をクリックする

かんたん設定

パケット通信設定 (HIGH-SPEED対応端末)

接続名: FOMA

モデム名: FOMA N2502 HIGH-SPEED

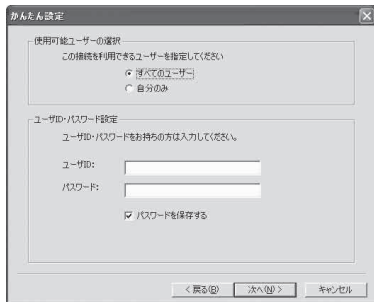
接続先 (APN) の選択: ABCDEF(PPP接続)

発信者番号通知: 186を行加する (通知する) 184を行加する (通知しない) 設定しない

詳細情報の設定...

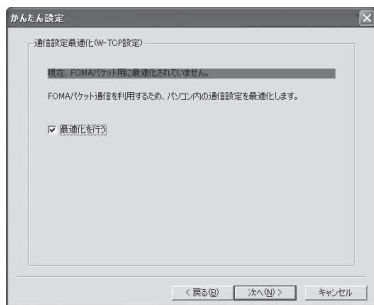
< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

- 12 **【使用可能ユーザーの選択】** で使用するユーザーを選択→**【ユーザID】・【パスワード】**を入力→**【次へ】**をクリックする
使用可能ユーザーの選択で**【すべてのユーザー】**を選択すると、Windowsに登録されているすべてのユーザに対して接続が設定されます。



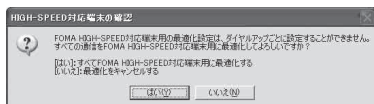
- 13 **【最適化を行う】**をチェック→**【次へ】**をクリックする

既にFOMAバケット用に最適化されている場合は、「現在、FOMA端末用に最適化されています。」と表示されます。

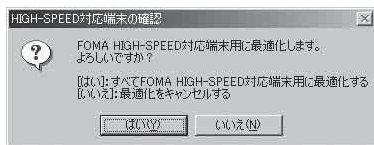


- 14 **【はい】**をクリックする

■ Windows XPの場合

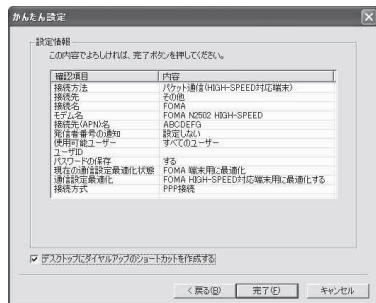


■ Windows 2000の場合

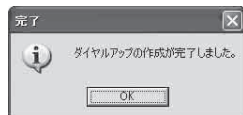


- 15 **設定情報を確認→【完了】**をクリックする
設定内容に誤りがないことを確認してください。

[デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]にチェックすると、自動的にショートカットが作成されます。設定内容を変更する場合は**【戻る】**をクリックしてください。

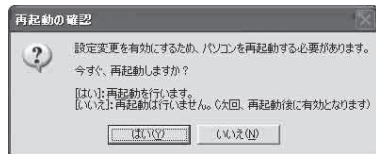


- 16 **【OK】**をクリックする



- 17 **【はい】**をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。この画面が表示された場合は**【はい】**をクリックしてください。設定した通信を実行します。→P.70



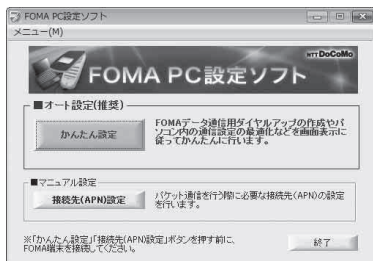
かんたん設定「mopera Uまたはmopera」を利用した64Kデータ通信

通信速度最大64kbpsの設定を行います。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」を利用します。

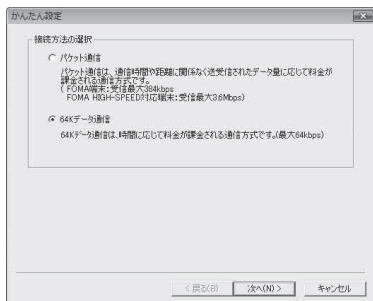
- 64Kデータ通信は接続していた時間に応じて課金されます。64Kデータ通信を利用して長時間通信を行うと、通信料が高額となりますので、ご注意ください。

● Windows Vistaの場合

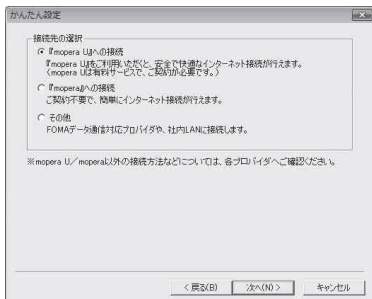
① [かんたん設定] をクリックする



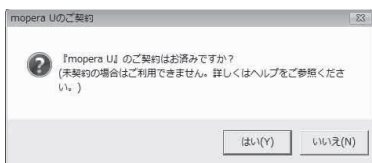
② [64Kデータ通信] を選択→ [次へ] をクリックする



③ [「mopera U」への接続] または [「mopera」への接続] を選択→ [次へ] をクリックする



■「mopera U」への接続の場合
mopera Uのご契約がお済みの場合は [はい] をクリックしてください。



④ ダイヤルアップ情報を入力→ [次へ] をクリックする

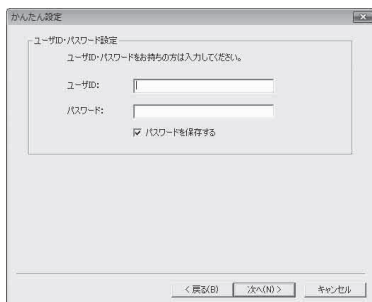
現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」にご入力ください。

入力禁止文字 ¥/*?!<>|* (半角のみ) は使用できません。
発信者番号は [186を付加する (通知する)] または [設定しない] を選択してください。



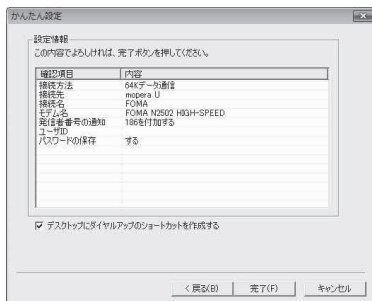
5 [ユーザID]・[パスワード]を入力→[次へ]をクリックする

「mopera U」、「mopera」の場合は、ユーザID、パスワードは空欄のままでも接続できます。



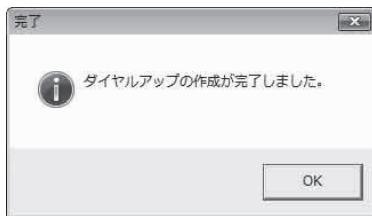
6 設定情報を確認→[完了]をクリックする

設定内容に誤りがないことを確認してください。
[デスクトップにダイアルアップのショートカットを作成する]にチェックすると、自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。



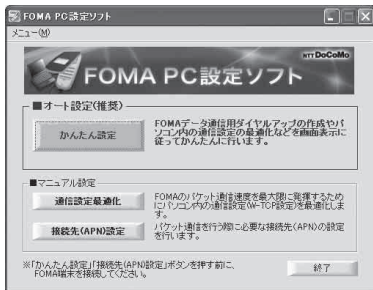
7 [OK] をクリックする

設定した通信を実行します。→P.70

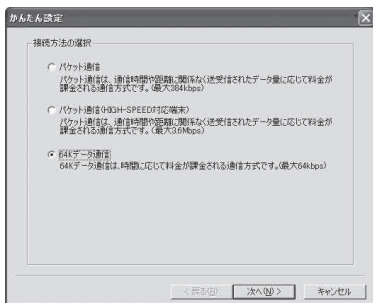


● Windows XP、Windows 2000の場合

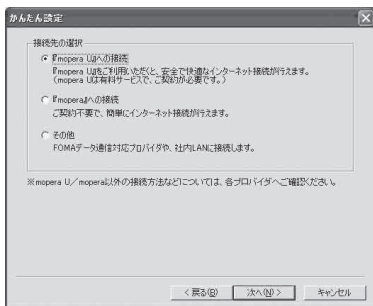
1 [かんたん設定] をクリックする



2 [64Kデータ通信] を選択→[次へ] をクリックする

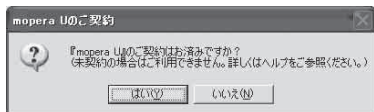


3 [[mopera U] への接続] または [[mopera] への接続] を選択→[次へ] をクリックする



■「mopera U」への接続の場合

mopera Uのご契約がお済みの方は[はい]をクリックしてください。



4 ダイヤルアップ情報を入力→[次へ]をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」にご入力ください。

入力禁止文字 ¥/:*?!<>|" (半角のみ) は使用できません。

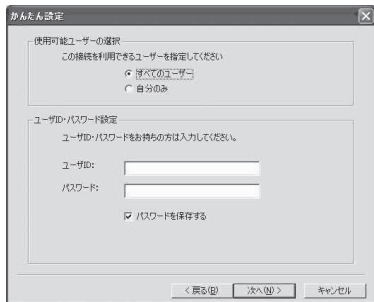
発信者番号は「186を付加する(通知する)」または「設定しない」を選択してください。



5 [使用可能ユーザーの選択] で使用するユーザーを選択→[ユーザーID]・[パスワード]を入力→[次へ]をクリックする

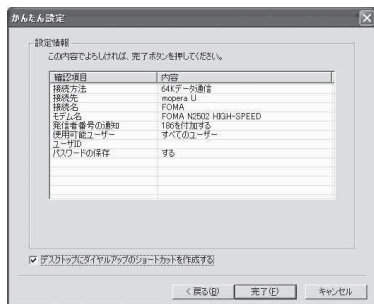
使用可能ユーザーの選択で「すべてのユーザー」を選択すると、Windowsに登録されているすべてのユーザに対して接続が設定されます。

「mopera U」、「mopera」の場合は、ユーザID、パスワードは空欄のままでも接続できます。



6 設定情報を確認→[完了]をクリックする

設定内容に誤りがないことを確認してください。
[デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]にチェックすると、自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。



7 [OK] をクリックする

設定した通信を実行します。→P.70

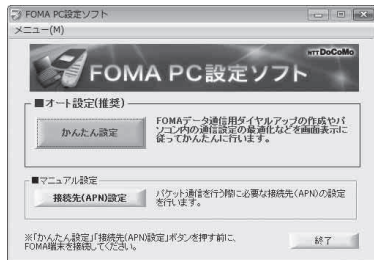


かんたん設定「その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信」

「mopera U」、「mopera」以外のFOMA 64Kデータ通信に対応プロバイダに接続して64Kデータ通信を行います。あらかじめご利用になるプロバイダの設定情報などをご用意ください。

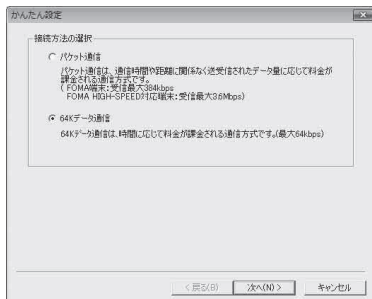
● Windows Vistaの場合

1 [かんたん設定] をクリックする

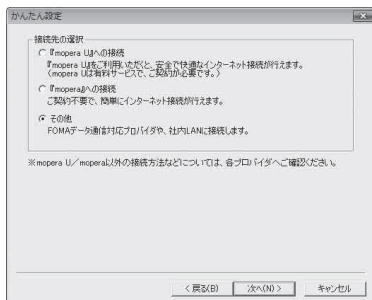


※かんたん設定「接続先(APN)設定」ボタンを押す前、FOMA側を接続してください。

2 [64Kデータ通信] を選択→ [次へ] をクリックする



3 [その他] を選択→ [次へ] をクリックする



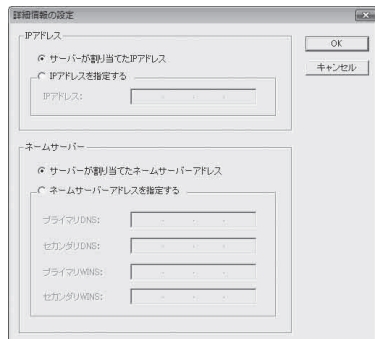
4 ダイヤルアップ情報を入力→ [詳細情報の設定...] をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」にご入力ください。
入力禁止文字 ¥/.*?!<>|* (半角のみ) は使用できません。



5 お客様がご利用されるプロバイダの設定を行う→ [OK] をクリックする

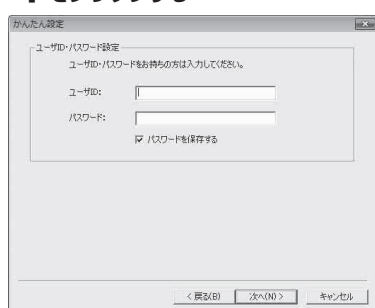
ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。



6 [次へ] をクリックする

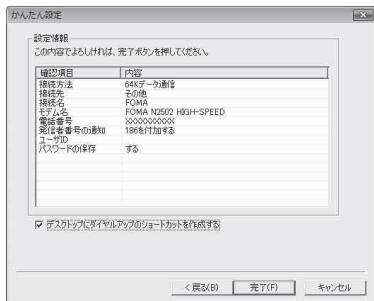


7 [ユーザID]・[パスワード] を入力→ [次へ] をクリックする



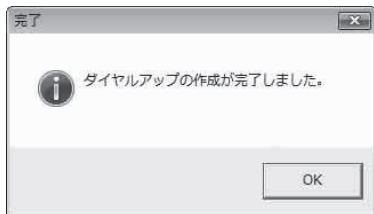
8 設定情報を確認→[完了]をクリックする

設定内容に誤りがないことを確認してください。
[デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]にチェックすると、自動的にショートカットが作成されます。設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。



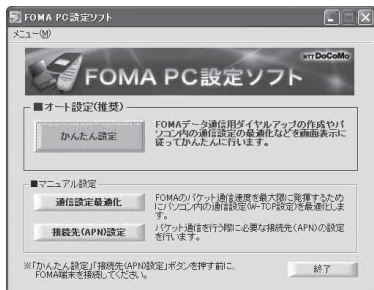
9 [OK] をクリックする

設定した通信を実行します。→P.70

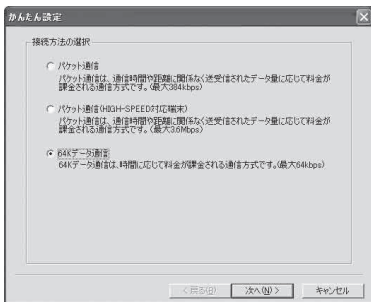


Windows XP、Windows 2000の場合

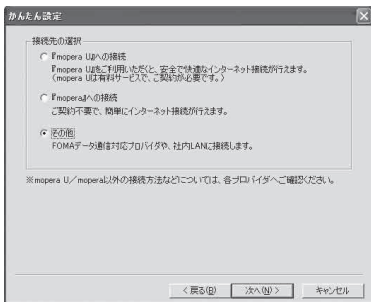
1 [かんたん設定] をクリックする



2 [64Kデータ通信] を選択→[次へ]をクリックする



3 [その他] を選択→[次へ]をクリックする



4 ダイヤルアップ情報を入力→[詳細情報の設定...]をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」にご入力ください。
入力禁止文字 ¥/*?!<>|* (半角のみ) は使用できません。



5 お客様がご利用されるプロバイダの設定 を行う→【OK】をクリックする

ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

詳細情報の設定

IPアドレス

サーバーが割り当てたIPアドレス

IPアドレスを指定する

IPアドレス:

ネームサーバー

サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス

ネームサーバーアドレスを指定する

プライマリDNS:

セカンダリDNS:

プライマリDNS:

セカンダリDNS:

OK

キャンセル

詳細情報の設定

6 【次へ】をクリックする

かんたん設定

64Kブーム通信設定

接続名: FOMA

モデムの選択: FOMA N2502 HIGH-SPEED

電話番号: 0000000000

発信番号通知:

186を行加する(通知する)

184を行加する(通知しない)

設定しない

詳細情報の設定

< 戻る(B)

次へ(F)

キャンセル

7 【使用可能ユーザーの選択】で使用する ユーザーを選択→【ユーザーID】・【パスワード】 を入力→【次へ】をクリックする

使用可能ユーザーの選択で [すべてのユーザー] を選択すると、Windowsに登録されているすべてのユーザに対して接続が設定されます。

かんたん設定

使用可能ユーザーの選択

この機体で利用できるユーザーを指定してください

すべてのユーザー

自分のみ

ユーザーパスワード設定

ユーザーID: パスワード:

パスワードを保存する

< 戻る(B)

次へ(F)

キャンセル

8 設定情報を確認→【完了】をクリックする

設定内容に誤りが無いことを確認してください。
[デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する] にチェックすると、自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は [戻る] をクリックしてください。

かんたん設定

設定情報

この内容でよろしければ、完了ボタンを押してください

項目	内容
接続方法	64Kブーム通信
接続名	その他
接続先	FOMA
モデム	FOMA N2502 HIGH-SPEED
電話番号	0000000000
発信番号通知	186を行加する
使用可能ユーザー	すべてのユーザー
ユーザーID	
パスワードの保存	する

デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する

< 戻る(B)

完了(F)

キャンセル

9 【OK】をクリックする

設定した通信を実行します。→P.70

完了

ダイヤルアップの作成が完了しました。

OK

設定した通信を実行する

● Windows Vistaの場合

① FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティが終了していることを確認する

通信を行う場合は、FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを必ず終了させてください。

② デスクトップ画面の接続アイコンをダブルクリックする



<接続アイコンが表示されていない場合>
[スタート] → [接続先] をクリック → 「表示」で「すべて」を選択 → 通信設定した接続先アイコンをダブルクリックしてください。

③ [ユーザー名]、[パスワード]を入力 → [ダイヤル] をクリックする

「mopera U」、「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード] は空欄のままでも接続できます。[次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する] をチェックすると、次回からパスワードの入力が不要になります。



④ タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする



⑤ 接続されたことを確認して、[閉じる] をクリックする

● Windows XP、Windows 2000の場合

① FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティが終了していることを確認する

通信を行う場合は、FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを必ず終了させてください。

② デスクトップ画面の接続アイコンをダブルクリックする



<接続アイコンが表示されていない場合>

■ Windows XPの場合

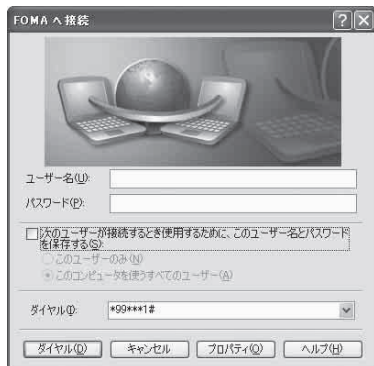
[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ネットワーク接続] → 通信設定した接続先アイコンをダブルクリックしてください。

■ Windows 2000の場合

[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] → 通信設定した接続先アイコンをダブルクリックしてください。

③ [ユーザー名]、[パスワード]を入力 → [ダイヤル] をクリックする

「mopera U」、「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード] は空欄のままでも接続できます。[次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する] をチェックすると、次回からパスワードの入力が不要になります。



4 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする



5 接続されたことを確認して、【閉じる】をクリックする



おしらせ

- パソコンに表示される速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。以下の操作で通信回線を確実に切断してください。

● Windows Vistaの場合

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする



2 【切断】をクリックする

● Windows XP、Windows 2000の場合

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする



2 【切断】をクリックする



通信設定最適化

「通信設定最適化」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。Windows XPまたはWindows 2000でFOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

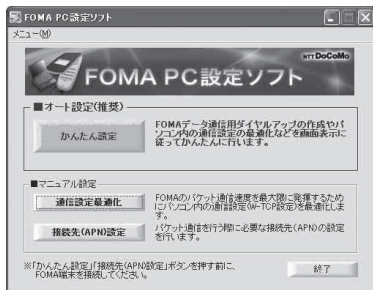
「かんたん設定」で「最適化を行う」をチェックしてダイヤルアップを作成した場合は、ここで最適化を行う必要はありません。また、Windows Vistaでは最適化の必要はありません。

FOMA PC設定ソフト上の表記は「最大3.6Mbps」となっていますが、本設定で「最大7.2Mbps」の設定も行えます。

最適化の設定

● Windows XPの場合

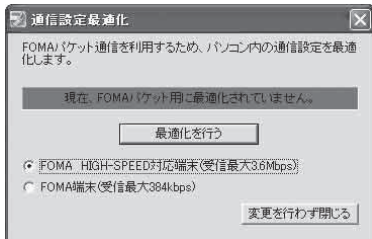
① 「通信設定最適化」をクリックする



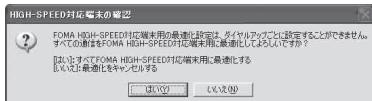
タスクトレイに「通信設定最適化」を常駐させている場合は、アイコンをクリックして起動することもできます。



② [FOMA HIGH-SPEED対応端末(受信最大3.6Mbps)] を選択→ [最適化を行う] をクリックする



③ [はい] をクリックする

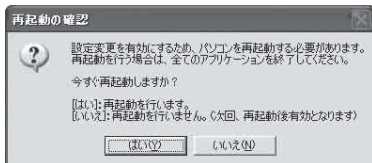


④ [OK] をクリックする



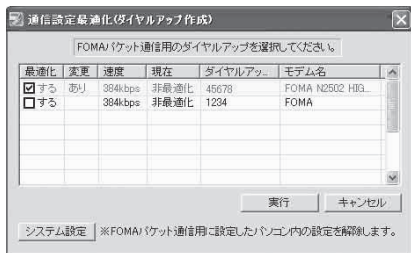
⑤ [はい] をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。



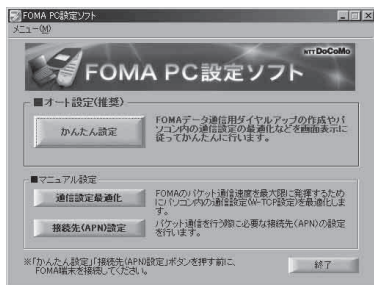
384kbpsに最適化する場合

「通信設定最適化（ダイヤルアップ）設定」画面が表示されます。最適化するダイヤルアップを選択し、「実行」をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。「システム設定」は、画面表示にしたがってパソコンを再起動した後、最適化が有効になります。



● Windows 2000の場合

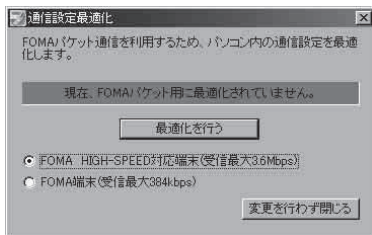
1 「通信設定最適化」をクリックする



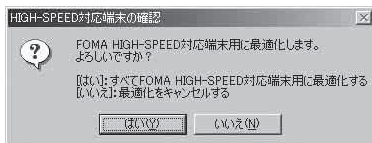
タスクトレイに「通信設定最適化」を常駐させている場合は、アイコンをクリックして起動することもできます。



2 [FOMA HIGH-SPEED対応端末(受信最大3.6Mbps)]を選択→【最適化を行う】をクリックする



3 [はい] をクリックする

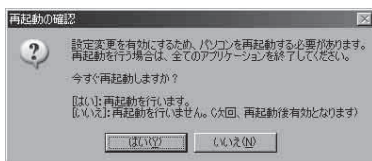


4 [OK] をクリックする



5 [はい] をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。

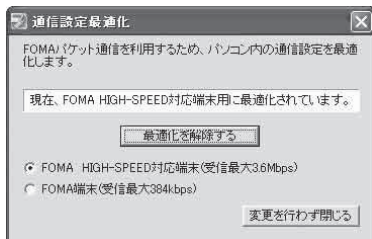


最適化の解除

● Windows XPの場合

1 **【通信設定最適化】をクリックする**
タスクトレイに「通信設定最適化」を常駐させている場合は、アイコンをクリックして起動することもできます。

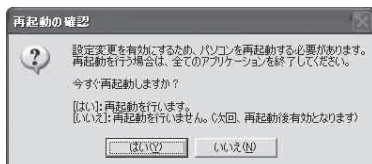
2 **【最適化を解除する】をクリックする**



3 **【OK】をクリックする**

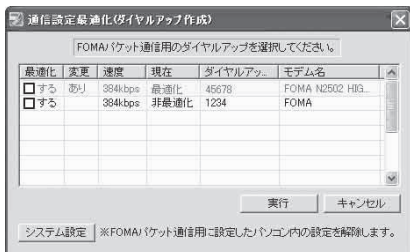


4 **【はい】をクリックする**
設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。



384kbpsの最適化を解除する場合

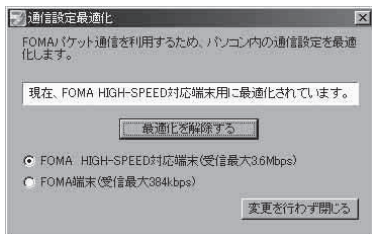
「通信設定最適化(ダイヤルアップ)設定」画面が表示されます。最適化を解除するダイヤルアップを選択し、「実行」をクリックすると、個別にダイヤルアップ設定の最適化が解除されます。
【システム設定】をクリックすると、全体のダイヤルアップ設定の最適化が解除できます。画面表示に当たってパソコンを再起動した後、設定変更が有効になります。



● Windows 2000の場合

1 **【通信設定最適化】をクリックする**
タスクトレイに「通信設定最適化」を常駐させている場合は、アイコンをクリックして起動することもできます。

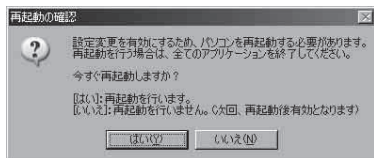
2 **【最適化を解除する】をクリックする**



3 **【OK】をクリックする**



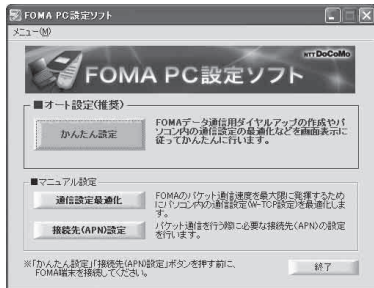
- 4** **「はい」をクリックする**
設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。



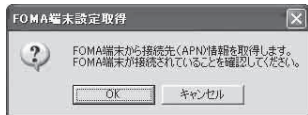
接続先 (APN) の設定

パケット通信の接続先 (APN) を設定します。FOMA パケット通信の接続先は、64K データ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ FOMA 端末に接続先 (APN) を最大 10 件まで登録して、その登録番号 (cid) を指定して接続します。

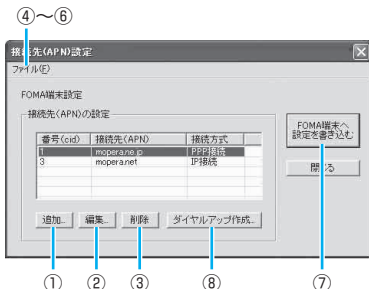
- 1** **「接続先 (APN) 設定」をクリックする**



- 2** **「OK」をクリックする**



- 3** **接続先 (APN) を編集する**



- ① 接続先 (APN) を追加する
[追加] をクリックする
- ② 接続先 (APN) を編集 (修正) する
編集対象の接続先 (APN) をリストから選択 → [編集] をクリックする
- ③ 接続先 (APN) を削除する
削除対象の接続先 (APN) をリストから選択 → [削除] をクリックする
- ④ 接続先 (APN) 設定をファイルに保存する
[メニュー] → [ファイル] → [名前を付けて保存] または [上書き保存] をクリックする
- ⑤ 接続先 (APN) 設定をファイルから読み込む
[メニュー] → [ファイル] → [開く] → ファイルを選択する
- ⑥ FOMA 端末から接続先 (APN) 情報を読み込む
[メニュー] → [ファイル] → [FOMA 端末から設定を取得] をクリックする
- ⑦ FOMA 端末へ接続先 (APN) 情報を書き込む
[FOMA 端末へ設定を書き込む] をクリックする
- ⑧ ダイヤルアップ作成機能
 - I 追加、編集された接続先 (APN) をリストから選択 → [ダイヤルアップ作成...] をクリックする
 - II FOMA 端末書き込み確認画面で [はい] → 書き込み終了画面で [OK] をクリックする
 - III パケット通信用ダイヤルアップ作成画面で任意の接続名を入力 → [ユーザ ID・パスワードの設定...] をクリックする
 - IV ダイヤルアップ作成画面で、使用可能ユーザーを選択し、ユーザ ID、パスワードを入力 → [OK] をクリックする
 - V ご利用のプロバイダから IP および DNS 情報の設定が指示されている場合は、パケット通信用ダイヤルアップ作成画面で [詳細情報の設定...] をクリックして、必要な情報を登録 → [OK] をクリックする

VI パケット通信用ダイヤルアップ作成画面で [OK] をクリックする

おしらせ

- 接続先 (APN) の設定は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先 (APN) を登録する必要があります。
- パソコンで作成したダイヤルアップの設定を継続利用する場合は、同じ番号 (cid番号) に同じ接続先 (APN) をFOMA端末に登録してください。

FOMA PC 設定ソフトを利用しない通信の設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信または64Kデータ通信を設定する方法について説明します。

- 設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していないので、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください。

パケット通信、64Kデータ通信の設定をする

■パケット通信設定の流れ

接続先 (APN) の設定をする→P.76



発信者番号の通知/非通知を設定する→P.77



ダイヤルアップネットワークの設定をする→P.78



ダイヤルアップ接続する→P.86

■64Kデータ通信設定の流れ

ダイヤルアップネットワークの設定をする→P.78



ダイヤルアップ接続する→P.86

接続先 (APN) を設定する

パケット通信を行う場合の接続先 (APN) を設定します。FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN (Access Point Name) と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号 (cid) を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時には、cid1には「mopera」の接続先 (APN) 「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera U」の接続先 (APN) 「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2もしくは4～10までの任意の番号に接続先 (APN) を設定してください。

1 FOMA 端末をパソコンに接続する

2 ハイパーターミナルを開く

■ Windows XPの場合

[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ハイパーターミナル] をクリックします。

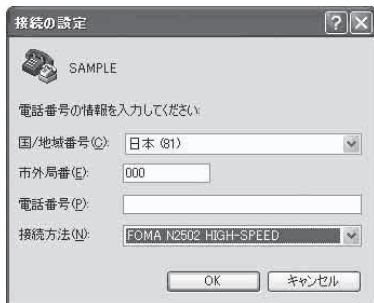
■ Windows 2000の場合

[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ハイパーターミナル] をクリックします。

3 [名前] の欄に任意の名前を入力→ [OK] をクリックする



4 [接続方法]から[FOMA N2502 HIGH-SPEED]を選択→[OK]をクリックする



5 [キャンセル] をクリックする



6 接続先 (APN) を入力して ↓ を押し、「OK」と表示されることを確認する

AT+CGDCONT=<cid>,"PPP","APN" の形式で入力します。

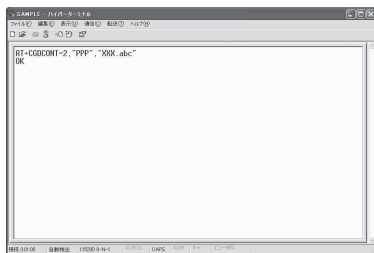
<cid> : 2もしくは4~10までの任意の番号を入力

"PPP" : そのまま"PPP"と入力

"APN" : 接続先 (APN) を" "で囲んで入力

例 : cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合

AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"と入力して、↓を押します。



7 メニューから【ファイル】→【ハイパーターミナルの終了】をクリックして、ハイパーターミナルを終了する

「現在、接続されています。切断してもよろしいですか?」と表示されたときは【はい】をクリックしてください。

また、「SAMPLE」と名付けられた接続を保存しますか?と表示されますが、とくに保存する必要はありません。

おしらせ

- ハイパーターミナルに入力したATコマンドが表示されない場合は、[ATE 1] ↓と入力すると表示されるようになります。
- 接続先 (APN) は、FOMA端末に登録される情報です。そのため、異なるFOMA端末を接続する場合は、そのFOMA端末にも接続先 (APN) を登録する必要があります。
- パソコンに登録されている接続先 (APN) を継続利用する場合は、FOMA端末に同じ登録番号 (cid)・同じ接続先 (APN) を登録してください。

発信者番号の通知 / 非通知を設定する

パケット通信を行うときに、発信者番号を通知する / しないを設定します。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

1 FOMA端末をパソコンに接続する

2 ハイパーターミナルを開く

■ Windows XPの場合

[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ハイパーターミナル] をクリックします。

■ Windows 2000の場合

[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ハイパーターミナル] をクリックします。

3 [名前] の欄に任意の名前を入力→ [OK] をクリックする



4 [接続方法]から[FOMA N2502 HIGH-SPEED]を選択→[OK]をクリックする

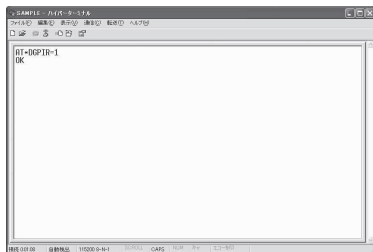


5 [キャンセル] をクリックする



6 パケット通信時の発信者番号の通知 (186) / 非通知 (184) を設定する

AT * DGPIR=<n>の形式で入力します。
 発信/着信応答のときに自動的に184を付ける場合 (非通知設定) : AT * DGPIR=1 ↓
 発信/着信応答のときに自動的に186を付ける場合 (通知設定) : AT * DGPIR=2 ↓



おしらせ

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を通知に設定する必要があります。
- ハイパーターミナルに入力したATコマンドが表示されない場合は、[ATE1] ↓と入力すると表示されるようになります。

ダイヤルアップネットワークでの通知 (186) / 非通知 (184) 設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186 / 184を付けることができます。

* DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合、以下のようになります。

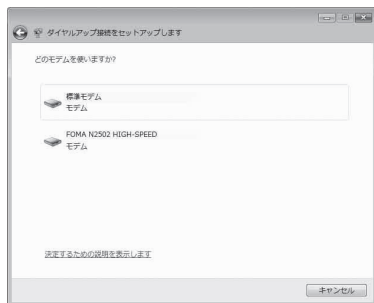
ダイヤルアップネットワークの設定 (<cid>=1の場合)	* DGPIRコマンドによる設定			
	設定なし	非通知	通知	
設定なし	*99***1#	通知	非通知	通知
184付与	184*99***1#	非通知		
186付与	186*99***1#	通知		

ダイヤルアップネットワークの設定をする

● Windows Vistaの場合

- 1 [] → [接続先] をクリックする
- 2 [接続先またはネットワークをセットアップします] をクリックする
- 3 [ダイヤルアップ接続をセットアップします] をクリック→ [次へ] をクリックする
- 4 モデムの選択画面が表示された場合は、[FOMA N2502 HIGH-SPEED モデム] をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。



5 [ダイヤルアップの電話番号]・[ユーザー名]・[パスワード]・[接続名]を入力する

<ダイヤルアップの電話番号>

■ バケット通信の場合

「*99***<cid>#」を入力します。<cid>は設定した接続先 (APN) の登録番号を入力します。

例: 「mopera」の場合、「*99***1#」と入力します。「mopera U」の場合、「*99***3#」と入力します。

■ 64Kデータ通信の場合

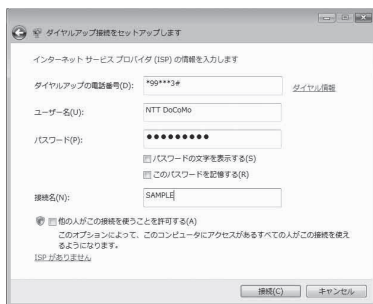
接続先の電話番号を入力します。

<ユーザー名・パスワード>

「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。

<接続名>

任意の名前を入力します。



6 [接続]をクリック→[スキップ]をクリックする

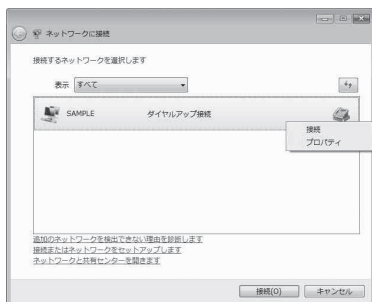
ここでは、すぐに接続せずに設定の確認のみ行います。

7 [接続をセットアップします]をクリックする

8 [閉じる]をクリックする

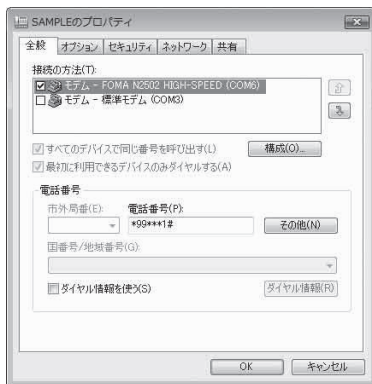
9 [] → [接続先] をクリックする

10 作成したダイヤルアップのアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする



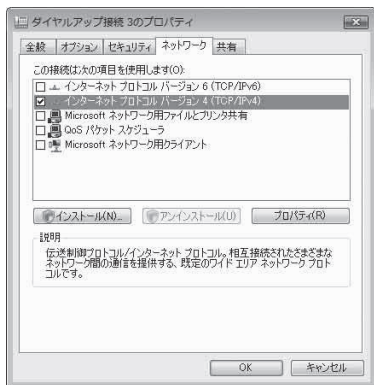
11 [全般] タブで設定を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は [接続の方法] の欄で「モデム - FOMA N2502 HIGH-SPEED」のみを選択してください。
- [ダイヤル情報を使う] のチェックを外してください。



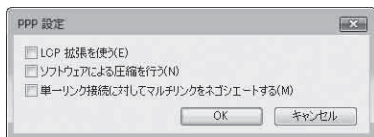
12 【ネットワーク】 タブをクリック→各種設定を行う

- [この接続は次の項目を使用します] の欄は「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択します。ご利用になるプロバイダの指示がある場合は、「QoS パケットスケジューラ」を選択します。



13 【オプション】 タブ→【PPP設定】をクリックする

14 すべてのチェックを外す→【OK】をクリックする

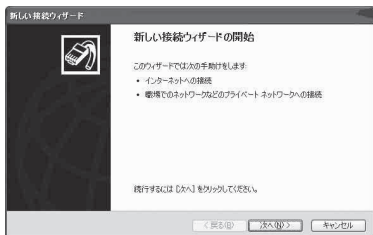


15 操作 13に戻り、【OK】をクリックする

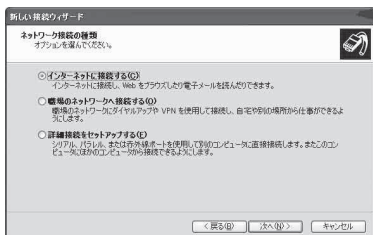
● Windows XPの場合

1 【スタート】 → 【すべてのプログラム】 → 【アクセサリ】 → 【通信】 → 【新しい接続ウィザード】 をクリックする

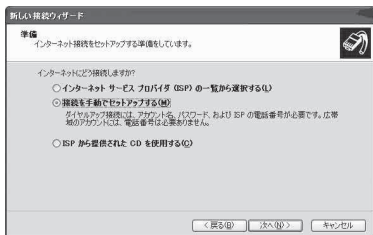
2 【次へ】 をクリックする



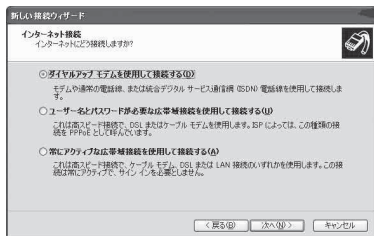
3 【インターネットに接続する】を選択→【次へ】をクリックする



4 【接続を手動でセットアップする】を選択 → 【次へ】をクリックする

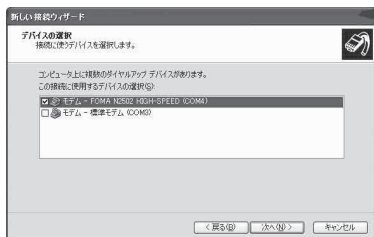


5 [ダイヤルアップモデムを使用して接続する] を選択→ [次へ] をクリックする

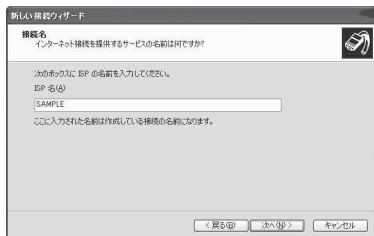


6 [デバイスの選択] 画面が表示された場合は、[FOMA N2502 HIGH-SPEED] を選択→ [次へ] をクリックする

パソコンの環境によっては、この画面は表示されません。
(COMx) は、「COMポートの確認方法」(P.54) で表示されるポート番号です。



7 [ISP名] の欄に任意の名前を入力→ [次へ] をクリックする



8 [電話番号] の欄に接続先の番号を入力→ [次へ] をクリックする

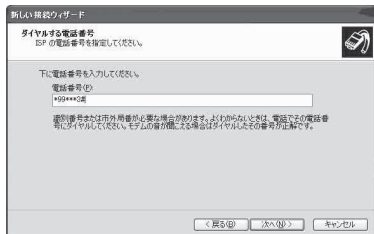
■ バケット通信の場合

「* 99 * * * <cid>#」を入力します。<cid>は設定した接続先 (APN) の登録番号を入力します。

例: 「mopera」の場合、「* 99 * * * 1#」と入力します。「mopera U」の場合、「* 99 * * * 3#」と入力します。

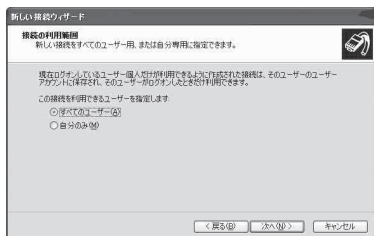
■ 64K データ通信の場合

接続先の電話番号を入力します。



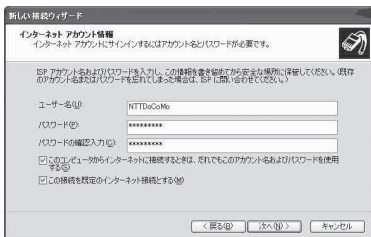
9 接続の利用範囲を選択→ [次へ] をクリックする

[すべてのユーザー] を選択すると、Windows に登録されているすべてのユーザに対して接続が設定されます。

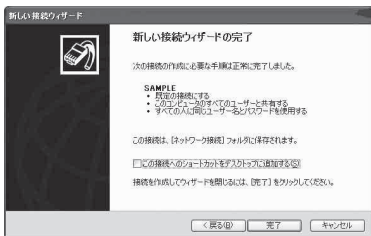


10 [ユーザー名]、[パスワード]、[パスワードの確認入力]を入力→[次へ]をクリックする

「mopera U」または「mopera」の接続の場合は、空欄のままでも接続できます。



11 [完了] をクリックする



12 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ネットワーク接続] をクリックする

13 作成したダイヤルアップのアイコンを右クリック→[プロパティ] をクリックする



14 [全般] タブで設定を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は [接続方法] の欄で「モデム - FOMA N2502 HIGH-SPEED」のみを選択してください。
- [ダイヤル情報を使う] のチェックを外してください。



15 [ネットワーク] タブをクリックし、各項目を確認→[設定] をクリックする

- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類] の欄は「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択します。
- [この接続は次の項目を使用します] の欄は「インターネットプロトコル (TCP/IP)」のみを選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更できないので、そのままにしておいてください。



- 16 「PPP 設定」画面ですべてのチェックを外す→【OK】をクリックする



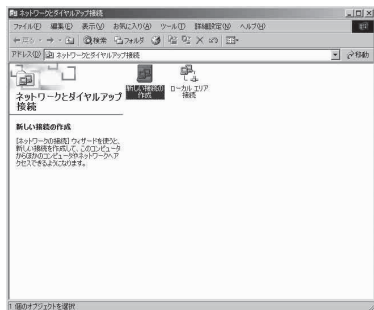
- 17 操作 15 の画面に戻り、【OK】をクリックする

● Windows 2000 の場合

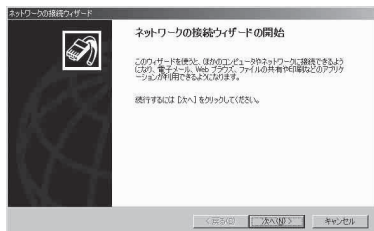
- 1 【スタート】→【プログラム】→【アクセサリ】→【通信】→【ネットワークとダイヤルアップ接続】をクリックする

- 2 「新しい接続の作成」をダブルクリックする

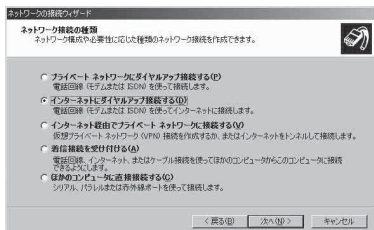
「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力→【OK】をクリックしてください。



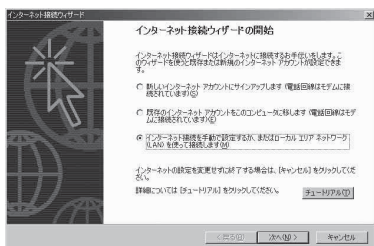
- 3 【次へ】をクリックする



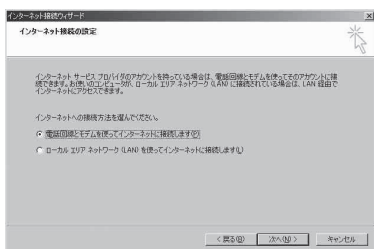
- 4 【インターネットにダイヤルアップ接続する】を選択→【次へ】をクリックする



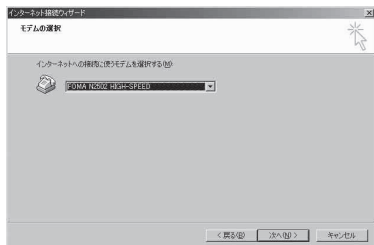
- 5 【インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します】を選択→【次へ】をクリックする



- 6 【電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します】を選択→【次へ】をクリックする



7 「FOMA N2502 HIGH-SPEED」を選択 → [次へ] をクリックする



8 「電話番号」の欄に接続先の番号を入力 → 「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外す → 「詳細設定」をクリックする

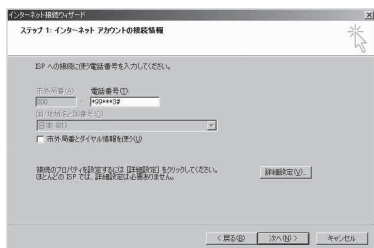
■ バケット通信の場合

「*99***<cid>#」を入力します。<cid>は設定した接続先 (APN) の登録番号を入力します。

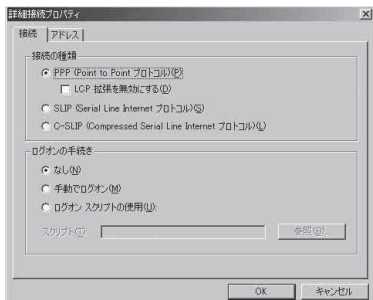
例: 「mopera」の場合、「*99***1#」と入力します。「mopera U」の場合、「*99***3#」と入力します。

■ 64K データ通信の場合

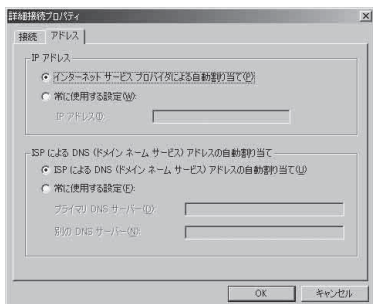
接続先の電話番号を入力します。



9 「接続」タブ → お客様がご利用されるプロバイダの設定を行う



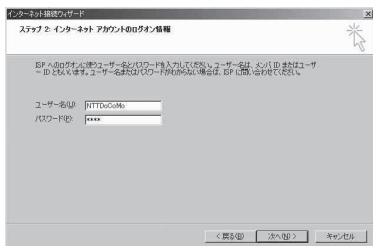
10 「アドレス」タブ → お客様がご利用されるプロバイダの設定を行う → 「OK」をクリックする



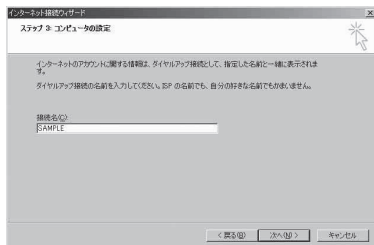
11 操作8の画面に戻り、[次へ] をクリックする

12 「ユーザー名」,[パスワード] を入力 → [次へ] をクリックする

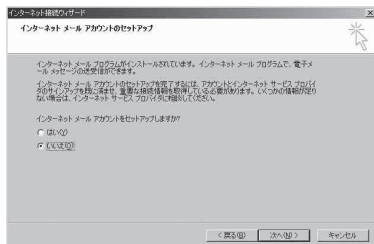
「mopera U」または「mopera」の接続の場合は、空欄のままでも接続できます。



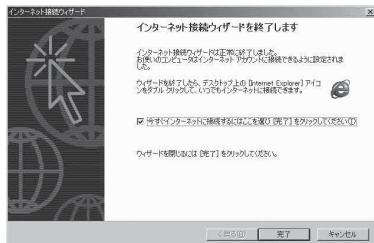
13 [接続名]の欄に任意の名前を入力→ [次へ] をクリックする



14 [いいえ] を選択→ [次へ] をクリックする
インターネットメールの設定をする場合は、[はい] を選択してください。設定する場合の詳細についてはお客様がご利用になるプロバイダにお問い合わせください。

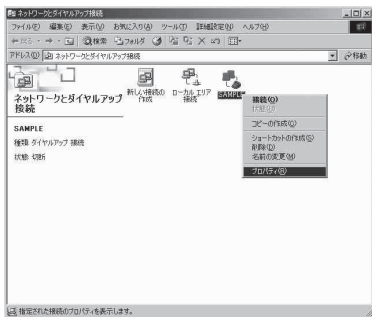


15 [完了] をクリックする



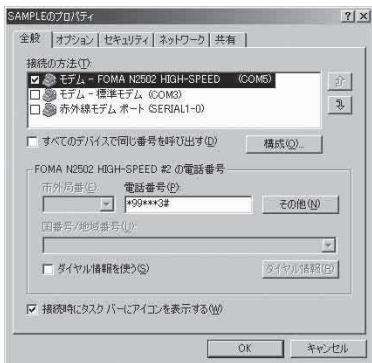
16 [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] をクリックする

17 作成したダイヤルアップのアイコンを右クリック→ [プロパティ] をクリックする



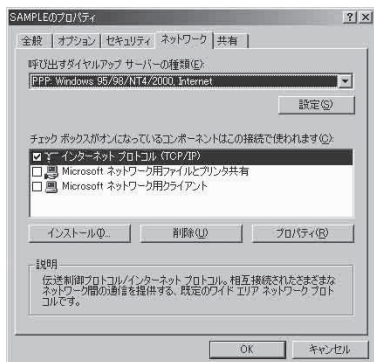
18 [全般] タブで設定を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は [接続方法] の欄で「モデム-FOMA N2502 HIGH-SPEED」のみを選択してください。
- [ダイヤル情報を使う] のチェックを外してください。



19 [ネットワーク] タブをクリックし、各項目を確認→【設定】をクリックする

- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]の欄は「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択します。
- コンポーネントは「インターネットプロトコル (TCP/IP)」のみ選択します。



20 「PPPの設定」画面ですべてのチェックを外す→【OK】をクリックする



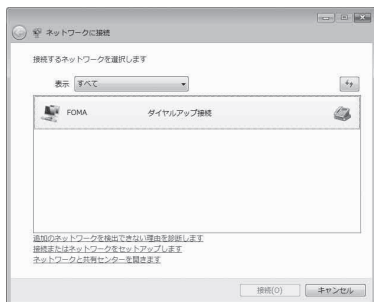
21 操作 19 の画面に戻り、【OK】をクリックする

ダイヤルアップ接続する

● Windows Vistaの場合

1 作成した接続先アイコンをダブルクリックする

[🌐] → [接続先] をクリック → 「表示」で [すべて] を選択 → 通信設定した接続先アイコンをダブルクリックしてください。



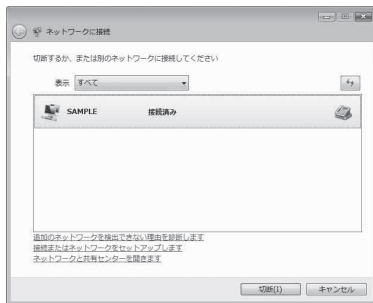
2 [ユーザー名]、[パスワード] を入力→【ダイヤル】をクリックする

「mopera U」、「mopera J」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード] は空欄のままでも接続できます。[次のユーザーが接続するとき使用する]のために、このユーザー名とパスワードを保存する]をチェックすると、次回からパスワードの入力が不要になります。



3 [🌐] → [接続先] をクリック → 「表示」で [すべて] を選択 → 通信設定した接続先アイコンをダブルクリックする

4 接続されたことを確認して、[キャンセル]をクリックする



● Windows XP、Windows 2000の場合

1 作成した接続先アイコンをダブルクリックする

■ Windows XPの場合

[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ネットワーク接続] → 通信設定した接続先アイコンをダブルクリックしてください。

■ Windows 2000の場合

[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] → 通信設定した接続先アイコンをダブルクリックしてください。



2 [ユーザー名]、[パスワード]を入力→[ダイヤル]をクリックする

「mopera U」、「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード] は空欄のままでも接続できます。[次のユーザーが接続するとき使用する]のために、このユーザー名とパスワードを保存するために、このユーザー名とパスワードを保存する]をチェックすると、次回からパスワードの入力が不要になります。



3 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする



4 接続されたことを確認して、[閉じる]をクリックする




おしらせ

- パソコンに表示される速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

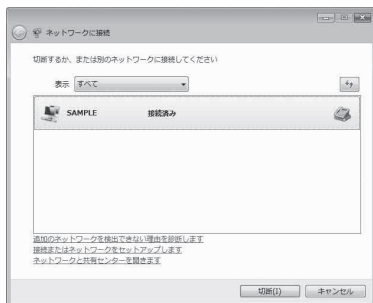
切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。以下の操作で通信回線を確実に切断してください。

● Windows Vistaの場合

①  → **【接続先】** をクリック → **【表示】** で **【すべて】** を選択 → **通信設定した接続先アイコンをダブルクリックする**

② **【切断】** をクリックする



● Windows XP、Windows 2000の場合

① **タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする**



② **【切断】** をクリックする



FirstPass PCソフトを利用する

FirstPassとは、お客様がFOMAサービスをご契約されていることを証明するユーザ証明書を使用して、クライアント認証に対応したサイトにアクセスできるようにしたものです。FirstPass PCソフトでは、FirstPass対応のFOMA端末から取得したユーザ証明書を使用して、パソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるように設定することができます。

●本FOMA端末ではユーザ証明書を取得できないので、FirstPassを利用するためにはお客様のFOMAカードを他のFirstPass対応FOMA端末に差し込んで、ユーザ証明書の発行・申請・ダウンロードを行っていただいたあと、そのFOMAカードを本FOMA端末に差し込んでから利用することになります。ユーザ証明書の取得方法については、ユーザ証明書の取得に利用するFOMA端末の取扱説明書をご覧ください。

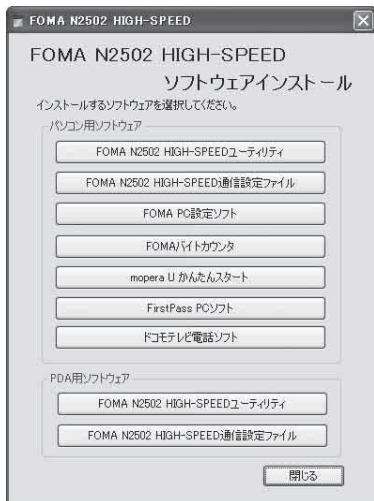
動作環境を確認する

項目	必要環境
OS	Windows Vista 日本語版 Windows XP 日本語版 Service Pack2以降 Windows 2000 日本語版 Service Pack4以降
メモリ	Windows Vista: 推奨512MB以上 Windows XP: 推奨128MB以上 Windows 2000: 推奨32MB以上
ハードディスク	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Windows Vista: Internet Explorer7.0 Windows XP、2000: Internet Explorer6.0 SP1以上

インストールする

- Windows Vistaでは、設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「許可 (A)」をクリックしてください。

- 1 Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする
- 2 パソコン用ソフトウェア [FirstPass PCソフト] をクリックする



引き続き、付属CD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual.pdf」の操作手順に従ってインストールしてください。

アンインストールする

● Windows Vistaの場合

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール] をクリックする
- 2 「FirstPass PCソフト」を選択 → [続行] をクリックする

● Windows XPの場合

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] をクリックする
- 2 「FirstPass PCソフト」を選択 → [削除] をクリックする

● Windows 2000の場合

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [アプリケーションの追加と削除] をクリックする
- 2 「FirstPass PCソフト」を選択 → [削除] をクリックする

引き続き、付属CD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual.pdf」の操作手順に従ってアンインストールしてください。

おしらせ

- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なる場合があります。
- 動作環境によっては、ご使用になれない場合があります。また、上記動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 対応OSであっても、アップグレードしたOSでの動作は保証いたしかねます。

mopera U かんたんスタート を利用する

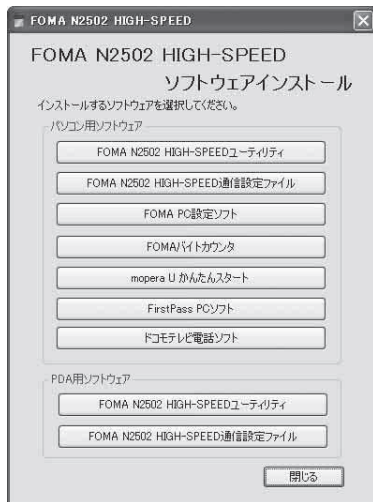
mopera Uサービスを利用するために必要な契約、設定を簡単に行うことができます。

動作環境を確認する

項目	必要環境
OS	Windows Vista 日本語版 Windows XP 日本語版 Service Pack2以降 Windows 2000 日本語版 Service Pack4以降
ブラウザ	Windows Vista : Internet Explorer7.0 Windows XP, 2000 : Internet Explorer6.0 SP1 以上

mopera U かんたんスタートを利用する

- 1 Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする
- 2 パソコン用ソフトウェア [mopera U かんたんスタート] をクリックする



おしらせ

- 動作環境によっては、ご使用になれない場合があります。また、上記動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 対応OSであっても、アップグレードしたOSでの動作は保証いたしかねます。

FOMA バイトカウンタを利用する

FOMAバイトカウンタは、パソコン上でFOMAを使ったデータ通信による送受信バイト数や利用金額の目安をチェックできるパソコン用ソフトウェアです。利用状況をその都度チェックして通信料が一定額を超えたときにアラームを表示してお知らせします。また、64Kデータ通信をご利用の際には、無通信が続いた場合に通信を自動切断することも可能です。

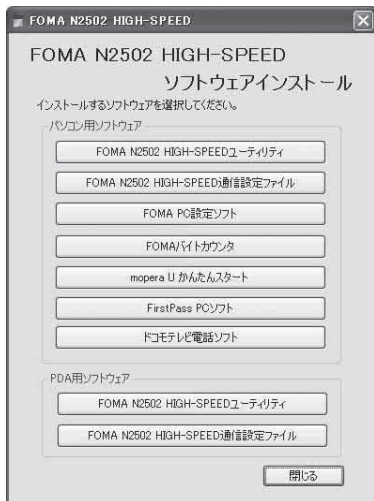
動作環境を確認する

項目	必要環境
OS	Windows Vista 日本語版 Windows XP 日本語版 Service Pack2以降 Windows 2000 日本語版 Service Pack4以降
メモリ	Windows Vista: 推奨512MB以上 Windows XP : 推奨 128MB以上 Windows 2000 : 推奨64MB以上
ハードディスク	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Windows Vista : Internet Explorer7.0 Windows XP, 2000 : Internet Explorer6.0 SP1 以上

インストールする

- Windows Vistaでは、設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「続行 (C)」をクリックしてください。

- 1 Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする
- 2 パソコン用ソフトウェア【FOMAバイトカウンタ】をクリックする



アンインストールする

● Windows Vistaの場合

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムのアンインストール]をクリックする
- 2 「FOMAバイトカウンタ」を選択 → [続行]をクリックする

● Windows XPの場合

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除]をクリックする
- 2 「FOMAバイトカウンタ」を選択 → [削除]をクリックする

● Windows 2000の場合

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [アプリケーションの追加と削除]をクリックする
- 2 「FOMAバイトカウンタ」を選択 → [削除]をクリックする

おしらせ

- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なる場合があります。
- 動作環境によっては、ご使用になれない場合があります。また、上記動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 対応OSであっても、アップグレードしたOSでの動作は保証いたしかねます。

PDAでの利用

■PDAへのセットアップをする前に

セットアップについて 94

■各種ソフトをインストールする

各種ソフトをインストールする 95

■FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを利用する

FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを利用する 99

画面の見かた 99

起動する/終了する 100

ダイヤルアップ設定 101

発信動作設定 105

着信動作設定 108

その他設定 110

操作を忘れてしまったとき **ヘルプ** 113

自分の電話番号を確認する **自局電話番号表示** 113

ユーティリティのバージョンを確認する 114

ファームウェアのバージョンを確認する 114

ネットワークサービス設定 **ネットワークサービス設定** 114

■接続する

ダイヤルアップ接続する 115

■各種ソフトをアンインストールする

各種ソフトをアンインストールする 116

セットアップについて

セットアップ完了までの流れ

PDAでFOMA端末のセットアップを行うためには、ActiveSync／Windows Mobile Device Centerがインストールされたパソコンを使って必要なソフトをインストールします。ソフトのインストールは、付属のCD-ROMから行います。

- ご利用のパソコンにCD-ROMドライブがない場合や、PCカードスロットが1つしかなく、そこに外付けのCD-ROMドライブを接続している場合は、あらかじめCD-ROMの内容をパソコンのハードディスクにコピーしてからセットアップを行ってください。
- パソコンとPDAを同期させるソフトは、パソコンのOSにより異なります。
Windows XP/2000の場合はActiveSync4.5以上、Windows Vistaの場合はWindows Mobile Device Center6.0以上を使用してください。

PDA用ソフトウェアの通信設定ファイル（ドライバ）と FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティをインストールする

FOMA端末をPDAに認識させるためのソフト、およびFOMA端末の状態確認や各種設定を行うためのソフトをインストールします。

- Windows Vistaの場合→P.95
※ Windows Vistaで sigmarion III を利用する場合→P.97
- Windows XP、Windows 2000の場合→P.97

<パケット通信をする場合>

ダイヤルアップを作成する

パケット通信で接続できるようにするための設定を行います。→P.101

<64Kデータ通信をする場合>

ダイヤルアップを作成する

64Kデータ通信で接続できるようにするための設定を行います。→P.103

接続する

インターネットに接続します。

動作環境を確認する

FOMA端末を利用するためのPDAの動作環境は以下のとおりです。

- FOMA N2502 HIGH-SPEEDに対応していない機種もあります。
- 使用可能となるPDAの最新情報については、ドコモのホームページ (<http://www.nttdocomo.co.jp>)にて、ご確認ください。

項目	必要環境
PDA本体	CF (TYPE II) に対応したカードスロットを持ち、下記OSが動作するPDAおよびsigmarion III
OS	Windows CE .NET 4.1 日本語版 Windows Mobile 5.0 日本語版

おしらせ

- 本FOMA端末に対応したWindowsが動作し、ActiveSync / Windows Mobile Device Centerがインストールされたパソコンを使用してセットアップを行ってください。なお、ActiveSync / Windows Mobile Device Centerの操作や設定などの詳細につきましては、マイクロソフトにお問い合わせください。
- バッテリーが充電不足の場合、セットアップが正常に行われない可能性があります。ACアダプタを接続するか、充電が完了してからセットアップを行ってください。

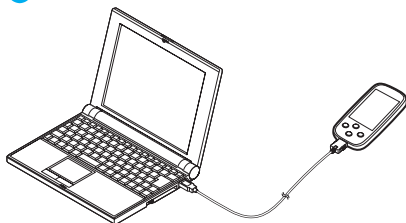
各種ソフトをインストールする

- インストールを行う前は、FOMA端末をPDAに接続しないでください。
- インストールするときは、パソコンおよびPDAのバッテリーが十分に充電されていることをご確認ください。充電が不足している場合には、AC電源など安定した電源を確保した状態でインストールを行ってください。
- N2502ソフトウェアをインストールする前に、あらかじめパソコンとPDAを接続し、必要なソフトをインストールしてください。
- パソコンとPDAの接続方法や、PDAの操作方法は、PDAの取扱説明書をご覧ください。

● Windows Vistaの場合

- sigmarion IIIはWindows Mobile Device Centerに対応していないため、インストール手順が異なります。sigmarion IIIを利用する場合は「Windows Vistaでsigmarion IIIを利用する場合」(P.97)を参照してください。

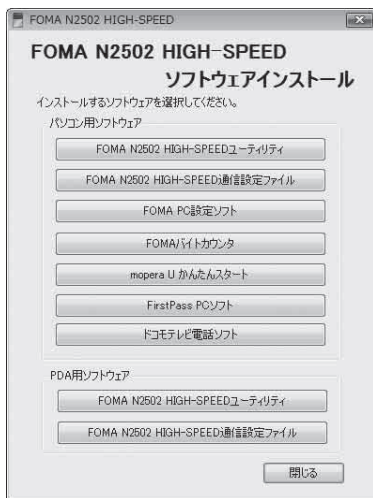
① PDAをパソコンに接続する



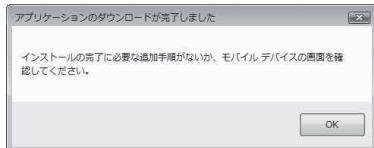
② Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする

③ PDA用ソフトウェア【FOMA N2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル】をクリックする

パソコンからPDAに必要なファイルがインストールされます。

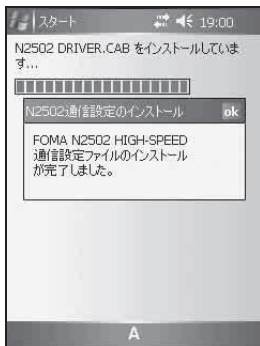


4 [OK] をクリックする

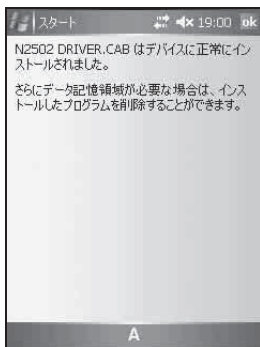


このとき、お使いのPDAの画面上で「このプログラムの発行者は不明です。発行者が信頼できる場合のみインストールしてください。続行しますか?」と表示されることがありますが、問題ありませんので [はい] をタップしてください。

5 PDAの画面上で [OK] をタップする



6 PDAの画面上で [OK] をタップする



7 パソコンとPDAを取り外す

8 PDAをソフトリセット (再起動) する

FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル (ドライバ) のインストールが完了します。PDAのリセット (再起動) 後に、FOMA端末をCFカードスロットに取り付けてください。

9 操作3の画面でPDA用ソフトウェア [FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティ] をクリックする

パソコンからPDAに必要なファイルがインストールされます。

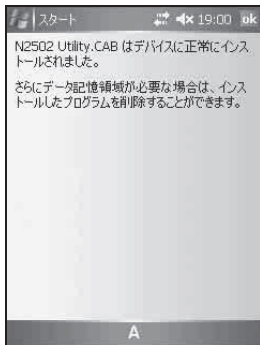
10 操作4の画面で [OK] をクリックする

このとき、お使いのPDAの画面上で「このプログラムの発行者は不明です。発行者が信頼できる場合のみインストールしてください。続行しますか?」と表示されることがありますが、問題ありませんので [はい] をタップしてください。

11 PDAの画面上で [OK] をタップする



12 PDAの画面上で [OK] をタップする



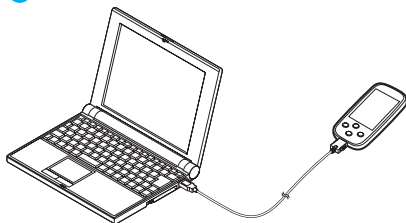
FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティのインストールが完了します。

Windows Vistaでsigmarion IIIを利用する場合

- sigmarion IIIをパソコンに接続します。
- 通信設定ファイル（ドライバ）のインストール
- パソコン側で、sigmarion IIIに通信設定ファイル（ドライバ）のインストール用ファイルをコピーします。
コピーするファイル：
付属CD-ROM内の [PDA] → [PDAInstall] → [Driver] フォルダ内の [N2502DRIVER.CE.CAB]
- コピー先のフォルダ：
[C:] → [コンピュータ] → [ポータブルデバイス] → [WindowsCE] → [¥] → [My Documents] フォルダ
- sigmarion III側で、コピーした [My Documents] フォルダ内の [N2502DRIVER.CE.CAB] をダブルクリックします。
→ インストール先は初期状態から変更せずに [OK] をタップ → [OK] をタップします。
- パソコンと sigmarion IIIを取り外し、sigmarion IIIをソフトリセット（再起動）します。
- ユーティリティのインストール
- パソコン側で、sigmarion IIIにユーティリティのインストール用ファイルをコピーします。
コピーするファイル：
付属CD-ROM内の [PDA] → [PDAInstall] フォルダ内の [N2502UTL.CE.CAB]
- コピー先のフォルダ：
[C:] → [コンピュータ] → [ポータブルデバイス] → [WindowsCE] → [¥] → [My Documents] フォルダ
- sigmarion III側で、コピーした [My Documents] フォルダ内の [N2502UTL.CE.CAB] をダブルクリックします。
→ インストール先は初期状態から変更せずに [OK] をタップ → [OK] をタップします。

● Windows XP、Windows 2000の場合

① PDAをパソコンに接続する

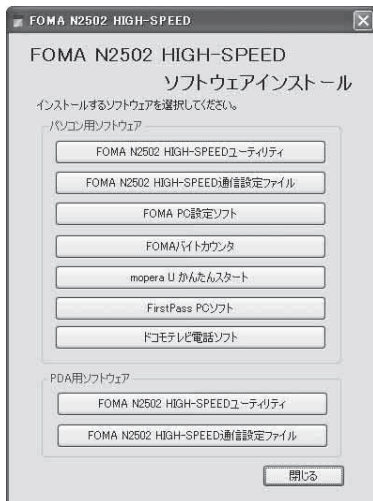


② Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする

③ PDA用ソフトウェア [FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル] をクリックする

パソコンからPDAに必要なファイルがインストールされます。

sigmarion IIIでは、「既定のアプリケーションセットアップディレクトリに“N2502 DRIVER”をインストールしますか？」と表示されますので、かならず [はい] をクリックしてください。

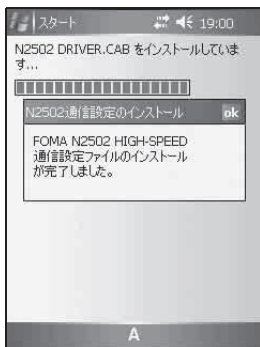


4 [OK] をクリックする

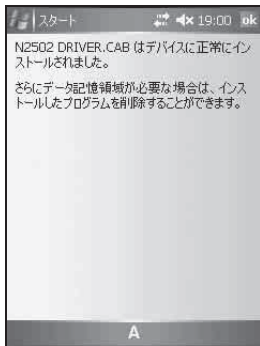


このとき、お使いのPDAの画面上で「このプログラムの発行者は不明です。発行者が信頼できる場合のみインストールしてください。続行しますか?」と表示されることがありますが、問題ありませんので [はい] をタップしてください。

5 PDAの画面上で [OK] をタップする



6 PDAの画面上で [OK] をタップする



7 パソコンとPDAを取り外す

8 PDAをソフトリセット（再起動）する

FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが完了します。PDAのリセット（再起動）後に、FOMA端末をCFカードスロットに取り付けてください。

9 操作3の画面でPDA用ソフトウェア [FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティ] をクリックする

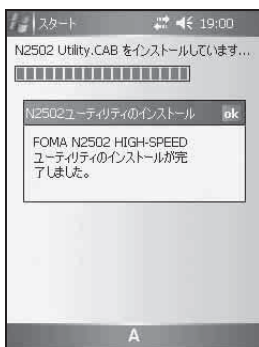
パソコンからPDAに必要なファイルがインストールされます。

sigmarion IIIでは、「既定のアプリケーションセットアップディレクトリに“N2502 Utility”をインストールしますか?」と表示されますので、[はい] をクリックしてください。

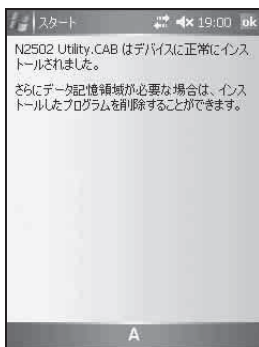
10 操作4の画面で [OK] をクリックする

このとき、お使いのPDAの画面上で「このプログラムの発行者は不明です。発行者が信頼できる場合のみインストールしてください。続行しますか?」と表示されることがありますが、問題ありませんので [はい] をタップしてください。

11 PDAの画面上で [OK] をタップする



12 PDAの画面上で [OK] をタップする



FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティのインストールが完了します。

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティを利用する

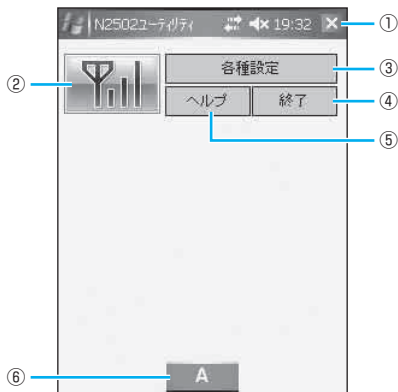
FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティでは次の機能が利用できます。

- FOMA 端末の状態確認
電波状況の確認や、FOMAカードの状態確認
- 各種設定
ダイヤルアップ作成、発信者番号通知、パケット着信拒否設定、PIN1コード設定など

画面の見かた

- 本書では縦画面のPDAについてのみ画面イメージを掲載します。sigmarion IIIについては、画面イメージは掲載しませんが、動作は縦画面のPDAとほとんど変わりありませんので、補足で説明します。

■メイン画面






① 終了ボタン

- FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを終了

② ステータスアイコン表示エリア

アイコン	表示内容
	電波状態アンテナ3本 (強い)
	電波状態アンテナ2本 (やや弱い)
	電波状態アンテナ1本 (弱い)
	サービスエリア外/電波の届かない場所にいる
	FOMA 端末がPDAに接続されていない
	FOMAカード未挿入
	PIN1コード入力待ち

アイコン	表示内容
	PINロック解除コード入力待ち
	PIN完全ロック
	FOMAカードエラー／FOMAカード以外のUIMカードを挿入

③ 各種設定ボタン

- ・ダイヤルアップの設定などの各種設定メニューを表示

④ 終了ボタン

- ・FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを終了

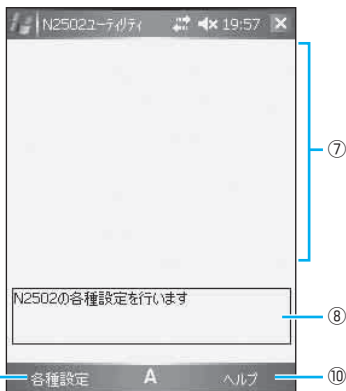
⑤ ヘルプボタン

- ・ヘルプ画面を表示

⑥ キーボード表示ボタン

- ・キーボードを表示

■ 各種設定画面



⑦ 各種設定の表示・実行エリア

- ・さまざまな設定の表示、変更

⑧ メッセージエリア

- ・選択項目の説明や設定の完了などを表示

⑨ 各種設定メニューボタン

- ・ダイヤルアップ設定、発信動作設定、着信動作設定、その他設定のメニューを表示

⑩ ヘルプボタン

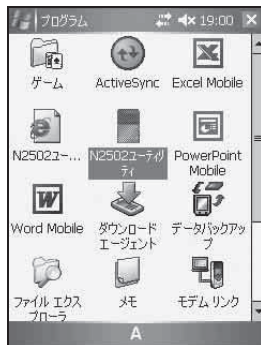
- ・ヘルプ画面を表示

起動する／終了する

起動する

① FOMA 端末を PDA に接続する

② [スタート] → [プログラム] → [N2502 ユーティリティ] をタップする



お知らせ

- ・「起動時にPIN1コード照合をする」設定にしている場合、PDAが省電力モードから復帰するときに再入力を求められます。

終了する

① メイン画面 (P.99) の右上の X、または [終了] をタップする

ダイヤルアップ設定

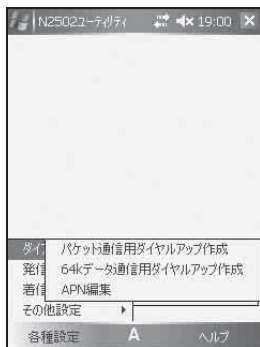
パケット通信や64Kデータ通信を始めるためには、まずダイヤルアップを作成します。

パケット通信用ダイヤルアップ作成

パケット通信用にダイヤルアップを作成します。

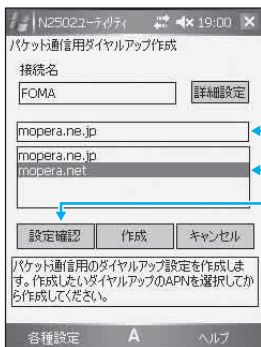
① メイン画面で [各種設定] → [ダイヤルアップ設定] → [パケット通信用ダイヤルアップ作成] をタップする

sigmarion III では、[各種設定] → [ダイヤルアップ設定] タブ → [パケット通信用ダイヤルアップ作成] をタップします。



② 「接続名」を入力→接続先 (APN) リストからダイヤルアップを作成したい接続先 (APN) をダブルタップ→ [詳細設定] をタップする

初めから cid1 には「mopera」の接続先 (APN) が、cid3 には「mopera U」の接続先 (APN) が設定されています。その他のプロバイダを利用する場合、接続先 (APN) リストにない場合は、「APN編集」(P.104) であらかじめ接続先 (APN) を登録する必要があります。



選択された接続先 (APN) が表示される

接続先 (APN) リスト

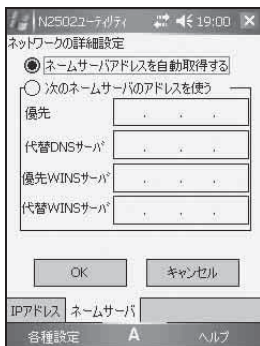
FOMAカードの設定を読み出す

3 お客様がご利用されるプロバイダの設定を行う→ [OK] をタップする

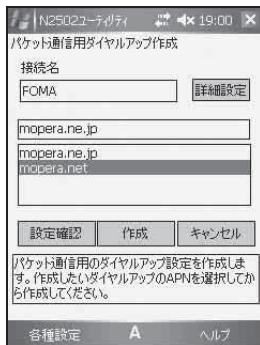
[IPアドレス] と [ネームサーバ] をタップすると画面が切り替わります (sigmarion III では、切り替えてできません)。

[mopera] または [mopera U] をご利用になる場合は設定不要です。

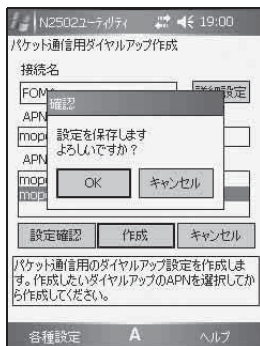
IPアドレス設定などの詳細については、ネットワーク管理者や、接続先の各プロバイダにお問い合わせください。



4 [作成] をタップする



5 [OK] をタップする



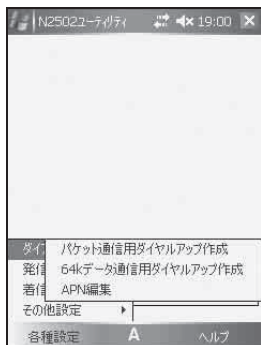
これでパケット通信のダイヤルアップ設定が完了しました。

64Kデータ通信ダイヤルアップ作成

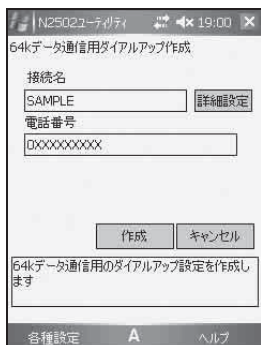
64Kデータ通信用にダイヤルアップを作成します。

① メイン画面で [各種設定] → [ダイヤルアップ設定] → [64Kデータ通信ダイヤルアップ作成] をタップする

sigmarion III では、[各種設定] → [ダイヤルアップ設定] タブ → [64Kデータ通信ダイヤルアップ作成] をタップします。



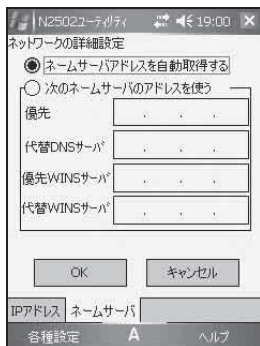
② [接続名] を入力 → [電話番号] を入力 → [詳細設定] をタップする



③ お客様がご利用されるプロバイダの設定を行う → [OK] をタップする

[IPアドレス] と [ネームサーバ] をタップすると画面が切り替わります (sigmarion III では、切り替えできません)。

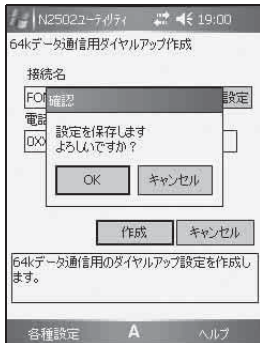
[mopera] または [mopera U] をご利用になる場合は設定不要です。IPアドレス設定などの詳細については、ネットワーク管理者や、接続先の各プロバイダにお問い合わせください。



4 [作成] をタップする



5 [OK] をタップする

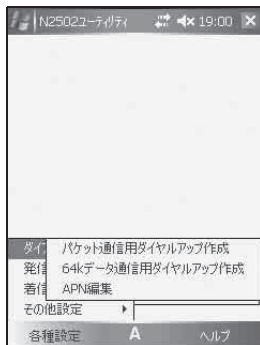


これで64Kデータ通信のダイヤルアップ設定が完了しました。

APN編集

接続先 (APN) リストに登録していないプロバイダを利用する場合などに編集します。

- 1 メイン画面で [各種設定] → [ダイヤルアップ設定] → [APN編集] をタップする
sigmarion III では、[各種設定] → [ダイヤルアップ設定] タブ → [APN編集] をタップします。



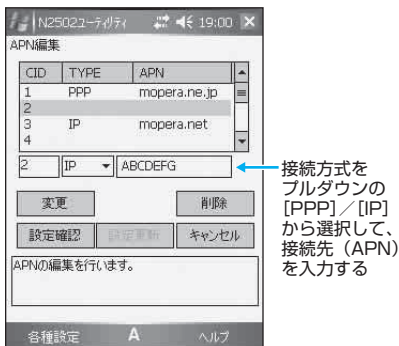
- 2 接続先 (APN) リストから、編集したい cid 番号を選択する



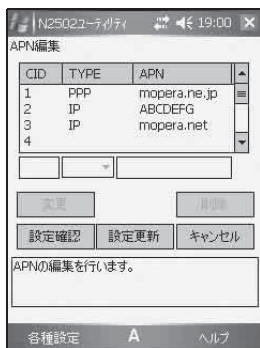
接続先 (APN) を設定したいcid番号を選択する

FOMAカードの設定を読み出す

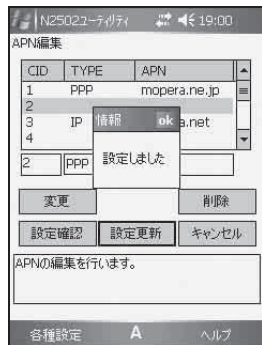
3 接続方式をプルダウンの [PPP] / [IP] から選択→接続先 (APN) を入力→ [変更] をタップする



4 [設定更新] をタップする [設定更新] をタップするまでは、設定した接続先 (APN) はFOMA端末に記録されません。



5 [OK] をタップする



これでAPN編集が完了しました。

発信動作設定

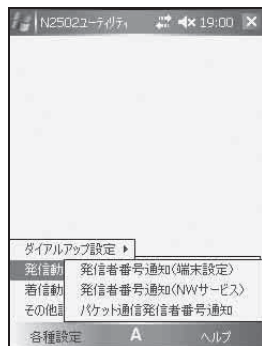
64K データ通信やテレビ電話通信をするときや、パケット通信の発信時にお客様の電話番号 (発信者番号) を接続先や相手に通知するかしないかを設定します。電話番号 (発信者番号) はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

発信者番号通知 (端末設定)

発信者番号を通知するかしないかを端末に設定します。

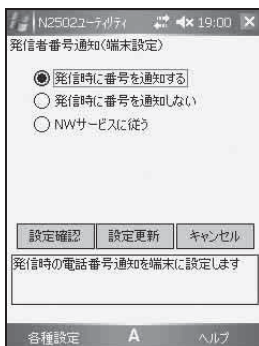
1 メイン画面で [各種設定] → [発信動作設定] → [発信者番号通知 (端末設定)] をタップする

sigmarion III では、[各種設定] → [発信動作設定] タブ → [発信者番号通知 (端末設定)] をタップします。

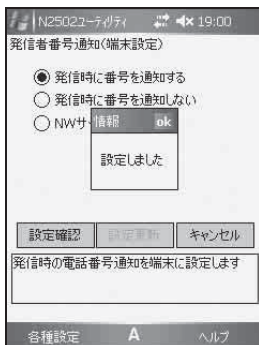


② 設定する内容の○をタップ→【設定更新】をタップする

[NWサービスに従う] を選択した場合は、[発信者番号通知 (NWサービス)] (P.106) の設定内容が有効になります。



③ [OK] をタップする



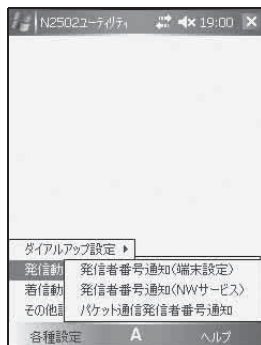
これで発信者番号を通知するかしないかを端末に設定しました。

発信者番号通知 (NWサービス)

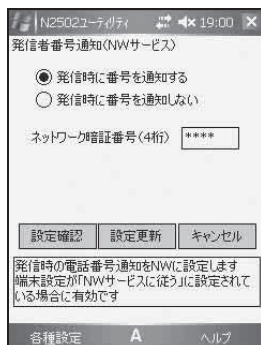
発信者番号を通知するかしないかの設定をネットワーク上に設定します。

① メイン画面で【各種設定】→【発信動作設定】→【発信者番号通知 (NWサービス)】をタップする

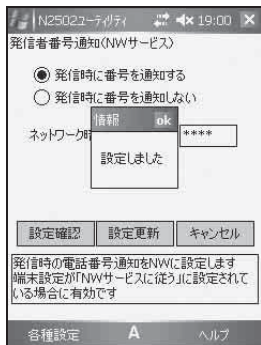
sigmarion III では、[各種設定] → [発信動作設定] タブ → [発信者番号通知 (NWサービス)] をタップします。



② 設定する内容の○をタップ→ネットワーク暗証番号を入力→【設定更新】をタップする



3 [OK] をタップする



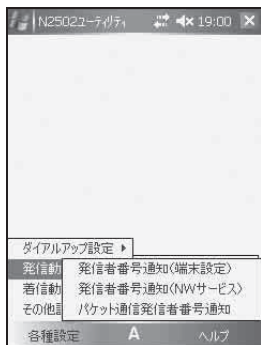
これで発信者番号を通知するかしないかの設定をネットワーク上に設定しました。

パケット通信発信者番号通知

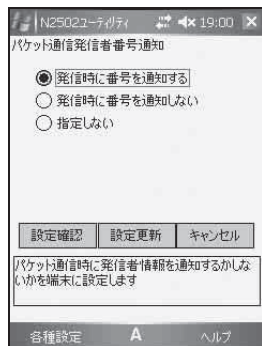
パケット通信を行うときに、接続先にお客様の発信者番号を通知するかしないかの設定を行うことができます。

1 メイン画面で【各種設定】→【発信動作設定】→【パケット通信発信者番号通知】をタップする

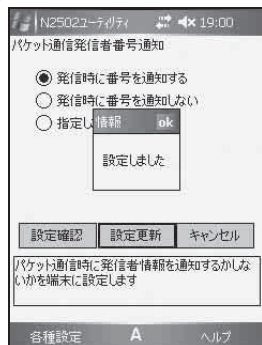
sigmarion III では、【各種設定】→【発信動作設定】タブ→【パケット通信発信者番号通知】をタップします。



2 設定する内容の○をタップ→ネットワーク暗証番号を入力→【設定更新】をタップする



3 [OK] をタップする



パケット通信を行うときに、接続先にお客様の発信者番号を通知するかしないかを設定しました。

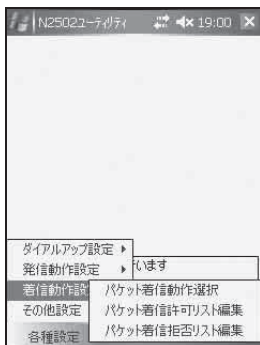
着信動作設定

パケット着信動作選択

パケット通信の着信を拒否するかしないかを設定します。

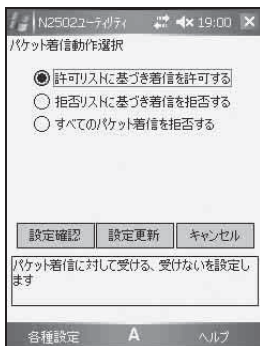
① メイン画面で【各種設定】→【着信動作設定】→【パケット着信動作選択】をタップする

sigmarion III では、【各種設定】→【着信動作設定】タブ→【パケット着信動作選択】をタップします。

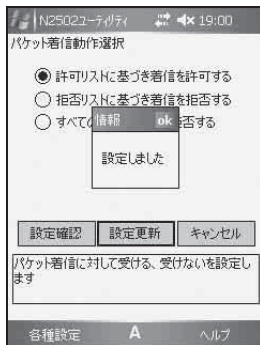


② 設定する内容の○をタップ→【設定更新】をタップする

【許可リストに基づき着信を許可する】に設定した場合は、【パケット着信許可リスト編集】(P.108)に登録された接続先からの着信が許可されます。【拒否リストに基づき着信を拒否する】に設定した場合は、【パケット着信拒否リスト編集】(P.109)に登録された接続先からの着信が拒否されます。



③ [OK] をタップする



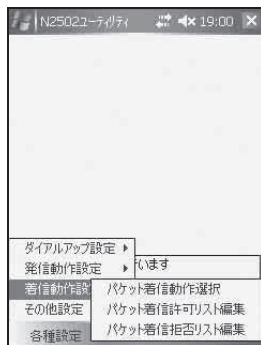
パケット通信の着信を拒否するかしないかを設定しました。

パケット着信許可リスト編集

パケット着信動作選択 (P.108) で【許可リストに基づき着信を許可する】に設定した場合に有効になります。

① メイン画面で【各種設定】→【着信動作設定】→【パケット着信許可リスト編集】をタップする

sigmarion III では、【各種設定】→【着信動作設定】タブ→【パケット着信許可リスト編集】をタップします。



2 リストから着信を許可するAPNをチェック → [設定更新] をタップする



3 [OK] をタップする

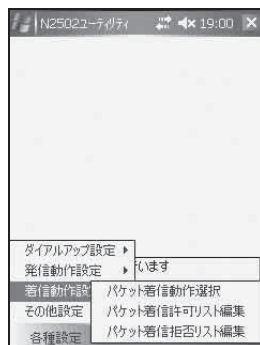


パケット着信拒否リスト編集

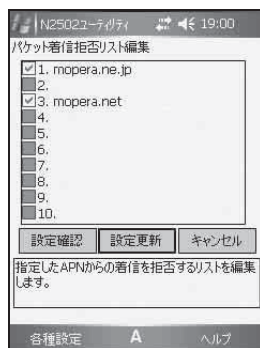
パケット着信動作選択 (P.108) で [拒否リストに基づき着信を拒否する] に設定した場合に有効になります。

1 メイン画面で [各種設定] → [着信動作設定] → [パケット着信拒否リスト編集] をタップする

sigmarion III では、[各種設定] → [着信動作設定] タブ → [パケット着信拒否リスト編集] をタップします。



2 リストから着信を拒否するAPNをチェック → [設定更新] をタップする



3 [OK] をタップする



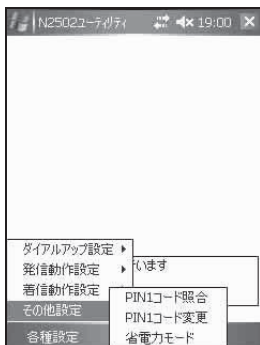
その他設定

FOMAカードに記録されているPIN1コードの設定や省電力モードの設定をします。

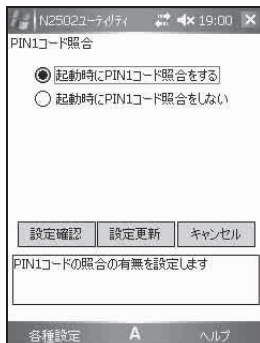
PIN1コード照合

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティを初めて起動するときや、PDAが省電力モードから復帰するとき、PIN1コードを照合するかしないかを設定します。照合する設定に変更すると、次にFOMA端末を利用するときからは、FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティでPIN1コードを照合しないとデータ通信することはできません。

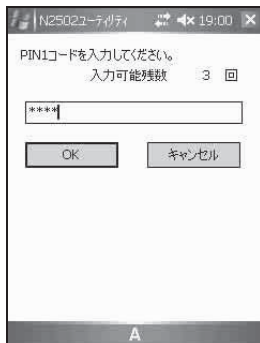
- 1 メイン画面で [各種設定] → [その他設定] → [PIN1コード照合] をタップする
sigmarion III では、[各種設定] → [その他設定] タブ → [PIN1コード照合] をタップします。



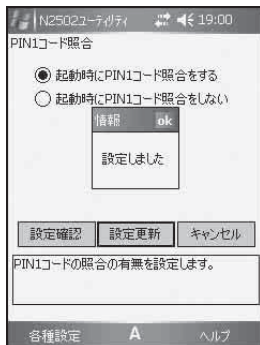
2 設定する内容の○をタップ→ [設定更新]



3 PIN1コードを入力→ [OK] をタップする



4 [OK] をタップする

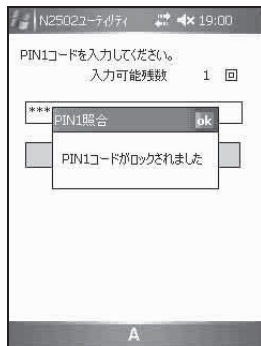


おしらせ

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

お知らせ

- ご契約時にPIN1コードは「0000」に設定されています。
- 3回連続してPIN1コードの入力を失敗すると自動的にロック（PINロック）されますのでご注意ください。

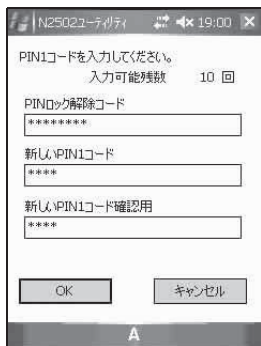


- PINロックされたときは、PINロック解除コードでPINロックを解除してください。(P.111)

● PINロックを解除する

3回連続してPIN1コードの入力を失敗したときは、PINロックされてほとんどの機能が制限されます。解除するためには「PINロック解除コード入力」画面で、PINロックを解除して、新しいPIN1コードを設定する必要があります。

- 1 「PINロック解除コード入力」画面→PINロック解除コード（8桁）を入力→新しく設定するPIN1コードを4～8桁で入力→新しく設定するPIN1コードを確認のために再入力→【OK】をタップする



お知らせ

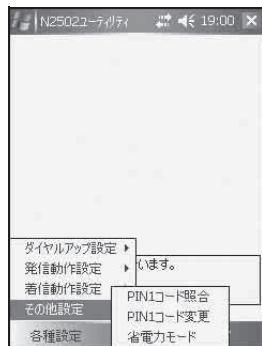
- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗するとFOMAカードがロックされますので、PINロック解除コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。
- PINロック解除コードを忘れた場合や、FOMAカードがロックされた場合は、FOMA端末とご利用のFOMAカード、お客様がご契約されたご本人であることを証明できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口にお持ちいただくこととなりますのでご注意ください。

PIN1コード変更

PIN1コードを変更します。

- PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード照合」を「起動時にPIN1コード照合をする」に設定しておく必要があります。

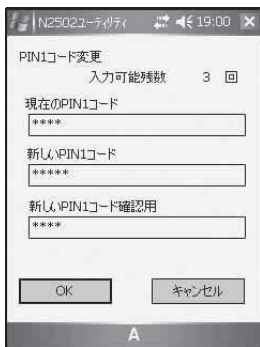
- 1 メイン画面で【各種設定】→【その他設定】→【PIN1コード変更】をタップする
sigmarion IIIでは、【各種設定】→【その他設定】タブ→【PIN1コード変更】をタップします。



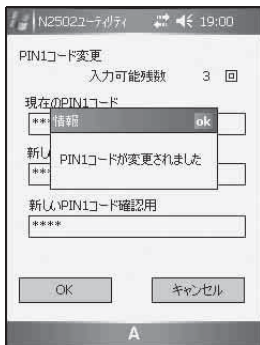
2 [変更] をタップする



3 現在設定しているPIN1コードを入力→新しく設定するPIN1コードを4～8桁で入力→新しく設定するPIN1コードを確認のために再入力→【OK】をタップする

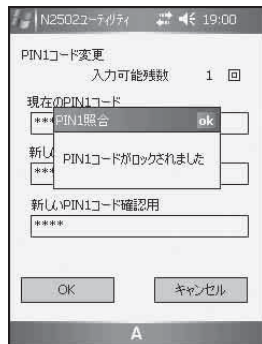


4 【OK】をタップする



おしらせ

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。
- ご契約時にPIN1コードは「0000」に設定されています。
- 3回連続してPIN1コードの入力を失敗すると自動的にロック (PINロック) されますのでご注意ください。

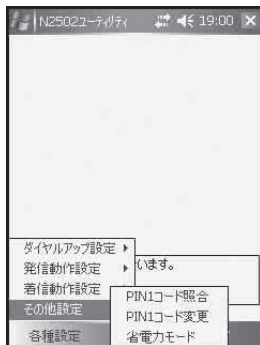


- PINロックされたときは、PINロック解除コードでPINロックを解除してください (P.111)。

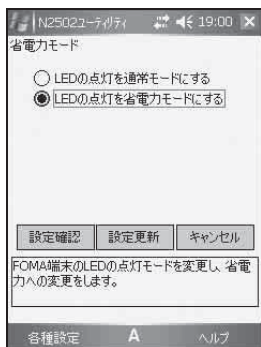
省電力モード

FOMA端末のLEDの点灯モードを変更し、省電力への変更をします。

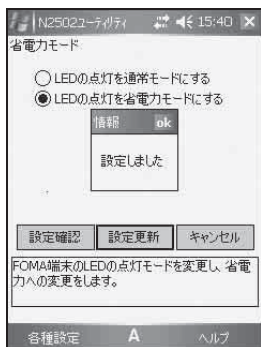
- 1 メイン画面で【各種設定】→【その他設定】→【省電力モード】をタップする
sigmarion III では、[各種設定] → [その他設定] タブ → [省電力モード] をタップします。



2 設定する内容の をタップ→【設定更新】をタップする



3 【OK】をタップする

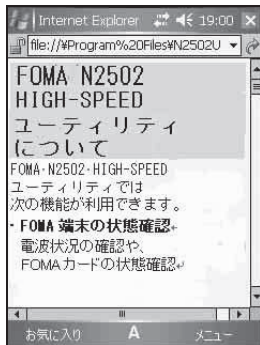


操作を忘れてしまったとき

(ヘルプ)

ヘルプを表示して、使い方などを表示します。

1 メイン画面で【ヘルプ】をタップする



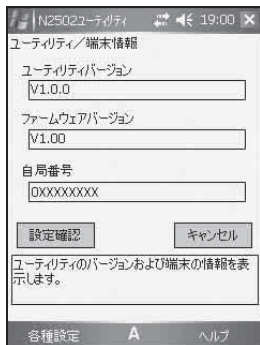
自分の電話番号を確認する

(自局電話番号表示)

FOMAカードに登録されているお客様の電話番号(自局電話番号)を表示します。

1 メイン画面で【各種設定】→【ヘルプ】→【ユーティリティ/端末情報】をタップする

sigmarion IIIでは、[各種設定] → [ヘルプ] タップ → [ユーティリティ/端末情報] をタップします。自局番号が表示されます。



ユーティリティのバージョンを確認する

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティの機能を向上させるためにソフトウェアのバージョンをアップすることがあります。バージョンアップが必要か確認するときに、ユーティリティのソフトウェアバージョンを表示します。操作方法は「自分の電話番号を確認する」(P.113)を参照してください。ユーティリティバージョンが表示されます。

ファームウェアのバージョンを確認する

FOMA 端末の機能を改善するためにファームウェアのバージョンをアップすることがあります。バージョンアップが必要か確認するときに、本FOMA 端末のファームウェアバージョンを表示します。操作方法は「自分の電話番号を確認する」(P.113)を参照してください。ファームウェアバージョンが表示されます。

ネットワークサービス設定 (ネットワークサービス設定)

ドコモのネットワークサービスを利用する場合に必要な設定を行います。FOMA 端末で利用できるドコモのネットワークサービスは次のとおりです。

サービス名	お申し込み	月額使用料
発信者番号通知サービス	不要	無料

おしらせ

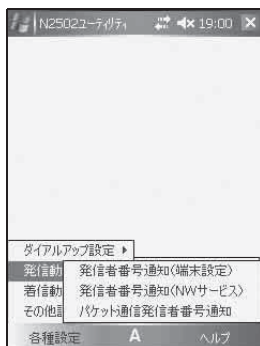
- ドコモのネットワークサービスをご利用されるときにお客様確認のため数字4桁のネットワーク暗証番号を使用します。パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」ご契約時にお客様が任意に設定される番号であり、お客様ご自身で番号を変更することができます。

発信者番号通知サービスを設定する (発信者番号通知)

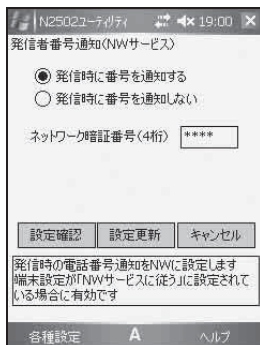
64K データ通信やテレビ電話通信を使用するときに、発信時にお客様の電話番号を接続先や相手に通知するかしないかをネットワーク上に設定します。電話番号(発信者番号)はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

1 メイン画面で【各種設定】→【発信動作設定】→【発信者番号通知(NWサービス)】をタップする

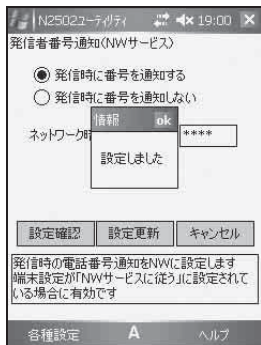
sigmarion III では、【各種設定】→【発信動作設定】タブ→【発信者番号通知(NWサービス)】をタップします。



2 設定する内容の○をタップ→【ネットワーク暗証番号(4桁)】を入力し、【設定更新】をタップする



3 [OK] をタップする



お知らせ

- 発信者番号通知の設定はFOMA端末に設定した内容が優先されます。ネットワークサービスを利用する場合は [各種設定] → [発信動作設定] → [発信者番号通知 (端末設定)] → [NWサービス設定に従う] に設定してください。(P.105)
- ネットワーク暗証番号 (4桁) は半角数字で入力してください。

ダイヤルアップ接続する

1 FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティが終了していることを確認する

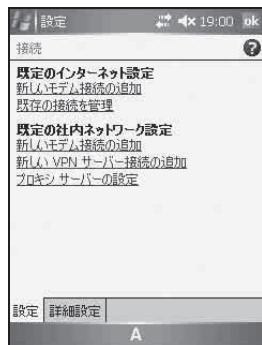
通信を行う場合は、FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティを必ず終了させてください。

2 [スタート] → [設定] → [接続] タブ → [接続] をタップする

sigmarion III では、[スタート] → [設定] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] をタップします。

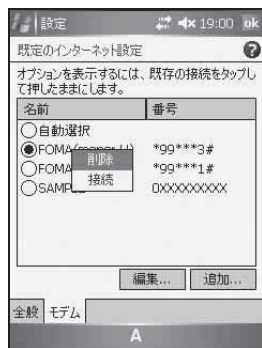
3 [既存の接続を管理] をタップする

sigmarion III では、操作3はありません。操作4にお進みください。



4 利用するダイヤルアップ接続の [名前] または [番号] を長押しタップ → [接続] をタップする

sigmarion III では、利用するダイヤルアップ接続をダブルタップ → [接続] をタップしてください。



各種ソフトをアンインストールする

「FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル (ドライバ)」と「FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティ」のアンインストールの方法を説明します。PDAにインストールされたソフトをアンインストールするとき、インストールするときを使用したパソコンのActiveSync/Windows Mobile Device Centerを使用します。

● Windows Vistaの場合

● sigmarion IIIはWindows Mobile Device Centerに対応していないため、Windows Vistaのパソコンから各種ソフトをアンインストールすることはできません。sigmarion IIIの [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [アプリケーションの削除] から削除してください。

① N2502の各ソフトをインストールした時のパソコンを準備し、パソコンとPDAを接続する

Windows Mobile Device Centerが起動します。アンインストール時には、PDAからFOMA端末を取り外してください。

② [デバイスをセットアップしないで接続] をクリックする



③ [プログラムとサービス] → [詳細] をクリックする



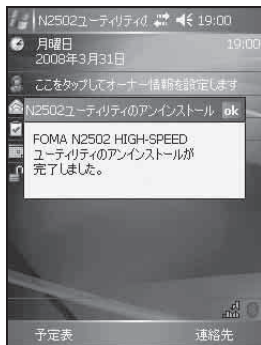
④ [アプリケーションの追加と削除] をクリックする



⑤ [N2502 Utility] のチェックを外す → [OK] をクリックする



6 PDAの画面で [OK] をタップする



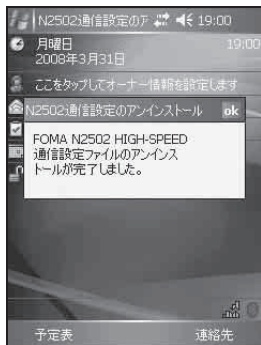
7 [アプリケーションの追加と削除] をクリックする



8 削除する [N2502 DRIVER] のチェックを外す→ [OK] をクリックする



9 PDAの画面で [OK] をタップする



これで、PDAとパソコンから各種ソフトがインストールされました。

● Windows XP、Windows 2000の場合

1 N2502の各ソフトをインストールした時のパソコンを準備し、パソコンとPDAを接続する

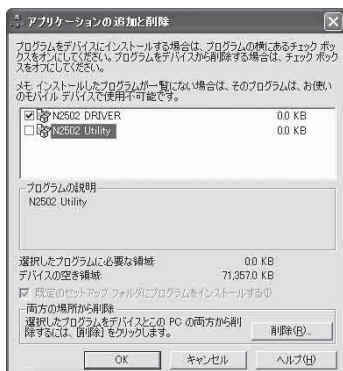
ActiveSyncが起動します。
アンインストール時には、PDAからFOMA端末を取り外してください。

2 [ツール] → [アプリケーションの追加と削除] をクリックする

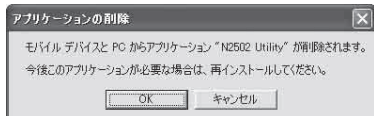


3 「N2502 Utility」のチェックを外す→ 【削除】をクリックする

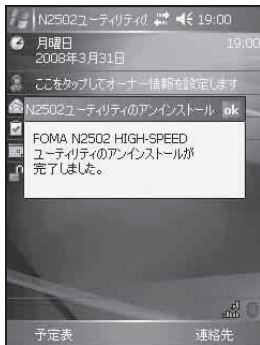
sigmarion IIIでは、「N2502 Utility」を選択
→【削除】をクリックしてください。



4 【OK】をクリックする

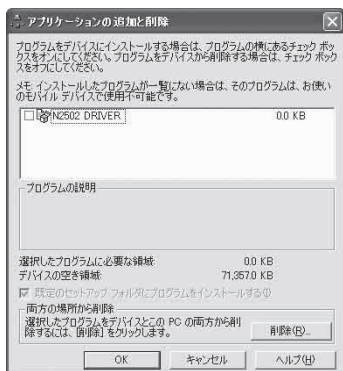


5 PDAの画面で【OK】をタップする

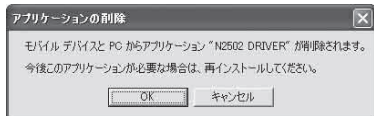


6 削除する「N2502 DRIVER」のチェ ックを外す→【削除】をクリックする

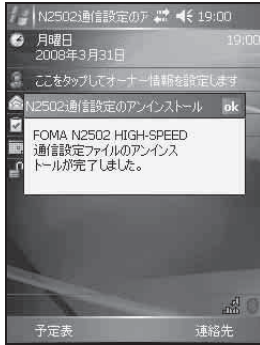
sigmarion IIIでは、「N2502 DRIVER」を選
択→【削除】をクリックしてください。



7 【OK】をクリックする



8 PDAの画面で【OK】をタップする



これで、PDAとパソコンから各種ソフトがアン
インストールされました。

付録

ATコマンドについて	120
ATコマンド一覧	121
故障かな？と思ったら、まずチェック！	134
こんな表示が出たら	135
用語解説	136
保証とアフターサービス	138
輸出管理規制について	139
主な仕様	140
索引	142

ATコマンドについて

ATコマンドは、パソコンなどでFOMA端末の機能の設定や状態の確認を行うためのコマンド（命令）です。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

■入力例

ATD*99***1#↓

リターンマーク
パラメータ：コマンドの内容です。
コマンド名

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて必ず1行で入力します。リターンマークの直前までが1行になります。

おしらせ

- ターミナルモードとは、パソコンなどを1台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードのことです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続される回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードの切り替え

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の2つの方法があります。

- 「+++」コマンドを入力します。
 - 「AT&D1」に設定されているときに、シリアルポート（COMポート）のER信号をOFFにします。
- オンラインコマンドモードへの切り替えは、パケット通信は非対応です。
オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO」と入力します。

設定の保存について

次のコマンドはFOMA端末の電源OFF、ATZ、AT&Fでは初期化されません。

- AT+CGDCONT：接続先（APN）設定
- AT+CGEQMIN / AT+CGEQREQ：QoS設定
- AT * DGPIR：パケット通信の番号通知・非通知の設定
- AT+CLIR：発番号通知制限の設定およびNW契約状態問い合わせ
- AT * DGAPL / AT * DGARL / AT * DGANSM：着信許可・拒否設定

上記を除くATコマンドは、FOMA端末の電源OFF・ON時、ATZ、AT&Fで初期化されます。ご注意ください。なお、[&W]が付いているコマンドについては、設定後に「AT&W↓」と入力することにより、設定を保存できます。このとき、[&W]が付いている他のコマンドの設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF・ONを行っても「AT&Z↓」と入力することで、設定値を復元できます。

ATコマンド一覧

FOMA端末から使用できるATコマンド

ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。

- [&F]：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
- [&W]：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定を呼び戻すことができます。
- [?]：現在の設定値を表示します。
- [=?]：設定可能な値の範囲を表示します。

モデムポートコマンド一覧

FOMA N2502 HIGH-SPEED (モデム) で使用できるコマンドです。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したATコマンドを再実行します。	コマンド入力後の「エンターキー」は必要ありません。	A/ OK
AT	—	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することで、FOMA端末のモデム機能を制御することができます。本コマンドのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	—	AT%V V1.00 OK
AT&Cn [&F][&W]	外部機器への回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：CDは常にON n=1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&Dn [&F][&W]	回路ER（DTR）制御設定	n=0：ERの状態を無視する（常にONとみなす） n=1：ERがONからOFFに変わるとオンラインコマンド状態になる（パケット通信には対応していません） n=2：ERがONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&En [&F][&W]	接続時の速度表示仕様を設定します。	n=0：無線区間通信速度を表示する n=1：外部機器とFOMA端末間の通信速度を表示する（初期値）	AT&E0 OK
AT&Fn	FOMA端末の設定を工場出荷時の設定値に戻します。通信中にこのコマンドが入力された場合は、回線切断処理を行います。	n=0：省略可能（n=0のみ指定可）	(オンラインコマンドモード時) AT&F NO CARRIER (オフライン時) AT&F OK
AT&Sn [&F][&W]	FOMA端末が外部機器へ出力するDR（データセットレディ）信号の制御を設定します。	n=0：DR信号は常時ONにする（初期値） n=1：回線接続時にDR信号をONにする	AT&S0 OK
AT&Wn	現在の設定値を記憶します。	n=0：省略可能（n=0のみ指定可）	—

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT * DANTE [=?]	FOMA端末の電波の受信レベルを表示します。	* DANTE:nの形式で表示する n=0: 圏外の状態 n=1: アンテナ1本の状態 n=2: アンテナ2本の状態 n=3: アンテナ3本の状態	AT * DANTE * DANTE:3 OK
AT * DGANSM=n [?][=?]	パケット着信呼に対する着信拒否/許可設定のモードを設定します。本コマンドによる設定は、コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効になります。	n=0: 着信拒否設定 (AT * DGARL) および着信許可設定 (AT * DGAPL) を無効にする (初期値) n=1: 着信拒否設定を有効にする n=2: 着信許可設定を有効にする	AT * DGANSM=0 OK
AT * DGAPL [?][=?]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。	書式: AT * DGAPL=n,<cid> n=0: <cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加する n=1: <cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除する <cid>が省略された場合は、すべてのcidに適用する	AT * DGAPL=0,1 OK
AT * DGARL [?][=?]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。	書式: AT * DGARL=n,<cid> n=0: <cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加する n=1: <cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除する <cid>が省略された場合は、すべてのcidに適用する	AT * DGARL=0,1 OK
AT * DGPIR=n [?][=?]	パケット通信の発信時、着信時の通知設定/非通知設定を有効にします。	n=0: APNをそのまま使用する (初期値) n=1: APNに "184" を付加して使用する (常に非通知) n=2: APNに "186" を付加して使用する (常に通知)	AT * DGPIR=0 OK
AT * DRPW [=?]	FOMA端末の受信電力指標値を表示します。	-	AT * DRPW * DRPW:xx OK
AT+CBST [&F][&W][?][=?]	利用するベアラサービスを設定します。	書式: AT+CBST=n,1,0 n=116: 64000 bps(bit transparent) (初期値) n=134: 64000 bps (multimedia)	AT+CBST=116,1,0 OK AT+CBST? +CBST:116,1,0 OK AT+CBST=? +CBST:(116,134),(1),(0) OK
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示します。	「切断理由」参照 (P.131)	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT [?][=?]	パケット発信時の接続先 (APN) を設定します。	P.129	P.129
AT+CGEQMIN [?][=?]	PPPパケット通信の発信時にネットワーク側から通知されるQoS (サービス品質) を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	P.129	P.129

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CGEQREQ [?][=?]	PPPパケット通信の発信時にネットワークへの要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P.130	P.130
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	—	AT+CGMR 12345XXXXXX XXXXX OK
AT+CGREG=n [&F][&SW][?][=?]	ネットワーク登録状況を通知するかどうかを設定します。	n=0：通知なし（初期値） n=1：圏内・圏外が切り替わった場合に通知する AT+CGREG?を入力した場合、+CGREG:n,mの形式で表示する m=0：パケット圏外 m=1：パケット圏内 m=4：不明	AT+CGREG=0 OK AT+CGREG? +CGREG:0,1 OK
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	—	AT+CGSN 12345XXXXXX XXXX OK
AT+CLIP=n [&F][&SW][?][=?]	64K データ通信およびテレビ電話の着信時に相手の発信番号を表示するかしないか設定します。	n=0：リザルトを出さない（初期値） n=1：リザルトを出す AT+CLIP?を入力した場合、+CLIP:n,mの形式で表示する m=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 m=1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 m=2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP? +CLIP:0,1 OK
AT+CLIR=n [&F][&SW][?][=?]	64K データ通信およびテレビ電話の発信時に相手に発信者番号を通知するかしないか設定します。	n=0：CLIRサービスの契約に従う n=1：番号を通知しない n=2：番号を通知する（初期値） AT+CLIR?を入力した場合、+CLIR:n,mの形式で表示する m=0：CLIRは起動していない（常時通知） m=1：CLIRは起動している（常時非通知） m=2：不明 m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=2 OK AT+CLIR? +CLIR:2,4 OK
AT+CMEE=n [&F][&SW][?][=?]	FOMA端末のエラーレポート形式を設定します。	n=0：ERRORを表示する（初期値） n=1：+CMEE ERROR:xxxx（数字）を表示する n=2：+CMEE ERROR:xxxx（文字）を表示する	AT+CMEE=0 OK
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	+CNUM:,<number>,<type>の形式で表示する number：電話番号 type：129（国際アクセスコード+を含まない）または145（国際アクセスコード+を含む）	AT+CNUM +CNUM:,"090XX XXXXXX",129 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+COPS [?][=?]	接続する通信事業者を選択します。	書式: AT+COPS= <i>n</i> ,2,< <i>oper</i> > <i>n</i> =0: オート (自動的にネットワークを検索して通信事業者を切り替える) <i>n</i> =1: マニュアル (< <i>oper</i> >に指定された通信事業者に接続する) <i>n</i> =3: マッピングを行わない <i>oper</i> : 通信事業者を指定する、国番号(MCC)とネットワーク番号(MNC)からなる16進数の値	AT+COPS=0 OK AT+COPS? +COPS:0 OK AT+COPS=? +COPS:(2,..,"44F001")..(0.1.3).(2) OK
AT+CPAS [=?]	FOMA端末の状態を表示します。	+CPAS: <i>n</i> の形式で表示する <i>n</i> =0: FOMA 端末へのATコマンドの送受信が可能 <i>n</i> =1: FOMA 端末へのATコマンドの送受信が不可能 <i>n</i> =2: 不明(ATコマンドの送受信は保証されない) <i>n</i> =3: FOMA 端末へのATコマンドの送受信が可能、かつ着信中 <i>n</i> =4: FOMA 端末へのATコマンドの送受信が可能、かつ通話中	AT+CPAS +CPAS:0 OK
AT+CPIN [?]	FOMA端末にPINコードを入力します。	書式: AT+CPIN="< <i>pin</i> >"/ AT+CPIN="< <i>puk</i> >","< <i>pin</i> >" AT+CPIN?を入力した場合、 +CPIN:SIM PIN: PIN1入力待ち状態 +CPIN:SIM PUK: PINロック解除コード入力待ち状態 +CPIN:ERROR: ロック状態	(PIN1 入力待ち状態) AT+CPIN="1234" OK (PINロック解除コード入力待ち状態) AT+CPIN="12345678","1234" OK (ロック状態) AT+CPIN="1234" ERROR AT+CPIN="12345678","1234" ERROR
AT+CR= <i>n</i> [&F][&W][?][=?]	回線接続時のCONNECT表示の前にベアラサービス種別を表示するかどうかを設定します。	<i>n</i> =0: 表示しない (初期値) <i>n</i> =1: +CR:< <i>serv</i> >の形式で表示する <i>serv</i> =SYNC: 64Kデータ通信 <i>serv</i> =GPRS: パケット通信 <i>serv</i> =AV64K: テレビ電話	AT+CR=1 OK ATD *99***1# +CR:GPRS CONNECT
AT+CRC= <i>n</i> [&F][&W][?][=?]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	<i>n</i> =0: +CRINGを使用しない (初期値) <i>n</i> =1: +CRING:< <i>type</i> >を使用する <i>type</i> =SYNC: 64Kデータ通信 <i>type</i> =AV64K: テレビ電話 <i>type</i> =GPRS<PDP_type>...<APN>: パケット通信	AT+CRC=0 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CREG=n [&F][&W][?][=/?]	圏内・圏外情報を表示するかしないかの設定をします。	n=0: 通知無し (初期値) n=1: 通知する 圏内・圏外が切り替わった場合、+CREG:mの形式で表示する AT+CREG?を入力した場合、+CREG:n,mの形式で表示する m=0: 64Kデータ通信/テレビ電話圏外 m=1: 64Kデータ通信/テレビ電話圏内 m=4: 不明	AT+CREG=0 OK AT+CREG? +CREG:0,1 OK
AT+CUUSD [&F][&W][?][=/?]	付加サービス等に関して、ネットワークの設定を変更します。	書式: AT+CUUSD=n,"<str>",0 n=0: 中間リザルトを送出しない (初期値) n=1: 中間リザルトを送出する str: サービスコード	AT+CUUSD=0, "xxxxxxxx" OK AT+CUUSD=1,"* 148*1*0000 #",0 +CUUSD:0,"148* 7#",0 OK
AT+FCLASS=n [&F][&W][?][=/?]	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。	n=0: データ (初期値、n=0のみ指定可)	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA端末のATコマンドのサポート範囲を表示します。	-	AT+GCAP +GCAP:+CGSM, +FCLASS,+W OK
AT+GMI	メーカー名 (NEC) を表示します。	-	AT+GMI NEC OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名 (FOMA N2502 HIGH-SPEED) を表示します。	-	AT+GMM FOMA N2502 HIGH-SPEED OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	-	AT+GMR V1.00 OK
AT+IFC=n,m [&F][&W][?][=/?]	外部機器とFOMA端末の間のローカルフロー制御方式を設定します。	n: DCE by DTE n=0: フロー制御を行わない n=1: XON/XOFFフロー制御をする n=2: RS/CS (RTS/CTS) フロー制御をする (初期値) m: DTE by DCE m=0: フロー制御を行わない m=1: XON/XOFFフロー制御をする m=2: RS/CS (RTS/CTS) フロー制御をする (初期値)	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC:2,2 OK AT+IFC=? + IFC:(0,1,2),(0,1, 2) OK
AT+WS46=n [&F][&W][?][=/?]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	n=22: W-CDMA (初期値、n=22のみ指定可)	AT+WS46? 22 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT¥S	設定されているコマンドとSレジスタの内容を表示します。	-	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥Vn [&F][&W]	接続時の応答コード仕様を設定します。	n=0: 拡張リザルトコードを使用しない(初期値) n=1: 拡張リザルトコードを使用する	AT¥V1 OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	-	RING ATA CONNECT
ATD	パケット通信/64Kデータ通信/テレビ電話通信の発信をします。	パケット通信: ATD * 99 * * * <cid># <cid>1 ~ 10: +CGDCONT 設定した APN を表します。 64Kデータ通信/テレビ電話: ATD<電話番号>	<パケット通信> ATD * 99 * * * 1# CONNECT <64Kデータ通信/テレビ電話> ATD090XXXXX XXX CONNECT
ATEn [&F][&W]	パソコンから受信したコマンドをエコーバックするかどうかを設定します。	n=0: エコーバック無し n=1: エコーバック有り(初期値)	ATE1 OK
ATHn	接続を切断します。	n=0: 接続を切断する (n=0のみ指定可。省略可) パケット通信には対応していません。	(通信中) +++ OK ATH NO CARRIER
ATIn	認識コードを表示します。	n=0: NTT DoCoMo n=1: 製品名を表示する (+GMMと同じ) n=2: FOMA端末のバージョンを表示する (+GMRと同じ) n=3: OKを表示する n=4: FOMA 端末の有する通信機能の詳細を表示する	ATIO NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA N2502 HIGH-SPEED OK
ATOn	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに移行します。	n=0: オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻る(省略可) パケット通信には対応していません。	ATO CONNECT
ATQn [&F][&W]	外部機器にリザルトコードを表示するかどうかを設定します。	n=0: リザルトコードを表示する(初期値) n=1: リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 (このとき、OKは応答されない)

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS0=n [&F][&W][?]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n=0：自動着信しない（初期値） n=1-255：指定した呼び出し回数で自動着信する	ATS0=0 OK
ATS3=n [&F][?]	復帰（OR）キャラクタを設定します。	n=13：初期値（n=13のみ指定可）	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=n [&F][?]	改行（LF）キャラクタを設定します。	n=10：初期値（n=10のみ指定可）	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=n [&F][?]	バックスペース（BS）キャラクタを設定します。	n=8：初期値（n=8のみ指定可）	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS6=n [&F][?]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）設定を設定します。	設定はできませんが、動作はしません。（n=5：初期値）	ATS6=5 OK
ATS8=n	カンマダイヤルによるポーズ時間（秒）を設定します。	設定はできませんが、動作はしません。（n=3：初期値）	ATS8=3 OK
ATS10=n [&F][&W][?]	自動切断遅延時間を設定します。	設定はできませんが、動作はしません。（n=1：初期値）	ATS10=1 OK
ATS30=n [&F][?]	ユーザデータの送受信が無い場合、この時間で切断します。	n=0：不活動タイマオフ（初期値） n=0-255（分単位で設定する）	ATS30=0 OK
ATS103=n [&F][?]	着サブアドレスキャラクタを設定します。	n=0：* n=1：/（初期値） n=2：¥（あるいはバックslash）	ATS103=0 OK
ATS104=n [&F][?]	発サブアドレスキャラクタを設定します。	n=0：# n=1：%（初期値） n=2：&	ATS104=0 OK
ATVn [&F][&W]	リザルトコード表示方法を数字表記/英文字表記に設定します。	n=0：リザルトコードを数字表記にする n=1：リザルトコードを英文字表記にする（初期値）	ATV1 OK
ATXn [&F][&W]	通信速度表示、ダイヤルトーン検出、ビジートーン検出を設定します。	n=0：ビジートーン検出無し、ダイヤルトーン検出無し、速度表示なし n=1：ビジートーン検出無し、ダイヤルトーン検出無し、速度表示あり n=2：ビジートーン検出無し、ダイヤルトーン検出有、速度表示あり n=3：ビジートーン検出有、ダイヤルトーン検出無し、速度表示あり n=4：ビジートーン検出有、ダイヤルトーン検出有、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATZ	FOMA端末の設定を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中にこのコマンドが入力された場合は、回線切断処理を行います。	—	(オンラインコマンドモード時) ATZ NO CARRIER (オフライン時) ATZ OK
+++	オンラインデータモードのとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンドモードへ移行します。	— パケット通信には対応していません。	(オンラインデータモード時) +++ (表示は見えない) OK

■ コマンド名: +CGDCONT

概要

パケット発信時の接続先 (APN) の設定を行います。本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

書式

+CGDCONT=[<cid>[,<PDPtype>[,<APN>]]]

パラメータ説明

パケット発信時の接続先 (APN) を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。

<cid>*1: 1~10

<PDPtype>*2: PPPまたはIP

<APN>*3: 任意

*1: <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先 (APN) を管理する番号です。FOMA端末では1~10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4~10に設定します。

*2: <PDPtype>は、パケット通信のプロトコル方式です。

*3: <APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT= : すべての<cid>に対し初期値を設定します。

+CGDCONT=<cid> : 指定された<cid>を初期値に設定します。

+CGDCONT=? : 設定可能な値のリスト値を表示します。

+CGDCONT? : 現在の設定を表示します。

コマンド実行例

abcというAPN名を登録する場合のコマンド (PDPtypeはPPP、cidが4の場合)

```
AT+CGDCONT=4,"PPP","abc"
```

```
OK
```

■ コマンド名: +CGEQMIN=[パラメータ]

概要

パケット通信確立時にネットワーク欄から通知されるQoS (サービス品質) を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

書式

+CGEQMIN=[<cid>[,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

パラメータ説明

<cid>*1: 1~10

<Maximum bitrate UL>*2: なし (初期値)

<Maximum bitrate DL>*2: なし (初期値)

*1: <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先 (APN) を管理する番号です。FOMA端末では1~10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4~10に設定します。

*2: <Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし (初期値) の場合はすべての速度を許容しますが、値を設定した場合はそれ未満の速度での接続は許容しないため、パケット通信がつかない場合がありますのでご注意ください。

パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN= : すべての<cid>に対し初期値を設定します。

+CGEQMIN=<cid> : 指定された<cid>を初期値に設定します。

+CGEQMIN=? : 設定可能な値のリスト値を表示します。

+CGEQMIN? : 現在の設定を表示します。

● コマンド実行例

- (1) 上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド (cidが2の場合)
AT+CGEQMIN=2
OK
- (2) 上り384kbps/下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド (cidが4の場合)
AT+CGEQMIN=4,384,7232
OK
- (3) 上り384kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド (cidが5の場合)
AT+CGEQMIN=5,,384
OK
- (4) 上りすべての速度/下り7,232kbpsの速度のみ許容場合のコマンド (cidが6の場合)
AT+CGEQMIN=6,,,7232
OK

■ コマンド名: +CGEQREQ=[パラメータ]

● 概要

パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS (サービス品質) を設定します。本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

● 書式

+CGEQREQ=[<cid>]

● パラメータ説明

<cid>*1: 1~10

<Maximum bitrate UL>*2: なし (初期値)

<Maximum bitrate DL>*2: なし (初期値)

*1: <cid>は、FOMA 端末内に登録するパケット通信での接続先 (APN) を管理する番号です。FOMA 端末では1~10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4~10に設定します。

*2: <Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA 端末と基地局間の上り、および、下り最大通信速度[kbps]の設定です。
なし (初期値) の場合はネットワークのQoSを要求しません。

● パラメータを省略した場合の動作

+CGEQREQ=: すべての<cid>に対し初期値を設定します。

+CGEQREQ=<cid>: 指定された<cid>を初期値に設定します。

+CGEQREQ=? : 設定可能な値のリスト値を表示します。

+CGEQREQ?: 現在の設定を表示します。

● コマンド実行例

上り384kbps/下り7,232kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド (cidが3の場合)
AT+CGEQREQ=3,2,384,7232
OK

切断理由

■ パケット通信

値	理由
27	APNが存在しない、または正しくありません。
30	ネットワークにより切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64K データ通信

値	理由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため通信できません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信できません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信しました、または着信を受けました。

リザルトコード

■ リザルトコード一覧

リザルトコード		概要
数字表示	文字表示	
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

• &E0のとき

FOMA端末と基地局間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
121	CONNECT 32000	32000bps
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps
135	CONNECT 7232000	7232000bps

• &E1のとき

FOMA端末とPC間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意味
1	PPPOverUD	64Kデータ通信で接続
3	AV64K	テレビ電話(64K)で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

リザルトコード表示例

■ ATX0が設定されている場合

AT¥Vnコマンド (P.126) の設定に関係なく接続完了の際にCONNECTのみの表示になります。

文字表示例 : ATD * 99 * * * 1#
CONNECT
数字表示例 : ATD * 99 * * * 1#
1

■ ATX1が設定されている場合

● ATX1、AT¥V0が設定されている場合 (初期値)

接続完了のときに、CONNECT < FOMA 端末 - 外部機器間の速度 > の書式で表示します。

文字表示例 : ATD * 99 * * * 1#
CONNECT 460800
数字表示例 : ATD * 99 * * * 1#
1 21

● ATX1、AT¥V1が設定されている場合*

接続完了のときに、以下の書式で表示します。

CONNECT < FOMA 端末 - 外部機器間の速度 > PACKET < 接続先 APN > / < 上り方向 (FOMA 端末 → 無線基地局間) の最高速度 > / < 下り方向 (FOMA 端末 ← 無線基地局間) の最高速度 >

以下の例は、mopera.ne.jpに、送信最大384kbps、受信最大7,232kbpsで接続したことを表します。

文字表示例 : ATD * 99 * * * 1#
CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/384/7232
数字表示例 : ATD * 99 * * * 1#
1 21 5

※ : ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

おしらせ

- ATVnコマンド (P.127) がn=1に設定されている場合には文字表示形式 (初期値)、n=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。

故障かな？と思ったら、まずチェック！

■FOMA端末が認識されない

症状	チェックする箇所	参照ページ
FOMA端末が認識されない	PCカードスロットにFOMA端末をもう一度奥までしっかりと差し込んでください。	P.19
	FOMA端末の通信設定ファイル（ドライバ）が正しく機能しているか確認してください。	P.28
	FOMA端末を一旦取り外し、再度挿入してください。それでも認識できない場合は、FOMA端末を取り外し、パソコンの再起動を行った後、再度FOMA端末を挿入してみてください。	—

■通信時のトラブル

症状	チェックする箇所	参照ページ
通信できない	サービスエリア内で電波が届いていることを確認してください。	P.15、37
	発信番号通知の設定が利用するプロバイダと異なっていると、通信できない場合があります。作成したダイヤルアップネットワークの接続アイコンを右クリックし、「プロパティ」を右クリックして、電話番号に付加された「184」または「186」を確認し、指示と異なっている場合は修正してください。	P.39、70
	「PIN1コード照合」を「照合する」にしていなかったか確認してください。「照合する」に設定されていると、そのままダイヤル接続することができません。FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを起動してPIN1コードを照合してください。	P.41
	モデムのプロパティ設定と接続先（APN）の登録を確認してください。	P.75、78
	接続先のアクセスポイント（電話番号）や通信方式（パケット通信／64Kデータ通信）が合っているか確認してください。	P.53、76
	ドコモテレビ電話ソフトを起動、またはタスクトレイに常駐している場合は、ドコモテレビ電話ソフトを終了してください。	—
	FOMA端末を一旦取り外し、再度挿入してください。それでも通信できない場合は、FOMA端末を取り外し、パソコンの再起動を行った後、再度FOMA端末を挿入してみてください。	—
インターネットに接続できない	ログオン時のユーザー名やパスワードなどが、利用するプロバイダ指示情報に従って入力されているか確認してください。	P.53、76
すぐに切断される	接続先が混み合っている可能性があります。しばらくしてからもう一度接続してみてください。	—
	電波の弱い場所では利用しているときは、アンテナランプが緑色またはオレンジ色で点灯される場所に移動してください。	P.15

■ATコマンドに関するトラブル

症状	チェックする箇所	参照ページ
コマンドを入力したら「ERROR」が表示される	正しいコマンドを入力しているか確認してください。	P.121
	FOMA端末以外の機器を選択していないかターミナルソフトのプロパティを確認してください。	—
ATコマンドを入力しても「OK」が表示されない	FOMA端末の通信設定ファイル（ドライバ）が正しく機能しているか確認してください。	P.28
	ATまたはatで始まるコマンドになっているか、大文字と小文字は混在していないか確認してください。	P.120
	ATE1のコマンドを入力してみてください。	P.126

症状	チェックする箇所	参照ページ
ATコマンドを入力できない	ドコモテレビ電話ソフトを起動、またはタスクトレイに常駐している場合は、ドコモテレビ電話ソフトを終了してください。	—

■ その他のトラブル

症状	チェックする箇所	参照ページ
リダイヤルできない	64Kデータ通信、テレビ電話通信では接続先が応答しない場合は、続けて同じ接続先に発信することはできません。1分ほど待ってから再発信してください。	—
状態表示ランプが点灯しない	「省電力モード」の設定を有効にしているか確認してください。	P.43
急に動作しなくなった	FOMA端末にFOMAカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.16
	FOMA端末を一旦取り外し、再度挿入してください。それでも動作しない場合は、FOMA端末を取り外し、パソコンの再起動を行った後、再度FOMA端末を挿入してみてください。	—
	周辺機器や他のソフトウェアをインストールしたことなどにより、パソコンの環境が変わった可能性があります。通信設定ファイル(ドライバ)のアンインストールを行った後、再度インストールしなおしてください。	P.25
通信設定ファイル(ドライバ)のインストール操作で、FOMA端末をPCカードスロットに挿入しても、ハードウェアを検出しない	FOMA端末をPCカードスロットに挿入したままパソコンを再起動してください。	—

こんな表示が出たら

FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティ利用時に表示される主なエラーメッセージを表示します。

エラーメッセージ	説明/対処方法	参照ページ
端末と正常に通信できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ● FOMA N2502 HIGH-SPEED以外の端末が接続されている場合、その端末とは通信できません。 ● FOMAカードが壊れている場合、その端末とは通信できません。 ● 端末の設定情報を取得できませんでした。もう一度やり直してください。 	—
モデムポートが利用できません モデムが他で使用していないか確認してください	● モデムポートが利用できません。モデムが他で使用していないか確認してください。	—
PIN1コードが認識できませんでした	● 間違ったPIN1コードが入力されました。正しいPIN1コードを入力してください。	P.16
PIN1コードがロックされました	● 規定数以上の間違ったPIN1コードが入力されたため、PINロック状態になりました。PINロック解除コード(8桁の数字)を入力してください。	P.17、42
PINロック解除コードが認識できませんでした	● 間違ったPINロック解除コードが入力されました。正しいPINロック解除コードを入力してください。	P.17、42
PINロック解除コードがロックされました	● 規定数以上の間違ったPINロック解除コードが入力されたため、FOMAカードが完全にロックされました。ドコモの窓口にお問い合わせください。	P.17
FOMAカード(UIM)を挿入してください	● FOMA端末にFOMAカードが取り付けられていません。取り付けてから再度操作してください。	P.16

エラーメッセージ	説明/対処方法	参照ページ
この名前の接続は既に存在しません 他の名前を入力してください	● 同名のダイヤルアップエントリが既に存在するので、別名でダイヤルアップエントリを作成してください (PDAのみ表示されません)。	—

用語解説

■あ行

アクセスポイント

インターネットに接続するための中継地点のこと。パソコンなどから電話回線を使い、アクセスポイントを経由することで、インターネットに接続できます。

アンインストール

PCに取り込んだ外部データをパソコンから削除すること。

インストール

CDなどに収録されている外部データをパソコンの中に入れて使えるようにすること。

■た行

ダイヤルアップ

電話回線を通じてインターネットに接続すること。

■は行

パケット通信

ネットワーク上でデータを受け渡しする際に、小さく分割して送信/受信を行う通信方式のこと。これにより、データの送受信中他のデータを割り込ませたり、大きなデータも細分化して通信を行うことにより、ネットワーク全体の送受信の効率が向上します。

パソコンの管理者権限

Windows Vista、Windows XP、Windows 2000のシステムすべてにアクセスできる権限のこと。管理者権限を持たないユーザは通信設定ファイル（ドライバ）やFOMA PC設定ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

プロトコル

コンピュータ同士でデータをやり取りするときの通信規約のこと。

プロパティ

Windowsのファイルやアイコンの持つ「属性」や「設定」のこと。そのアイコンを選択して右クリックすると、参照したり変更したりできます。

ポート

インターネット上の通信において、複数の相手と同時に通信を行うために、IPアドレスの下に設けられた補助アドレスのこと。ポートの指定には0～65535までの数字が使われるため。「ポート番号」とも呼ばれます。

■ま行

モデム

パソコンから電話回線を利用して通信できるようにする機器のこと。

■や行

ユーティリティ

様々な補助的機能を提供してFOMA端末の利便性をより高くするためのソフトウェアのこと。

■英数字

APN

Access Point Nameの略で、パケット通信の接続先（プロバイダなど）名のこと。例えばドコモのインターネット接続サービス「mopera U」の場合は、「mopera.net」のような文字列で表示します。

bps

bit per secondの略で、データ通信速度を示す単位のこと。1秒間に送られるビット数（情報量）を表します。

cid

Context Identifierの略で、パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録するときの登録番号のこと。
本FOMA端末では1～10までの10件のAPNを登録できます。

DNS

Domain Name Systemの略です。「nttdocomo.co.jp」のような、人が理解しやすいドメイン名を、コンピュータが管理するための数字で表したIPアドレスに変換するシステムのこと。

HSDPA

High Speed Downlink Packet Accessの略で、世界標準規格であるW-CDMAのパケット通信をさらに高速化した規格のこと。FOMAハイスピードエリアであれば、受信最大7.2Mbpsの高速通信が可能です。

ID

ユーザの情報を管理するための番号のこと。ユーザ登録などした場合に発行されます。

IP

Internet Protocolの略で、インターネットで標準的に使用されている通信規約のこと。

IPアドレス

インターネットに接続している機器を識別するためのアドレスのこと。通常は「XXX.XXX.XXX.XXX」のようにピリオドをはさんだ4つの数字（0～255）で表し、インターネットに接続しているすべての機器に割り当てられています。

ISDN

Integrated Service Digital Networkの略で、総合デジタル通信網のこと。アナログ電話回線に比べて高速な通信が可能です。

QoS

Quality of Serviceの略で、ネットワークのサービス品質のこと。FOMA端末のQoS設定ではデータ通信速度の条件を指定できます。（接続時の速度は通信状況などによって変化します）。

W-CDMA

Wideband Code Division Multiple Accessの略で、世界標準規格として認定された第3世代移動通信システム（IMT-2000）のこと。広帯域符号分割多元接続で、無線通信における多元接続方式の一つです。
FOMA端末はW-CDMA規格に準拠しています。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック！」をご覧ください。それでも調子がよくない時は、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後のコネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■ 以下の場合、修理できないことがあります

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

■お願い

- FOMA 端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承くださいの上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - 接着剤などにより FOMA 端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA 端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA 端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA 端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、お早めに故障取扱窓口へご連絡ください。ただし、FOMA 端末の状態によっては修理できないことがあります。

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。

また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。

本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

主な仕様

FOMA N2502 HIGH-SPEED本体

■対応OS

Windows 2000 日本語版 Service Pack 4以降
Windows XP 日本語版 Service Pack2以降
Windows Vista 日本語版
Windows CE .NET 4.1 日本語版
Windows Mobile 5.0 日本語版

■通信速度

パケット通信

受信 最大7.2Mbps (ベストエフォート方式) ※
送信 最大384kbps (ベストエフォート方式) ※

※：最大7.2Mbps・最大384kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。

※：実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

※：最大7.2Mbpsによる通信は、ネットワークが対応後にご利用可能となります。

※：FOMAハイスピードエリア外では、送受信ともに最大384kbpsによる通信となります。

64Kデータ通信

受信/送信 最大64kbps

テレビ電話

受信/送信 64kbps

■環境条件

動作時

温度：5℃～35℃

湿度：45%～85%

■電源

電源電圧

3.3V / 5.0V (パソコン/PDAのカードスロットより給電)

消費電流

通信時最大電流：約680mA (3.3V) / 約460mA (5.0V)

通信時平均電流：約490mA (3.3V) / 約330mA (5.0V)

待ち受け時 (通常モード設定のとき)：約16mA (3.3V) / 約14mA (5.0V)

但し、使用状況により消費電流値の変動があります。

■形状

幅約42.8mm × 厚さ約5mm (最厚部約8.7mm) × 高さ約65mm

■質量

約24g

■技術基準設計認証番号

AD07-0554001

PCカードアダプタ

■ 接続機種

PCカードスロット側 PC Card Standard 95準拠 (3.3V/5.0V)

■ コネクタの電流

0.5A/1ライン

■ 環境条件

動作時

温度：5℃～35℃

湿度：45%～85%

■ 形状

幅約54mm×厚さ約5mm×高さ約85.6mm

■ 質量

約24g

索引

あ

アフターサービス	138
アンインストール	
通信設定ファイル (ドライバ)	29
ユーティリティ	36
FirstPass PCソフト	89
FOMA PC設定ソフト	52
FOMAバイトカウンタ	91
PDA用ソフト	116
安全上のご注意	6
アンテナランプ	15

インストール

通信設定ファイル (ドライバ)	25
ユーティリティ	32
FirstPass PCソフト	89
FOMA PC設定ソフト	48
FOMAバイトカウンタ	91
PDA用ソフト	95
エラーメッセージ	135

か

カード設定	41
各部の名称と機能	14
故障かな?と思ったら	134

さ

自局電話番号表示	38, 113
仕様	140
省電力モード	43, 112
セキュリティ設定	41
接続先 (APN) の設定	75

た

ダイヤルアップ接続	86
ダイヤルアップネットワークの 設定	78
知的財産権	10
着信動作設定	40
通信設定	
通信設定最適化	72
FOMA PC設定ソフトを使用	53
FOMA PC設定ソフトを使用 しない	76
通信設定ファイル (ドライバ)	25
アンインストール	29
インストール	25
動作環境	25
通信を実行	70

テレビ電話	19
-------	----

動作環境

通信設定ファイル (ドライバ)	25
ユーティリティ	32
FirstPass PCソフト	88
FOMA PC設定ソフト	48
FOMAバイトカウンタ	90
mopera U かんたんスタート	90
PDA用ソフト	95
ドライバ	25
取り扱ひ上の注意	9

な

ネットワークサービス設定	43, 114
--------------	---------

は

パケット通信	17
パソコンと接続	19
発信者番号通知	39, 43, 77, 114
発信動作設定	39
付属品	11
保証	138

ま

モードランプ	15
--------	----

や

ユーティリティ (パソコン用)	32
アンインストール	36
インストール	32
起動	37
終了	37
動作環境	32
ヘルプ	38
メイン画面	37

ユーティリティ (PDA用)

各種設定画面	100
起動	100
終了	100
ヘルプ	113
メイン画面	99
輸出管理規制	139
用語解説	136

ら

ランプ	15
-----	----

英字

ActiveSync	94
APN設定	38
ATコマンド	120
一覧	121
入力形式	120
COMポート	54
FirstPass	88
FirstPass PCソフト	88
アンインストール	89
インストール	89
動作環境	88
FOMA PC設定ソフト	46
アンインストール	52
インストール	48
動作環境	48
FOMAカード	16
暗証番号	16
取り付け/取り外し	16
FOMAバイトカウンタ	90
アンインストール	91
インストール	91
動作環境	90
mopera U	5
mopera U かんたんスタート	90
動作環境	90
PCカードアダプタ	11
PDAでの利用	93
アンインストール	116
インストール	95
ダイヤルアップ接続	115
ダイヤルアップ設定	101
着信動作設定	108
動作環境	95
発信動作設定	105
PDAと接続	21
PINロック解除コード	17
PIN1コード	16
PIN1コード照合	41
PIN1コード変更	42, 111
PIN2コード	16
Windows Mobile Device Center	94
数字	
64Kデータ通信	18

「ドコモeサイト」では、住所変更、料金プラン変更などの各種手続き、資料請求を承っております。

パソコンから My DoCoMo (<http://www.mydocomo.com/>) ⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID / パスワード」が必要となります。

※「DoCoMo ID / パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。

※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。

※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA 端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ずFOMA 端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください

■ 使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA 端末を接続しているパソコンの電源を切ってください。

・ 航空機内

・ 病院内

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※ 安全な場所に停車してから使用してください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

総合お問い合わせ先
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

f (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

☎ **0120-800-000**

※携帯電話、PHS からのご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

●なお、詳しくは FOMA 端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

f (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

☎ **0120-800-000**

※携帯電話、PHS からのご利用になれます。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元 NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道

株式会社NTTドコモ東北

株式会社NTTドコモ

株式会社NTTドコモ東海

株式会社NTTドコモ北陸

株式会社NTTドコモ関西

株式会社NTTドコモ中国

株式会社NTTドコモ四国

株式会社NTTドコモ九州

製造元 日本電気株式会社